MICROLINE Pro 9800PS ユーザーズマニュアル

設定管理ガイド

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような8部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編

プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編− Windows をお使いの方−

Windowsのコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。

プリンタの設置が終わったら、お読みください。

セットアップ編− Macintosh、UNIX、Linux をお使いの方−

Macintosh、UNIX、Linuxのコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。

プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編

色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時などにお読みください。

設定管理ガイド（本書）

MLPro9800PSがサポートするプラットフォームやネットワーク環境別に、MLPro9800PSの基本的な設定方法と管理方法を説明します。また、クライアントやネットワーク上の他のワークステーションにPostScript印刷サービスを提供するためにUNIX、WindowsNT/2000、Novellサーバを設定する方法についても説明します。

PS 印刷ガイド

リモートワークステーションからネットワークを介してMLPro9800PSに印刷ジョブを送信する方法、プリントオプション、MLPro9800PSが提供するフォントについて説明します。

カラーガイド

キャリブレーションおよびColorWise ProToolsに関する情報を提供します。

ジョブ管理ガイド

MLPro9800PSが提供する Command WorkStation/Command WorkStation LE、その他のユーティリティの機能、およびジョブ管理の方法を説明します。本書は印刷ジョブフローの監視/管理やトラブルシューティングを行うシステム管理者/オペレータ、および同レベルのアクセス特権を持つユーザを対象に書かれています。

本書の表記

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE Pro 9800PS-X → MLPro9800PS-X
- MICROLINE Pro 9800PS-S → MLPro9800PS-S
- MICROLINE Pro 9800PS-E → MLPro9800PS-E
- MLPro9800PS-X、MLPro9800PS-S、MLPro9800PS-Eの総称 → MLPro9800PS
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows

Patents: 4,716,978, 4,828,056, 4,917,488, 4,941,038, 5,109,241, 5,170,182, 5,212,546, 5,260,878, 5,276,490, 5,278,599, 5,335,040, 5,343,311, 5,398,107, 5,424,754, 5,442,429, 5,459,560, 5,467,446, 5,506,946, 5,517,334, 5,537,516, 5,543,940, 5,553,200, 5,563,689, 5,565,960, 5,583,623, 5,596,416, 5,615,314, 5,619,624, 5,625,712, 5,640,228, 5,666,436, 5,745,657, 5,760,913, 5,799,232, 5,818,645, 5,835,788, 5,859,711, 5,867,179, 5,940,186, 5,959,867, 5,970,174, 5,982,937, 5,995,724, 6,002,795, 6,025,922, 6,035,103, 6,041,200, 6,065,041, 6,112,665, 6,116,707, 6,122,407, 6,134,018, 6,141,120, 6,166,821, 6,173,286, 6,185,335, 6,201,614, 6,215,562, 6,219,155, 6,219,659, 6,222,641, 6,224,048, 6,225,974, 6,226,419, 6,238,105, 6,239,895, 6,256,108, 6,269,190, 6,271,937, 6,278,901, 6,279,009, 6,289,122, 6,292,270, 6,299,063, 6,310,697, 6,321,133, 6,327,047, 6,327,050, 6,327,052, 6,330,071, 6,330,363, 6,331,899, 6,340,975, 6,341,017, 6,341,018, 6,341,307, 6,347,256, 6,348,978, 6,356,359, 6,366,918, 6,369,895, 6,381,036, 6,400,443, 6,429,949, 6,449,393, 6,476,927, 6,490,696, 6,501,565, 6,519,053, 6,539,323, 6,543,871, 6,546,364, 6,549,294, 6,549,300, 6,550,991, 6,552,815, 6,559,958, 6,572,293, 6,590,676, 6,606,165, 6,633,396, 6,636,326, 6,643,317, 6,647,149, 6,657,741, 6,662,199, 6,678,068, RE33,973, RE36,947, D341,131, D406,117, D416,550, D417,864, D419,185, D426,206, D439,851, D444,793.

商標

Bestcolor、ColorWise、Command WorkStation、EDOX、EFI、Fiery、Fiery ロゴ、Fiery Driven、 Rip-While-Print、Spot-Onは、米国特許商標庁および/またはその他諸国におけるElectronics for Imaging, Inc.の登録商標です。

AutoCal、AutoGray、Best、Bestロゴ、Changing the Way the World Prints、ColorCal、Device IQ、DocBuilder、DocBuilder Pro、DocStream、EFI ロゴ、EFICOLOR、EFI Color Profiler、EFI Production System、EFI ScanBuilder、Everywhere You Go、Fiery Driven ロゴ、Fiery X2、Fiery X2e、Fiery X2-W、Fiery X3e、FieryX4、Fiery ZX、Fiery Z4、Fiery Z5、Fiery Z9、Fiery Z16、Fiery Z18、Fiery Document WorkStation、Fiery Downloader、Fiery Driver、Fiery FreeForm、Fiery Link、Fiery Prints、Fiery Print Calibrator、Fiery Production System、Fiery Scan、Fiery ScanBuilder、Fiery Spark、Fiery Spooler、Fiery WebInstaller、Fiery WebScan、Fiery WebSpooler、Fiery WebStatus、Fiery WebTools、Intelligent Device managementロゴ、Memory Multiplier、NetWise、PrintMe、PrintMeロゴ、PrintMe Enterprise、PrintMe Networks、RIPChips、ScanBuilder、Splash、Splashロゴ、Unimobile、Unimobileロゴ、Velocity、Velocity Balance、Velocity Build、Velocity Design、Velocity Estimate、Velocity Exchange、Velocity OneFlow、Velocity OneFlowロゴ、Velocity Scan、VisualCalは、 Electronics for Imaging, Inc.の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、PostScript、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker は Adobe Systems Incorporated の商標であり、一部管轄地域では登録されています。Apple、Apple ロゴ、AppleShare、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、MS、MS-DOS、Windows は米国およびその他諸国における Microsoft の登録商標です。その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があり、本書により承諾されています。

法律上の注意

ソフトウェアまたはユーザマニュアルに表示されるPANTONE®カラーは、Pantone, Inc(以下Pantone社)が定義するカラーと一致しないことがあります。正確なカラーを確認するには、最新のPANTONE カラー出版物を参照してください。PANTONE®およびその他Pantone社の商標はPantone社の所有物です。©Pantone, Inc.,2003

Pantone社は、Electronics for Imaging, Inc.の製品またはソフトウェアと併用する場合のみElectronics for Imaging, Inc.に認可するカラーデータおよび/またはソフトウェアの著作権所有者です。Electronics for Imaging, Inc.の製品またはソフトウェアを配付する場合を除いて、PANTONE カラーデータおよび/またはソフトウェアを他のディスクまたはメモリにコピーすることは禁止されています。

本製品には、Apache Software Foundation(http://www.apache.org/) により開発されたソフトウェアが組み込まれています。

限定権利条項(米国においてのみ適用)

防衛機関の場合:限定権利条項。使用、複写、開示は 252.227.7013 の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c)(1)(ii) に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合:限定権利条項。使用、複写、開示は 52.227-19 の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項(a) から(d) に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関する Electronics for Imaging, Inc.の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

使用許諾契約

重要。お客様へのお願い

プリンタの付属のCD-ROM には株式会社沖データが提供するプログラム(以下、OKI ソフトウェアという)とイー・エフ・アイ株式会社が提供するプログラム(以下、EFI ソフトウェアという)が含まれています。
パッケージを開封する前に下記ソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージを開封された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約の条項を承諾いただけない場合は、未開封のまま速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ ソフトウェア使用許諾契約

使用許諾契約
プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラムおよびドキュメンテーションは株式会社沖データ(以下、沖データという)が提供するものです。プログラムおよびドキュメンテーション(以下、総称してOKIソフトウェアという)をお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、沖データとの間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 使用範囲
お客様は、OKIソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、OKIソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的としてOKIソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) OKIソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。OKIソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。OKIソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第1条に定めた複製を除いて、OKIソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様はOKIソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様には本契約で認められた権利を除き、OKIソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様へのOKIソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、OKIソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様はOKIソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、OKIソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、OKIソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、適用法で認められる限り、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、OKIソフトウェアまたはOKIソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法及び輸出管理規制
OKIソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。

もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
OKIソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずにOKIソフトウェアやOKIソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

7. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対するOKIソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

イー・エフ・アイ株式会社 ソフトウェア使用許諾契約

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下のソフトウェア使用許諾契約(以下、本使用許諾契約)をお読みください。EFIソフトウェア(以下、本ソフトウェア)を使用されるお客様は、法人/個人に依らず本使用許諾契約に同意する必要があります。本使用許諾契約は、EFIソフトウェアに関するお客様とElectronics for Imaging, Inc.(以下、EFI)との間の法的合意事項となります。本使用許諾契約に同意する場合、「同意する」をクリックしてください。同意しない場合、「同意しない」をクリックし、ソフトウェアのインストール、複製、使用をしないでください。

Windows Me/98用PostScript(R)プリンタドライバ、Windows NT4.0用 PostScript(R)プリンタドライバ、Windows 2000用PostScript(R)プリンタドライバ、Windows XP用 PostScript(R)プリンタドライバ、Job Monitor、Command WorkStation 4、ColorWise Pro Tools、Fiery Downloader、Fiery Printer Delete Utility、HotFolder、Fiery Spooler、CWS LE、WebTools、ICC profiles、PPD for OS 9 and X、Fiery Job Notes Plug InはEFIが提供するものです。

「同意する」ボタンをクリックし、または本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用することにより、お客様は本使用許諾契約に従うべき義務を負うことになります。本使用許諾契約に従いたくない場合、「同意する」をクリックしないでください。また、本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用しないでください。この場合、お客様は、お買い上げ日より30日以内にレシート等支払い証明を添付してお買上げ販売店に未使用の本ソフトウェアとその全同梱物を返却して、全額払戻しを受けることができます。

ライセンス
EFIは、お客様に、お買上げいただいた本ソフトウェアの使用について、本使用許諾契約の条項のみに従い、EFI製品説明書に明記されたとおりに、かつEFI製品説明書に明記された製品(以下、本製品)のみにつき、限定的、非独占的なライセンスを与えます。
本使用許諾契約における「本ソフトウェア」とは、EFIソフトウェアおよびEFIソフトウェアに関する一切の文書、ダウンロードしたもの、オンライン上のコンテンツ、バグフィックスプログラム、パッチ、リリース、リリースの注意事項を記載した文書、アップデートプログラム、アップグレードプログラム、テクニカルサポート提供物、およびその他の情報を意味します。本使用許諾契約の条項は、お客様によるこれらアイテムの一切の使用に適用があり、効力を及ぼします。ただし、アップデート、リリースまたはアップグレード時に、EFIは書面による追加契約事項を与えることがあります。
本ソフトウェアはライセンス供与されるものであり、販売されるものではありません。お客様は、EFI製品説明書に記載された使用目的でのみ、本ソフトウェアを使用できるものとします。お客様は、本ソフトウェアのレンタル、リース、サブライセンス、貸出し、またはその他の方法でソフトウェアを配付することはできません。また、本ソフトウェアを時分割サービス、サービス機関、または類似の形態で使用することはできません。
お客様は、本使用許諾契約にて許容される目的のためにバックアップまたはアーカイブ・コピーを1部作成することができますが、それ以外に本ソフトウェアまたはその一部について、いかなる複製も作成することはできません。ただし、いかなる場合であっても、本製品のコントローラボードまたはハードウェアの任意部分に含まれるソフトウェアについては、いかなる複製を作成することもできません。お客様は、本ソフトウェアのいかなる部分についても、ローカライズ、逆アセンブル、デコンパイル、解読、リバースエンジニアリング、ソースコード解読、改変、派生製品の作成、その他いかなる変更も、しないことに同意するものとします。

知的財産権
お客様は、本ソフトウェア、全てのEFI製品、およびその複製物、変更物、派生物についての、あらゆる知的財産権を含む全ての権利、所有権および利益は、EFIとその供給元のみが保有することを認識し、これに同意するものとします。本使用許諾契約で明示された限定的ライセンスを除いて、いかなる権利もライセンスも与えられません。お客様は、いかなる特許権、著作権、営業秘密、商標(登録、未登録を問わず)、またはその他の知的財産権も与えられません。お客様は、いかなるEFIの商標や商号またはそれらと類似したもしくは混乱を生じさせるようなあらゆるマーク、URL、インターネットドメイン名またはシンボルを、お客様ご自身、その関係会社または製品の商号として採用し、登録し、または登録を試みないことに同意するものとします。また、EFIやその供給元の商標権を損なうような、その他のいかなる行為をもしないことに同意するものとします。

守秘義務

本ソフトウェアは、EFI専有の秘密情報であり、お客様は他に配布・開示することはできません。ただし、次の場合に限り、本使用許諾契約上のお客様の一切の権利を他人または他の法人に譲渡することができます。(1)その譲渡が、適用ある全ての輸出関連法規ー米国輸出管理法を含む米国の法律および規則を含みますーにより許され、(2)お客様が、複製物、アップデート、アップグレード、媒体、印刷文書、および本使用許諾契約を含めた本ソフトウェアの全てを第三者に譲渡する場合で、(3)譲渡の際、お客様がバックアップ、アーカイブを含む本ソフトウェアの一切の複製物を保持せず、(4)譲渡先の第三者が本使用許諾契約の全条項に同意する場合。

ライセンスの終了

本ソフトウェアを許可なしで使用、複製、開示した場合、あるいは本使用許諾契約について何らかの不履行があった場合、本ライセンスは自動的に終了し、EFIは他の法律上の救済手段も利用可能となります。ライセンス終了の場合、お客様は本ソフトウェアまたはその構成部分の複製物の全てを破棄しなければなりません。その場合でも、本ソフトウェアに関する守秘義務、保証の免責、責任限定、救済手段、損害、準拠法、裁判管轄権、裁判地、およびEFIの知的財産権に関する本使用許諾契約の全ての条項は、ライセンスの終了後も効力を失いません。

限定保証および免責

EFIは、本ソフトウェアがEFI製品説明書の記載どおりに使用される限り、お客様が受領されてから90日間は、本ソフトウェアが実質的にEFI製品説明書の記載どおりに動作することを保証します。EFIは、本ソフトウェアがお客様の特定の要求に適合すること、本ソフトウェアが停止せず、常に安定して動作を継続し、耐停止でエラーが無いことまたソフトウェアの欠陥は全て修正されることについて、何らの表明も保証もしません。また、EFIは、本ソフトウェア以外の本製品もしくはサービス、または第三者製の製品(ハードウェアまたはソフトウェア)もしくはサービスについて、明示的にも黙示的にも、その性能または信頼性を保証するものではありません。なお、EFIが容認する第三者製の製品以外の製品をインストールした場合、本保証は無効となります。EFIが認める場合を除き、本ソフトウェアまたはEFI製品を使用、改変、および/または修復した場合、本保証は無効となります。さらに、事故、悪用、誤使用、異常使用、ウイルス、ワーム、その他類似の外的要因により本ソフトウェアに問題が起こった場合も、本限定保証は無効になります。

適用される法により許容される最大の範囲で、上記の明示的限定保証(「限定保証」)を除き、EFIは本ソフトウェア、本製品、および/またはいかなるサービスーそれが明示的であれ黙示的であれ、法令に基づくものであれ、本使用許諾契約上のいかなる条項に基づくものであれまたはお客様とのコミュニケーションに基づくものであれーについても、表明または保証をせず、かつお客様はそれを受けることができません。EFIは特に、安全性、商品性、特定目的に対する適合性および第三者の権利侵害がないことを含む全ての黙示的保証、表明および条件から免責されます。ソフトウェアおよび/または製品が停止しないこと、常に安定して動作を継続すること、耐停止でエラーがないことについては、いかなる表明も保証もありません。適用される法により許容される最大の範囲で、一切のソフトウェア、本製品、サービスおよび/または適用ある保証に関するお客様の唯一かつ排他的な救済手段、かつEFIおよびその供給元の責任の全ては、EFIの選択による(1)限定保証に適合しないソフトウェアの修理もしくは交換、または(2)限定保証に適合しないソフトウェアの代金(もし支払われていれば)の返還です。本項に規定された場合を除いて、EFIおよびその供給元は、代金払戻し、返品、交換、または同等の機能を提供するソフトウェアの提供は一切行いません。

責任の限定

適用される法により許容される最大の範囲で、お客様による本ソフトウェア、本製品、サービス、および/またはこの使用許諾契約に関するEFIまたはその供給元に対する一切の請求は、それがどのような提訴内容である場合でも(契約責任、不法行為責任、法定責任またはそれ以外のいずれであるかを問わず)、お客様が当該EFIソフトウェアに対して支払った対価を超えないことに同意するものとします。お客様はこの金額が、本使用許諾契約の目的に適うものであることに同意し、またこの補償額は、EFIおよびEFIの供給元による不法行為または過失によって生じた損失や損害の公正かつ合理的な見積額であることに同意するものとします。適用される法により許容される最大限の範囲で、代替ソフトウェア、代替製品、代替サービスの調達にかかる費用、利益の逸失またはデータの損失、第三者からの請求、その他特別な、間接的、依存的、結果的、懲罰的または付随的損害については、それが本ソフトウェア、本製品、サービスおよび/または本使用許諾契約によって引き起こされたものであっても、EFIおよびその供給元は一切責任を負いません。この責任限定は、たとえEFIおよびその供給元が、そのような損害の可能性を知らされていた場合であっても適用されます。お客様は、本ソフトウェアの価格がこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。お客様は、上記の責任限定および免責事項が本使用許諾契約において最も重要な条項であり、これら2つの条項にお客様が同意しない限り、EFIは本ソフトウェアの使用許諾を行わないことを認識した上で同意したものとします。

米国の州や司法管轄区域の中には、本使用許諾契約に定める責任の除外および/または限定の一部または全部を許さないところもあるため、上記の責任除外・限定は、お客様に適用がないかもしれません。

デラウェア法人である Adobe Systems Incorporated(以下、Adobe社)(住所:345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704)は、本使用許諾契約が本ソフトウェア、フォントプログラム、書体、商標などお客様の使用に関する条項を含む限りにおいて、本使用許諾契約における第三者たる受益者です。以上の条項はAdobe社の利益のために明示的に設けられたものであり、EFIに加えAdobe社がこれを行使することができます。Adobe社は、本項に記載されたいかなるAdobe社製ソフトウェアおよび技術に関しても、お客様に対して一切の責任を負わないものとします。

輸出制限

本ソフトウェアおよびEFI製品には、米国輸出管理法を含む米国における輸出関連の法律および規則が適用されます。本使用許諾契約で付与されるライセンスは、お客様が、米国における輸出関連法規を含む適用ある全ての輸出関連法規に従うことを前提としています。お客様は、これらの法規に違反する形で、本ソフトウェアおよびEFI製品のいかなる一部も、使用、開示、配布、譲渡、輸出、再輸出しないことに同意するものとします。

政府による使用
アメリカ合衆国政府による本ソフトウェアの使用、複製、開示は、FAR 12.212またはDFARS 227.7202-3 -227.7202-4に定める規制に服し、かつ米国連邦法で要求される範囲において、FAR 52.227-14、Restricted Rights Notice(June 1987) Alternate III(g)(3)(June 1987)またはFAR 52.227-19(June 1987)に定める最小限の限定権利(minimum restricted rights)に服します。技術データは、本使用許諾契約に従って提供される技術データの範囲内で、FAR 12.211およびDFARS 227.7102-2によって保護され、またアメリカ合衆国政府により明示的にに要求される範囲で、DFARS 252.227.7015(November 1995)およびDFARS 252.227-7037(September 1999)に定める限定権利に服します。上述の規定が修正または他の法規により上書きされる場合、その後の同等の規定が適用されるものとします。契約者名はElectronics for Imaging, Inc.です。

準拠法および管轄権
本使用許諾契約の当事者の権利および義務は、あらゆる意味において排他的に、カリフォルニア州法に準拠するものとします。従って、カリフォルニア州住民間でカリフォルニア州内において成立する契約に対する法律が適用されます。国際物品売買契約に関する国連条約およびその他同様の条約は本使用許諾契約には適用されないものとします。本ソフトウェア、本製品、サービス、および/または本使用許諾契約に関連する全ての紛争については、お客様は、カリフォルニア州サンマテオ郡における州裁判所および北カリフォルニア連邦裁判所のみを所轄裁判所とすることに同意するものとします。

一般条項
本使用許諾契約はお客様と Electronics for Imaging, Inc.との完全合意　を表したものであり、本ソフトウェア、本製品、サービス、本使用許諾契約が規定するその他の事項に関する他のやり取りや広告に優先するものです。本使用許諾契約の一部の条項が無効でも、それらの条項は法的強制力を有するのに必要な範囲で修正されたとみなされ、また、それ以外の部分は完全な効力を有するものとします。

ご不明な点がありましたら、EFIのWebサイト(www.efi.com)を参照ください。
Electronics for Imaging, Inc.
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404
USA

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾に関する付記

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾で言及している「EFIソフトウェア」には、EFI社製品に含まれているオープンソースソフトウェアは含まれておらず、また、イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾は、オープンソースソフトウェアには適用されません。製品に含まれるオープンソースソフトウェアの使用は、イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾とは別に提供され、プリンタソフトウェアCDのOpenSrcフォルダ内のReadme.txtに記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に準拠しなければなりません。本製品を使用することは、プリンタソフトウェアCDのOpenSrcフォルダ内のReadme.txtに記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に示される条件を受諾したことになります。
オープンソースソフトウェア使用許諾の条件を受諾できない場合、購入日から30日以内以内に領収証と共に製品を購入された販売店にお持ちください。購入時にお支払いになった代金を全額返金致します。

 以上

※Adobe Reader の使用について
 Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe、Adobe ReaderおよびPostScriptは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。
Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
ColorWise、Command WorkStation、EFI、Fieryは、米国特許商標庁および/またはその 他諸国におけるElectronics for Imaging, Inc.の登録商標です。
Fiery Downloader、Fiery Spoolerは、Electronics for Imaging, Inc.の商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

1 使用開始前に ―――― 11
コントロールレベル ―――― 12
プリント接続方法 ―――― 12
パスワード ―――― 13
Fiery WebTools ―――― 14
コントロールレベル概要 ―――― 15
MLPro9800PS システムソフトウェア ―――― 17
MLPro9800PS「設定」について ―――― 18
ネットワークの設定 ―――― 18

2 操作パネルからの MLPro9800PS「設定」 ―――― 19
操作パネルでの MLPro9800PS「設定」作業 ―――― 20
MLPro9800PSの操作パネル ―――― 20
設定の実行 ―――― 21
サーバ設定 ―――― 22
ネットワーク設定 ―――― 24
ポート設定 ―――― 25
プロトコル設定 ―――― 26
サービス設定 ―――― 31
パラレル設定 ―――― 42
USB 設定 ―――― 43
プリント接続 ―――― 44
直接接続 ―――― 44
キュー ―――― 44
プリンタ設定 ―――― 45
PS 設定 ―――― 48
PCL 設定 ―――― 51
カラー設定 ―――― 53
設定終了 ―――― 55
「設定」メニュー内の管理機能 ―――― 56
ジョブログ設定 ―――― 57
設定終了 ―――― 58

3 リモートコンピュータからの MLPro9800PS「設定」 ―――― 59
Fiery WebSetup へのアクセス ―――― 60
Command WorkStation（Windows）での設定作業 ―――― 63
サーバ設定 ―――― 64
サーバ ―――― 64
ネットワーク設定 ―――― 67
ポート ―――― 67
プロトコル ―――― 69

NetWareサービス ―― 74
サービス設定 ―― 77
Eメールサービス設定 ―― 80
プリンタ設定 ―― 82
PS設定 ―― 83
サーバの再起動 ―― 84
印刷グループ ―― 85
設定情報ページの印刷 ―― 88

4 Fiery WebTools 設定 ―― 89

Fiery WebTools を設定する ―― 90

5 MLPro9800PS の管理 ―― 93

MLPro9800PS の管理機能 ―― 94
パスワードの設定 ―― 96
操作パネルからのパスワード変更 ―― 96
Command WorkStationからのパスワード変更 ―― 97
サーバの初期化 ―― 98
出荷時のデフォルト ―― 99
E メールサービスアドレス帳の管理 ―― 100
設定情報ページの印刷 ―― 102
フォントのバックアップと復帰方法 ―― 103
重要事項 ―― 103
フォントバックアップ ―― 103
フォント復帰 ―― 104
MLPro9800PS の最適性能の維持 ―― 105
MLPro9800PS サーバの再起動 ―― 106
MLPro9800PS システムの再起動 ―― 107

付録 A：トラブルシューティング ―― 109

操作パネル設定時のトラブルシューティング ―― 110
「ネットワーク設定」メッセージ ―― 110

索　引 ―― 119

1 使用開始前に

MLPro9800PSは、使用環境に合わせてシステム管理が行いやすいよう構築することが可能です。ネットワークプリント環境を構築するにあたって、システム管理者は、ユーザがアクセス可能なネットワークやソフトウェアの使用レベルをあらかじめ決めておく必要があります。使用レベルは、プリント接続の開放やパスワードの設定によって決定できます。

インストールや設定を行う前に、MLPro9800Pへのアクセス方法やコントロール方法を理解し、環境に合った方法を決めてください。

コントロールおよびアクセスレベル 12
MLPro9800PS システムソフトウェア 17
MLPro9800PS「設定」について 18

コントロールレベル

MLPro9800PSシステムでは、5段階のコントロールレベルを設定することができます。システム管理者やオペレータがジョブフローや印刷をコントロールするような多量印刷環境下では最大制限つきのコントロールが必要です。この場合、ユーザから送られたジョブはMLPro9800PSのハードディスク上にスプールされ、オペレータがその印刷時期を決定します。また、システム管理者やオペレータのみが管理ソフトウェアツールを使用できます。
ローカルネットワーク上のすべてのユーザがすべてのジョブやサーバ機能をコントロールできる小規模な環境下では、コントロールレベルの制限は最小に設定します。この場合は、全ユーザが等しくシステムやソフトウェアツールにアクセスできます。
「設定」終了後、システム管理者はプリント接続、Fiery WebToolsアクセスあるいはパスワードを使用可能(または使用不可能)にすることによりコントロールレベルを操作することができます。

プリント接続方法

MLPro9800PSは待機キュー、印刷キュー、直接接続の3種類のプリント接続方法をサポートしています。「印刷キュー」や「直接接続」を使用すると、リモートユーザが自由に印刷できます。「待機キュー」を使用するとシステム管理者またはオペレータがリモートユーザの印刷を許可するまで印刷されません。このためコントロールを厳しく制限したい場合は、これらの接続を使用可能にすべきではありません。

待機キュー

待機キューに送られたジョブはMLPro9800PSのハードディスクにスプールされます。これらのジョブの印刷処理は、Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spooler(『ジョブ管理ガイド』参照)を使用して行います。

直接接続

直接接続では、MLPro9800PSへジョブが直接送られます。MLPro9800PSが使用中の場合は、MLPro9800PSが使用可能になるまでジョブはワークステーション側に留まります。前のジョブの処理が終わり次第、印刷キュー内のジョブが処理される前に、このジョブはMLPro9800PSで処理されます。直接接続に送られたジョブはMLPro9800PSのハードディスクには格納されず、また、Command WorkStation/Command WorkStation LE、またはFiery Spoolerのジョブ欄にも表示されません。このため直接接続は機密性の高いジョブを保護するのに適しています。直接接続に送られたジョブもジョブログ上に表示されます。

- 欧文フォント及び和文フォントのインストールには直接接続を使用する必要があります。MLPro9800PSにフォントをインストールする際は、直接接続を使用可能にしてください。
- 直接接続を使う場合、以下のプリンタ機能が使用できなくなります。通常は印刷キューをお使いください。
  - 部単位コピー印刷
  - 製本印刷
  - ページ順の降順
  - ダイレクトPDF/TIFFファイル印刷
  - グループ印刷
  - バリアブルデータ印刷
  - Eメール印刷
  - Hot Folderでのプリントオプション設定
  - DocuBuilderProでの面付け指定
  - 用紙サイズに合わせる設定

印刷キュー

印刷キューに送られたジョブはMLPro9800PSに到着した順に処理・印刷されます。ただしCommand WorkStation/Command WorkStation LEやFiery Spoolerでオペレータによって優先されたジョブや直接接続を介して送信されたジョブは印刷キュー内のジョブより先行して処理されます。

パスワード

MLPro9800PS機能へのアクセスをコントロールするためにパスワードを設定できます。
MLPro9800PSでは次のパスワードが用意されています。

- システム管理者　　操作パネル、Command WorkStationまたはFiery WebSetupで設定可能
- オペレータ　　Command WorkStation、Fiery WebSetupで設定可能

デフォルトではパスワードは設定されていません。パスワードが設定されていないと、MLPro9800PS「設定」(パスワード設定を含む)、ジョブコントロールなどの重要な機能に全ユーザがアクセスできることになります。MLPro9800PS「設定」を勝手に変えられることのないよう、システム管理者パスワードを設定しておくことを推奨します。

システム管理者用パスワード

システム管理者用パスワードを入力すると、MLPro9800PS「設定」に無制限にアクセスし印刷やジョブ管理環境をコントロールできるので、システム管理者用パスワード特権には、最も高い権限が与えられます。この特権には、プリント接続の開放、パスワードの設定、フォントの削除、サーバの初期化(ジョブの消去)などが含まれます。

オペレータ用パスワード

オペレータコントロールには、Command WorkStation/Command WorkStation LE、またはFiery Spoolerでの印刷ジョブ管理(ジョブ設定の上書きを含む)や、キャリブレーションの実施およびキャリブレーション設定の上書きが含まれます。

ゲスト (パスワード不要)

Command WorkStation/Command WorkStation LE、またはFiery Spoolerにゲストとしてログインする場合は、パスワードは必要ありません。ゲストは現行ジョブの状況を確認することはできますが、ジョブやMLPro9800PSの状況に変更を加えることはできません。

Fiery WebTools

MLPro9800PSでは、インターネットやイントラネットを介してWindows対応コンピュータからFiery WebToolsが使用可能です。Fiery WebToolsを使用するには、MLPro9800PS「設定」で下記の作業を行う必要があります。

- 「TCP/IPを使用する」を「はい」に設定
- IPアドレスを設定
- サブネットマスクを設定
- TCP/IPゲートウェイアドレスを入力
- 「Webサービスを使用する」を「はい」に設定

Fiery WebTools機能へのアクセスをコントロールするためにパスワードを設定することができます。パスワードを設定しないと、全ユーザがすべてのWebTools機能にアクセス可能になります。
Fiery WebToolsには、状況、WebLink、WebDownloader、WebSetupが含まれています。

Fiery WebToolsは、Mac OS X Nativeモードではサポートされていません。

状況

状況ツールを使用すると現在のMLPro9800PSで処理中・印刷中のジョブ情報が表示されます。「状況」ツール使用時にパスワードは不要です。詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。

WebLink

WebLinkはFiery WebLinkアドレスへリンクするときに使用します。

WebDownloader

Fiery WebDownloaderを使用すると、PS、PDF、EPS、TIFFファイルをMLPro9800PSにダウンロードできます。

WebSetup

Fiery WebSetupを使用するとリモートコンピュータからMLPro9800PS「設定」を変更することができます。

Fiery WebSetupはWindowsコンピュータからのみ使用できます。

コントロールレベル概要

レベル1(最小制限)からレベル5(最大制限)までのコントロールレベル使用例を次に記載します。この中から使用環境に合ったレベルを選び、次ページの表でそのレベル番号に対応したMLPro9800PSの設定方法を参照してください。

MLPro9800PSのシステム環境破壊を防止するために、最低限としてシステム管理者用パスワードの設定を推奨します。

1.　システム管理者およびオペレータなし

全ユーザが同等のアクセス権限を持ち、MLPro9800PS「設定」、サーバの初期化、プリンタフォントの消去、キャリブレーション、MLPro9800PSの全プリント接続 (印刷キュー、待機キュー、直接接続)への印刷、およびCommand WorkStation/Command WorkStation LE、Fiery Spoolerからの全ジョブのコントロールが可能です。(このレベル設定はお勧めできません。)

2.　システム管理者あり、オペレータなし

システム管理者のみが、MLPro9800PS「設定」などの管理機能を使用できますが、その他全機能-ワークステーションからのキャリブレーション、MLPro9800PSの全プリント接続(印刷キュー、待機キュー、直接接続)への印刷、および全ジョブ管理は一般ユーザ全員が実行可能です。

3.　システム管理者とオペレータあり

システム管理者のみがMLPro9800PS「設定」などの管理機能を使用できます。また、オペレータまたはシステム管理者のみがワークステーションからキャリブレーションおよびジョブ管理を行うことができます。一般ユーザは、MLPro9800PSの全プリント接続に印刷できます。

4.　システム管理者とオペレータあり、かつFiery WebToolsへのアクセスなし

システム管理者のみがMLPro9800PS「設定」を実行可能、そしてオペレータとシステム管理者のみがワークステーションからキャリブレーションとジョブ管理を実行できます。ユーザはMLPro9800PSの印刷キューおよび待機キューへの印刷が可能ですが、直接接続は使用できません。オペレータが全ジョブフローをコントロールしますが、印刷キューへ送られたジョブに対してのオペレータ介入は必要はありません。Fiery WebToolsは使用できません。

5.　システム管理者とオペレータあり、Fiery WebToolsへのアクセスなし、かつオペレータが全ジョブをコントロール

システム管理者のみがMLPro9800PS「設定」を実行可能、また、オペレータとシステム管理者のみがワークステーションからキャリブレーションとジョブ管理を実行可能です。ユーザはMLPro9800PSの待機キューのみ使用可能です。オペレータのみがジョブフローをすべてコントロールします。ユーザはWebToolsを使用できません。

コントロールレベル

必要な設定	1 (最小制限)	2	3	4	5 (最大制限)
MLPro9800PS「設定」の「直接接続」で「はい」を選択	○	○	○		
MLPro9800PS「設定」の「印刷キュー」で「はい」を選択	○	○	○	○	
MLPro9800PS「設定」の「Webサービスを使用する」で「はい」を選択	○	○	○		
MLPro9800PS「設定」でシステム管理者用パスワードを設定する（推奨）		○	○	○	○
（Command WorkStationの）MLPro9800PS「設定」でオペレータ用パスワードを設定する			○	○	○

MLPro9800PSシステムソフトウェア

MLPro9800PSシステムソフトウェアは、Linux OSソフトウェアと「サーバ」ソフトウェアで構成されます。「サーバ」は、Linux OS上で動作するソフトウェアで、Linux OSがブートすると自動的に起動します。「サーバ」は、ジョブのスプール、処理、印刷、保存、およびジョブログの管理を行います。

本製品で「システム」という言葉は、Linux OSと「サーバ」ソフトウェアの両方を意味します。操作パネルの「終了」画面で表示される「サーバの再起動」は、Linux OSは起動した状態のまま「サーバ」ソフトウェアだけを再起動します。「システムのリブート」は、Linux OSソフトウェアと「サーバ」ソフトウェアを再起動します。

MLPro9800PS上でLinux OSがブートしている場合でも、「サーバ」が起動していないとジョブの受信、処理はできません。また、Command WorkStation／Command WorkStation LEからMLPro9800PSに接続することもできません。この場合、MLPro9800PSの操作パネルでMLPro9800PSを再起動してください。

MLPro9800PS「設定」について

MLPro9800PS「設定」では、他のデバイスとの通信制御や、プリントジョブの管理方法を設定できます。MLPro9800PS「設定」は、最初にMLPro9800PSに電源を入れるときと、システムソフトウェアを更新したときに必要です。初回の設定では、デフォルト設定で、MLPro9800PSを「使用可能」にできますが、一般ユーザが必ずしもMLPro9800PSに印刷できるようになるとは限りません。各使用環境に適した設定を行ってください。ネットワーク環境が変更になった場合、ユーザの印刷環境が変更になった場合には適宜MLPro9800PS「設定」を変更してください。
初回の MLPro9800PS「設定」では、操作パネルから「サーバ設定」、「ネットワーク設定」、および「プリンタ設定」を必ずこの順番で行ってください。 また、初回の設定では、MLPro9800PSとCommand WorkStation/Command WorkStation LE間のネットワーク接続に必要な設定作業も行います。

ネットワークの設定

MLPro9800PS「設定」を行う前に、ネットワークサーバの設定が必要です。ネットワークの設定については、「第4章：Fiery WebTools設定」を参照してください。
NovellサーバまたはWindowsサーバ(TCP/IP使用)を使用する場合は、MLPro9800PS で「ネットワーク設定」を行う前に、ネットワークサーバをMLPro9800PS 印刷用に構築しておく必要があります。
MLPro9800PSは、「ネットワーク設定」中、ネットワーク上のゾーン、サーバあるいはサーバ上のキュー情報を知る必要がありますので、「ネットワーク設定」はネットワークが実際に稼働している時に行ってください。
サーバ、プリンタあるいはネットワーク自体の構成が変更になった場合は、いつでも変更内容に応じて設定を個々に変更することができます。同様に、印刷や管理の必要性に応じて、設定内容を変更することも可能です。
MLPro9800PSには、正しいWindowsドメイン名を設定する必要があります。これは、特にWindows印刷(SMB印刷)を使用する場合に重要です。この作業はネットワーク上のWindows サーバのサーバ管理ユーティリティを使用して実行します。サーバ管理ユーティリティを使用し、MLPro9800PSをネットワークに追加してください。詳細は、マイクロソフトの取扱説明書を参照してください。

2 操作パネルからのMLPro9800PS「設定」

MLPro9800PS「設定」は、MLPro9800PSを導入して最初にシステムを起動したときや、システムソフトウェアの再インストールを行った後に行う必要があります。

操作パネルでのMLPro9800PS「設定」作業 20
サーバ設定 22
ネットワーク設定 24
パラレル設定 42
USB設定 43
プリント接続 44
プリンタ設定 45
PS設定 48
PCL設定 51
カラー設定 53
「設定」メニュー内の管理機能 56

操作パネルでのMLPro9800PS「設定」作業

MLPro9800PSが他のデバイスと交信したり、受取った印刷ジョブを管理したりするには、操作パネル上でMLPro9800PS「設定」を行う必要があります。
MLPro9800PS「設定」には下記の設定オプションが用意されています。

- 「サーバ設定」　MLPro9800PSシステムオプション指定
- 「ネットワーク設定」　MLPro9800PSに印刷ジョブを転送するすべてのアクティブなネットワークシステムを指定
- 「パラレル設定」　パラレルポート設定
- 「USB設定」　USBポート設定
- 「プリンタ設定」　MLPro9800PS上の印刷ジョブやキューの管理方法を指定
- 「PS設定」　PostScriptオプション設定
- 「PCL設定」　PCLオプション設定
- 「カラー設定」　カラー出力オプション設定
- 「ジョブログ設定」　印刷済みジョブの記録を取り扱う方法を指定
- 「パスワード変更」　MLPro9800PSのシステム管理用パスワードを設定・変更
- 「言語」　使用言語の設定
- 「サーバの初期化」　MLPro9800PSの初期化
- 「出荷時のデフォルト」　すべての設定値を工場出荷時の状態に戻す

この他、操作パネルからは、MLPro9800PSのシステム管理者用パスワードの設定・変更も行うことができます。

MLPro9800PSの操作パネルでオプションの設定や処理中のジョブの情報表示ができます。

MLPro9800PSの操作パネル

MLPro9800PS操作パネルからは、ジョブ情報の取得、特殊ページの印刷、および印刷設定が実行できます。ほとんどの機能はCommand WorkStationからも実行可能ですが、Command WorkStationが実行されているワークステーションが手近にない場合でも操作パネルから実行可能です。
操作パネルについては、「プリンタ機能編」をご覧ください。

操作パネル使用時の注意

MLPro9800PSの表示ウィンドウはガラス製LCDです。ガラスが割れて中の液晶が漏れ出た場合は、液晶に触れないようにしてください。万一、液晶に触れた場合は、石鹸と水ですぐに洗い落としてください。
表示ウィンドウ表面に強い衝撃が加えられることのないように注意してください。表示ウィンドウに圧力がかかると、パネルの表示色が変色する恐れがあります。

設定の実行

設定を実行するときには、操作パネルに「印刷できます」と表示されていることを確認してください。
MLPro9800PSが印刷中またはRIP中の場合は、処理が終了し表示ウィンドウに「印刷できます」と表示されるまで待ってください。

操作パネルでMLPro9800PS「設定」作業を開始するには：

❶ 上下ボタンを使用して、画面をスクロールし、［管理者用メニュー］を選択します。

注 システム管理者パスワードが設定されている場合、「パスワード入力」画面が表示され、パスワードの入力が求められます。

❷ 「設定を続行しますか？」画面で［はい］を選択します。

「設定開始中」、「オフラインです」、「設定開始中」と画面に表示され、しばらくすると設定項目が画面に表示されます。

❸ 希望の項目に対応した行選択ボタンを押すと、その項目を選択できます。

必要な場合は、上下ボタンで画面をスクロールしてください。

❹ 「サーバ設定」、「ネットワーク設定」、「プリンタ設定」を順番に選択し、各設定作業を行います。

注 初回設定時には、まずこれらの3項目を必ずこの順番で設定してください。他の設定項目は、随時設定・変更可能です。2回目以降は、変更したい設定項目に直接進んでください。

❺ 「パスワード変更」でシステム管理者用パスワードを設定します。パスワードの設定により一般ユーザの「設定」メニューへのアクセスを制限することができます。

サーバ設定

「サーバ設定」メニューでは MLPro9800PSや全ユーザに関するシステム情報を設定します。操作パネルでMLPro9800PS「設定」を開始する方法については、21ページを参照してください。

「サーバ設定」を選択すると以下の順でオプションが表示されます。[ ]内はデフォルト値です。

サーバ名
[デフォルトサーバ名]

ネットワーク上で MLPro9800PSに名前を付けるときにこのオプションを使用します(最長 15文字)。この名前はAppleTalk名、DNSのホスト名、ランデブー名、SMBのサーバ名に使用されます。

DNSのホスト名、SMBのサーバ名をサーバ名とは別の名称に設定したい場合は、DNS設定のホスト名、Windows設定のサーバ名で個別に設定を行ってください。

システムの日付

システムの日付を変更するときにこのオプションを使用します。日付は年/月/日の順に入力します。

例) 2005年5月13日の場合は、 05/05/13 と入力します。

システムの時間

システムの時間を変更するときにこのオプションを使用します。24時間表示に従って、時:分の順に09:10の形式で入力します。

ロケーション

MLPro9800PSが設置されている場所の情報を文字列で入力します。

スタートページの印刷
いいえ / はい [いいえ]

MLPro9800PS立ち上げおよび再起動のつどスタートページを印刷するかどうかを指定します。スタートページにはサーバ名、現在の日付と時刻、カラーモード、MLPro9800PSのメモリ量、キャリブレーション実施日、使用可能なネットワークプロトコル、プリント接続などの MLPro9800PS情報が表示されます。

キャラクタセット
Macintosh / DOS / Windows [Macintosh]

MLPro9800PSの操作パネルおよびCommand WorkStation で、ファイル名の表示に使用するキャラクタセットを「Macintosh」、「DOS」あるいは「Windows」の中から指定します。この指定はファイル名にアクセント記号(é, ü)が付いていたり、合成文字(æ)が含まれている場合に重要です。
複数プラットフォームが混在するネットワークでは、多数を占めるクライアント対応のキャラクタセットを指定するか、特種文字の表示に最適なセットを指定してください。

グループプリント使用
はい / いいえ [いいえ]

「はい」を設定すると、特定の部門以外からのMLPro9800PSへの印刷を制限することができます。グループ名およびパスワードはCommand WorkStationで設定できます。設定方法についての詳細は、83ページの「印刷グループ」を参照してください。
MLPro9800PSにフォントをダウンロードする場合には、「グループプリント使用」で「いいえ」を選択してください。

「グループ名」および「パスワード」は、直接接続に印刷する場合には使用できません。

印刷済みキュー使用
はい / いいえ ［はい］

印刷済みキューを使用する場合は、「はい」を選択します。「はい」を選択すると、印刷キューから印刷されたジョブを、一定数保存するための領域が MLPro9800PSハードディスク上に確保されます。システム管理者またはオペレータ特権を持っている場合は、Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerを使用することにより、 MLPro9800PSにジョブを再送信せずに印刷済みキューから再印刷することができます。「いいえ」を選択すると、印刷済みジョブは印刷後、MLPro9800PSハードディスクから削除されます。

保存ジョブ数
1-99 ［10］

このオプションは「印刷済みキュー使用」が「はい」に設定されている場合に限り表示されます。印刷済みキューに保存するジョブ数を指定します。保存するジョブ数を多く指定すると、それだけMLPro9800PSのハードディスクの空き容量が少なくなります。空き容量が少ない場合は、保存ジョブ数に低い値を設定してください。

RIP にプレビュー
はい / いいえ ［いいえ］

ジョブ処理中に、Command WorkStationの「アクティビティ」モニタの処理状況欄にプレビューを表示するかどうかを指定します。

変更の保存
はい / いいえ ［はい］

「サーバ設定」での変更を有効にする場合は「はい」を選択します。「いいえ」を選択すると、無変更のままメイン「設定」メニューに戻ります。

ネットワーク設定

「ネットワーク設定」で、ネットワークを介して MLPro9800PSに印刷ジョブを転送できるように MLPro9800PSを構築します。
「設定」メニューで「ネットワーク設定」を選択します。「ネットワーク設定」メニューで、ポートタイプ、プロトコル、ネットワークサービス設定用のサブメニューが選択できます。「ポート設定」ではイーサネットを使用可能にする必要があります。
ある項目を選択または使用可能にすると、その項目に関連した設定を入力するように促されます。「ネットワーク設定」では、ワークステーション、サーバ、および MLPro9800PSが通信中に使用するネットワークのアドレスや名前などを指定します。
現在使用中のネットワークシステム用のオプションのみを表示し選択してください。ネットワーク環境の変更が生じた場合、随時「ネットワーク設定」を変更できます。
2種類以上のプロトコルが使用できるよう MLPro9800PSが設定されている場合は、MLPro9800PSは印刷ジョブ受取り時点で該当するプロトコルを自動的に識別します。ネットワークポートが使用可能になっている場合、どのポートも他のポートに影響されることなく印刷ジョブを受信できます。

ネットワーク接続タイプごとに関連設定項目が用意されています（次表参照）。

ネットワーク接続タイプ	ポート設定	プロトコル設定	サービス設定
イーサネットー AppleTalk	イーサネット設定	AppleTalk 設定	AppleTalk 印刷（PAP）は自動的に使用可能になりす。
イーサネットーTCP/IP	イーサネット設定	TCP/IP 設定：イーサネット設定	LPD設定 Web サービス設定 Windows設定 IPP設定（Windows 98/Me/2000/XP/Server2003） ポート9100設定 （Windows2000/XPおよびWindowsServer 2003）
イーサネットーIPXSPX	イーサネット設定	IPX/SPX 設定	PServer 設定（NDS、バインダリ、または両方）

ネットワーク設定オプションにアクセスするには：

❶ MLPro9800PS にネットワーク用ケーブルが接続されていることを確認します。

ネットワーク設定中に、MLPro9800PSはゾーン、サーバ、およびサーバ内のキューに関する情報をネットワークから収集します。ネットワークに接続されない状態またはネットワークが機能していない状態でこのネットワーク設定を行うとデフォルト設定が使用されます。デフォルト設定は必ずしも最適な設定とは限りませんので注意してください。

❷ メイン「設定」メニューから［ネットワーク設定］を選びます。

❸ 「ネットワーク設定」メニューから［ポート設定］を選びます。

❹ イーサネットを使用する場合は、「ポート設定」メニューから［イーサネット設定］を選択し、適切な設定情報を入力します（次ページ以降を参照）。

❺ ポート設定入力後、［ポート設定終了］を選び、［プロトコル設定］を選びます。

❻ プロトコル用に適切な設定情報を入力します。

❼ プロトコル設定入力後、［プロトコル設定終了］を選び、次に［サービス設定］を選びます。

❽ ［サービス設定］で、必要な設定作業を行います。

❾ サービス設定入力後［サービス設定終了］を選びます。

ネットワーク設定を終了するには：

❶ ［サービス設定終了］を選択すると「ネットワーク設定」画面が表示されます。この画面で［ネット設定終了］を選びます。

❷ 「変更の保存」が表示されますので、［はい］を選びます。

❸ メイン「設定」メニューで他の設定項目を選ぶか、［設定終了］を選びます。
初回設定時、あるいは接続を追加・変更した場合は、［ネットワーク設定］後、［プリンタ設定］を選んでください。

以下は、ネットワーク設定メニューの説明です。オプション選択項目行の[ ]内はデフォルト値です。

ポート設定

MLPro9800PSをネットワークで使用するには、「ポート設定」でイーサネットを使用可能にする必要があります。
「ネットワーク設定」では複数レベルでメニュー画面が存在しますので、下位レベルのメニューを表示するときは、上位レベルのメニュー名も印と共に表示します。

イーサネット設定

イーサネット使用
はい / いいえ［はい］

MLPro9800PSにイーサネットケーブルを接続する場合は、「はい」を選択します。

イーサネット速度
自動検知 / 100Mbps 全二重 / 100Mbps 半二重 / 10Mbps 全二重 / 10Mbps 半二重［自動検知］

ネットワーク上のコンピュータとMLPro9800PS間のイーサネット通信速度を指定します。ネットワークに100Mbpsと10Mbps が混在している場合、またはネットワーク速度がわからない場合は「自動検知」を指定します。自動検知が正しく行われなかった場合や、ネットワークからの印刷で印刷速度が遅い場合またはホストPCとの接続が切れる、などのトラブルが発生した場合、使用しているハブの動作モード[100BASE-TX/10BASE-T , 全二重/半二重]を確認し、操作パネルから本設定をハブの動作モードと同じ設定に変更してください。

プロトコル設定

MLPro9800PS「設定」では、プロトコルを選択し、各プロトコルごとの設定を行う必要があります。
AppleTalk、TCP/IP、およびIPX/SPX通信は同時に使用可能です。

AppleTalk設定

AppleTalk 使用
はい / いいえ ［はい］

MLPro9800PSをAppleTalkネットワークに接続する場合に、「はい」を選択します。この設定により AppleTalkネットワーク上で MLPro9800PSが使用可能になります。

選択されたゾーン
［ゾーンの一覧］

MLPro9800PSはネットワークをサーチして AppleTalk ゾーン情報を得ます。ゾーンの一覧をスクロールしてMLPro9800PSが所属するAppleTalkゾーンを選択してください。ゾーンが１つしかない場合は、MLPro9800PSはその ゾーンに割り当てられます。
「ゾーンが見つかりません」という警告は、ネットワークにゾーンがないか、ネットワークケーブルが接続されていない場合に表示されます。この警告が表示されたら「OK」を選択してください。

TCP/IP 設定

イーサネット設定

TCP/IP イーサネット
はい / いいえ ［はい］

イーサネットケーブルを介して MLPro9800PSをTCP/IP ネットワークに接続する場合は、「はい」を選択します。

IP アドレス自動割当
はい / いいえ ［はい］

このオプションは、「TCP/IP-イーサネット」で「はい」を選択した場合に表示されます。イーサネット用IPアドレスを、MLPro9800PSに自動的に割り当てる場合は、「はい」を選択します。
自動取得したIPアドレスは、後で自動的に変更される場合があります。IPアドレスを一定に保持したい場合は、このオプションで「いいえ」を選択し、「IPアドレス」でアドレスを入力してください。

プロトコル選択
DHCP/BOOTP ［DHCP］

このオプションは「IP アドレス自動割当」オプションで「はい」を選んだ場合にだけ表示されます。
MLPro9800PSがIPアドレスを取得する際に使用するプロトコルを指定します。DHCPおよびBOOTPを選択した場合、MLPro9800PSはIPアドレスと同時にサブネットマスク、およびゲートウェイアドレスも取得できます。
DHCPを使用している場合、サーバを再起動しなくてもIPアドレスが変更される場合があります。

自動ゲートウェイアドレス
はい / いいえ ［はい］

このオプションは、「IPアドレス自動割当」で「はい」が選択されていて、IPアドレス自動割当用プロトコルに「DHCP」または「BOOTP」が選択されている場合に表示されます。「はい」を選択すると、ゲートウェイ に IPアドレスが自動的に割り当てられます。「いいえ」を選択すると、「ゲートウェイアドレス」入力画面が表示されます。

IP アドレス
[192.168.100.100]

MLPro9800PSのイーサネット用IPアドレスを入力します。TCP/IPで印刷を行う場合は、MLPro9800PS独自の認可済みIPアドレスを付与する必要があります。

サブネットマスク
[255.255.255.0]

イーサネットを介してTCP/IPで印刷するためのサブネットマスクを変更するときにこのオプションを使用します。IPアドレスを設定変更した場合は、適切なサブネットマスク値を設定してください。サブネットマスク値が不明な場合は以下のルールで値を設定してください。

- 255.0.0.0　　IPアドレスが128より小さな数字で始まるとき
- 255.255.0.0　　IPアドレスが128から191の間で始まるとき
- 255.255.255.0　　IPアドレスが191より大きい数字で始まるとき

サブネットマスクの設定に関しては、ネットワーク管理者に前もって確認してください。上記とは異なる数値の入力を必要とする場合があります。

ゲートウェイアドレス
[192.168.100.254]

TCP/IPで印刷するためにゲートウェイアドレスを設定する必要があるときにこのオプションを使用します。

使用しているネットワークにゲートウェイが存在しない場合には、「127.0.0.1」を入力してください。

TCP/IP設定作業が終了したら、「TCP/IP設定終了」を選択してください。

DNS 設定

DNS 設定

DNS 使用
はい / いいえ ［はい］

このオプションで「はい」を選択すると、DNS機能が使用可能になります。

DNS アドレス自動取得
はい / いいえ ［はい］

このオプションで「はい」を選択すると、MLPro9800PSが自動的にDNSサーバのIPアドレスを取得するようになります。

DNS サーバ（プライマリ）
[127.0.0.1]

このオプションは、「DNSアドレス自動取得」で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。プライマリDNSサーバのアドレスを入力します。

DNS サーバ（セカンダリ）
[127.0.0.1]

このオプションは、「DNSアドレス自動取得」で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。セカンダリDNSサーバのアドレスを入力します。

ドメイン名

DNSドメイン名を入力します。

ホスト名
[デフォルトサーバ名]

MLPro9800PSのDNSホスト名を入力します。

セキュリティ 設定

セキュリティ設定

IP フィルタリング

MLPro9800PSとIPアドレス間の通信を制御することにより、MLPro9800PSのセキュリティを高める機能です。各オプションを設定して、特定のIPアドレスからの通信を許可または拒否します。IPアドレスは、個々のIPアドレスを指定することもできますし、範囲を指定することもできます。初期設定では、すべてのIPアドレスからの通信を許可します。

IP ポート設定

MLPro9800PSのポートを使用可能にしたり、使用不可に設定します。ジョブの印刷または制御に不要なポートを使用不可に設定することで、MLPro9800PSの負荷を減らしたり、セキュリティを高めることができます。

このオプションで設定できないポートは、すべて使用不可に設定されています。

以下は、IPフィルタリングのオプションです。

IP フィルタ使用する
はい / いいえ ［いいえ］

「はい」を選択すると、続くメニューで許可または拒否するIPアドレスの指定を行うことができます。

デフォルトポリシー
許可 / 拒否 ［許可］

「許可」を選択すると、この設定で指定した以外のIPアドレスからの通信を許可します。指定以外のIPアドレスからの通信を拒否する場合には「拒否」を選択します。

フィルタ追加
IP アドレス /IP 範囲［IP アドレス］

「IPアドレス」を選択すると、通信を許可または拒否するIPアドレスを指定できます。「IP範囲」を指定した場合には、IPアドレスを範囲で指定できます。IPアドレスまたはIP範囲は、合計で16まで指定できます。

0.0.0.0または255.255.255.255は指定できません。

フィルタ削除

通信を許可または拒否するIPアドレス、またはIP範囲を削除します。

フィルタ編集

通信を許可または拒否するIPアドレス、またはIP範囲を変更します。

以下は、IPポート設定のオプションです。ポート番号の右横に括弧付きで示されているのは、そのポートのサポートしているプロトコルです。

IP ポートの設定
はい / いいえ［いいえ］

「はい」を選択すると、続くメニューでMLPro9800PSのポートを使用可能にしたり、使用不可に設定することができます。上下ボタンで画面をスクロールさせ、それぞれ「はい」、「いいえ」を設定します。画面に表示される設定内容を確認してください。

20-21（FTP）
はい / いいえ［いいえ］

MLPro9800PSのFTPポートを使用する、使用しないを設定します。FTP印刷を使用する場合、このポートは使用可能に設定してください。

80（HTTP）
はい / いいえ［はい］

MLPro9800PSのHTTPポートを使用する、使用しないを設定します。Fiery WebToolsおよびIPP印刷を使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

137-139（NETBIOS）
はい / いいえ［はい］

MLPro9800PSのNetBIOSポートを使用する、使用しないを設定します。SMB印刷を使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

161-162（SNMP）
はい / いいえ［はい］

MLPro9800PSのSNMPポートを使用する、使用しないを設定します。Command WorkStation, Network Extension, PrintSuperVisionを使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

515（LPD / Utils）
はい / いいえ［はい］

MLPro9800PSのLPDポートを使用する、使用しないを設定します。UNIXからの印刷、WindowsNT/2000/XP/Server2003からLPD印刷、OKI LPRユーティリティからの印刷を使用する場合、およびFiery WebToolsを使用する場合は、このポートは使用可能に設定してください。

631（IPP）
はい / いいえ ［いいえ］

MLPro9800PSのIPPポートを使用する、使用しないを設定します。IPP印刷を使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

9100-03（ポート9100）
はい / いいえ ［はい］

MLPro9800PSの9100ポートを使用する、使用しないを設定します。Windows2000/XP、Windows Server 2003からポート9100を使用して印刷する場合、ストレージデバイスマネージャ, プリントジョブアカウンティングをネットワークで使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

EFIポート
はい / いいえ ［はい］

MLPro9800PSのEFIポート（8021-8022）を使用する、使用しないを設定します。Command WorkStationを使用する場合、およびプリンタドライバから双方向通信を使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

OKIポート
はい / いいえ ［はい］

MLPro9800PSのOKIポートを使用する、使用しないを設定します。AdminManager、Mac Setup Utilityを使用する場合、このポートは、使用可能に設定してください。

IPX/SPX設定

IPX/SPXプロトコル用にMLPro9800PSを構築する場合は、「プロトコル設定」メニューで「IPX/SPX設定」を選びます。IPX/SPXを使用するには少なくとも1つのフレームタイプを選択する必要があります。MLPro9800PSはIPX/SPX用に次のフレームタイプをサポートします。

- イーサネット用　Ethernet 802.2、Ethernet 802.3、Ethernet II、Ethernet SNAP

フレームタイプ選択

MLPro9800PSで使用するIPX/SPXフレームタイプを設定するには、このメニューを選択します。「フレームタイプ自動取得」が表示されます。

フレームタイプ自動取得
はい / いいえ ［はい］

「はい」を選択すると、最初に検出されたフレームタイプが使用可能になります。バインドされたフレームタイプを確認するには、設定を保存し、設定ページを印刷してください。特定のフレームタイプを使用する場合には、MLPro9800PSをリブート後、「いいえ」を選択して、表示された使用可能なフレームタイプから選択します。
（フレームタイプの選択を解除するには、該当フレームタイプに対応する行選択ボタンを再度押してください。）必要な場合は、上下ボタンで画面をスクロールしてください。MLPro9800PS は選択されたフレームタイプにバインドします。
必要なフレームタイプを選択後は、「IPX/SPX設定終了」を選択します。
「IPX/SPX」設定が有効になっている場合、同じネットワーク上にダイヤルアップルータの接続があると、定期的に電話回線の接続が発生することがあります。ダイヤルアップルータが接続された時点で通信料、利用料金が課金されます。課金が発生しないようにするには、IPX/SPXプロトコルを使用しないダイヤルアップルータを利用するか、「IPX/SPX設定」でIPX/SPXプロトコルの設定を無効に設定変更してください。

フレームタイプ初期化

IPX/SPXフレームタイプをバインド解除するには、このメニューを選択します。「初期化しますか？」が表示されます。

サービス設定

「サービス設定」では、IPX/SPXおよびTCP/IPネットワーク用にオプションが用意されています。「PServer 設定」では、IPX/SPXネットワーク用にMLPro9800PS印刷ジョブ用の Novellオブジェクト名を設定します。PServerは MLPro9800PSが提供するプログラムで、MLPro9800PS印刷用に Novellネットワーク上に構築されているプリントサーバ内のプリントキューをすべて取り扱います。

- 「LPD設定」では、TCP/IPネットワーク用にlpd印刷を使用可能にできます。
- IPX/SPX用には、「PServer 設定」が用意されています。PServerを使用可能にすると、 NDS（Novellディレクトリサービス）およびバインダリサービスを設定することができます。NetWareはバージョン6のみをサポートします。
- 「Windows設定」では、MicrosoftのSMB（Server Message Block）プロトコルを使用可能にできます。SMBプロトコルは、ピアツーピア印刷（Windows 印刷またはSMB印刷）をサポートします。
- 「Webサービス設定」では、 httpプロトコルを使用可能にできます。これにより、Fiery WebToolsが使用可能になります。
- 「IPP設定」では、Windows98/MeおよびWindows2000/XP/Server2003からのIPP印刷を使用可能にできます。
- 「ポート9100設定」では、Windows2000/XPアプリケーションがポート 9100ソケットをオープンし、MLPro9800PSへプリントジョブを送信できるようになります。
- 「メール設定」では、Eメール経由での印刷を使用可能にできます。
- 「FTP設定」では、FTPでのデータ受信を使用可能にできます。
- 「ランデブー設定」では、ランデブーによる印刷を使用可能にできます。
- 「SNMP設定」では、SNMPのコミュニティ名を設定し、セキュリティを向上します。

LPD設定

LPD 使用
はい / いいえ ［はい］

OKI LPRユーティリティやlpdを介して印刷を行う場合は、「はい」を選択します。

PServer 設定

PServer 使用
はい / いいえ ［いいえ］

MLPro9800PSがNovell ネットワークに接続されている場合に、「はい」を選びます。
ネットワークが NDS とバインダリの両方を使用している場合は、NDS を最初に設定してください。バインダリ設定の後にNDSを行うと、バインダリ設定が上書きされてしまいます。
ネットワークがNDSとバインダリの両方を使用し、バインダリエミュレーションモードのNetWare 6サーバを使用し、かつ同一NDSツリー上にNDSとバインダリエミュレーションサーバがある場合、MLPro9800PSはNDSまたはバインダリエミュレーションサーバのいずれかしか取り扱うことができません。

NDS設定

NDS設定を行う前に、MLPro9800PSがネットワークに接続され、NDSディレクトリツリーにMLPro9800PSジョブ用のプリンタオブジェクト、プリントサーバオブジェクト、および1つ以上のプリントキューオブジェクトが構築済みであることを確認してください。NDS設定を行うには、NDSツリーを参照する許可が必要です。プリントサーバへのアクセスが制限されている場合は、ログイン用パスワードが必要になります。
NDS設定の主目的はプリントサーバオブジェクトを指定することにありますが、これに加えてMLPro9800PS用のプリントキューの場所を指示することもできます。

「Novellサーバ」あるいは「IPXファイルサーバ」という言葉はどちらも「Novellネットワークソフトウェアが稼働している IPXネットワーク上のサーバ」を意味する用語です。

NDS 使用
はい / いいえ ［いいえ］

MLPro9800PS印刷用NovellサーバがNetWare 6ネイティブモードの場合に、「はい」を選択します。

NDS ツリーの選択
［ツリー一覧］

MLPro9800PSで利用可能なNDSツリーを一覧するには、上下ボタンを押します。MLPro9800PS用に定義されているプリンタオブジェクト、プリントサーバオブジェクト、およびプリントキュー オブジェクトを含むツリー名が表示されたら「OK」を選択します。
ツリーがすでに選択されている場合は、新規に選択されたNDSツリーに自動的に置き換えられます。また、既存のバインダリ設定がある場合に別のツリーを選択すると、バインダリ設定が削除されるという警告メッセージが表示されます。バインダリ設定を削除したくない場合は、まず「OK」を選択し次の確認画面で「いいえ」を選びます。バインダリ設定は、NDS 設定後再度行うことができます。

ツリー参照ログイン？
はい / いいえ ［いいえ］

すべてのツリーオブジェクトをログインなしで参照できる場合は、「いいえ」を選びます。この場合、次にプリントサーバオブジェクト参照用画面が現れます。
NDSツリーを参照しプリントサーバオブジェクトを探すためにログインとパスワードが必要な場合は、「はい」を選択します。この場合、次にユーザログインオブジェクト用参照画面が現れます。

オブジェクト検索

この画面は前のオプションで「はい」を選んだ場合にのみ表示されます。「OK」を選択し、以下の要領でNDSツリーを参照してください。

{NDS ツリー名}
オブジェクト一覧、「..」

まず「NDSツリーの選択」で選択されているツリー名が表示されます。ここから検索を開始して、ユーザログインオブジェクトを見つけてください。必要な場合は画面をスクロールして、ツリーの下位レベルのオブジェクト一覧および「..」記号を見つけてください。「..」記号は上位層を選ぶときに使用します。

後続の参照画面には、現在のオブジェクトと、下記の情報が表示されます。
- 現在のオブジェクトの下位層のオブジェクトの一覧
- 上位層移行用の「..」記号

オブジェクト選択後「OK」を選択すると下位層の表示に移り、「..」選択後「OK」を選ぶと、上位層に移ります。「OK」を選択した後の画面では、そのオブジェクトとその下位層のオブジェクトの一覧または「..」が表示されます。
ユーザログインオブジェクトが見つかるまでこの参照作業を続けてください。ユーザログインオブジェクトが現れたところで「OK」を選択すると、MLPro9800PSは自動的に次の処理に進みます。

パスワード入力

NDSツリー用のログインパスワードを入力します。文字を選ぶには上下ボタンを、文字を決定するには選択ボタンを使用します。パスワード入力後、「OK」を選択してください。

プリントサーバ検索

この画面が表示されたら「OK」を選択し、NDSツリーを参照してプリントサーバオブジェクトを見つけてください。
まず「NDSツリーの選択」で選択されているツリー名が表示されます。ここから検索を開始して、プリントサーバオブジェクトを見つけてください。必要な場合は画面をスクロールして、ツリーの下位レベルのオブジェクト一覧および「..」記号を見つけてください。「..」記号は上位層を選ぶときに使用します。

後続の参照画面には、現在のオブジェクトと、下記の情報が表示されます。

- 現在のオブジェクトの下位層のオブジェクトの一覧
- 上位層移行用の「..」記号

オブジェクト選択後「OK」を選ぶと下位層の表示に移り、「..」選択後「OK」を選ぶと、上位層に移ります。「OK」を選択した後の画面では、そのオブジェクトとその下位層のオブジェクトの一覧または「..」が表示されます。
プリントサーバオブジェクトが見つかるまでこの参照作業を続けてください。プリントサーバオブジェクトが現れたところで「OK」を選ぶと、MLPro9800PSは自動的に次の処理に進みます。

パスワード入力

プリントサーバパスワードを入力します。文字を選ぶには上下ボタンを、文字を決定するには選択ボタンを使用します。パスワード入力後、「OK」を選択してください。

キューの探索範囲：
全 NDS ツリー / 特定サブツリー [全 NDS ツリー]

デフォルトでは、MLPro9800PS用プリントキューを見つけるために、MLPro9800PSは全NDSツリーを探索します。このオプションでは、MLPro9800PS用プリントキューが定義されているサブツリー(プリントキュールート)にプリントキューの探索範囲を選択できるので、参照効率が上がります。
ツリーが小さい場合は、「全 NDS ツリー」を選択します。探索範囲を限定するには、「特定サブツリー」を選択します。
「全NDSツリー」を選択後「OK」を押すと、「PServer 設定」画面に戻ります。次に「バインダリ設定」(34ページ参照)または「ポーリング間隔」(37ページ参照)に進むか、「PServer 設定終了」を選んで「サービス設定」メニューに戻ってください。

印刷キュールート参照

この画面は前のオプションで「特定サブツリー」が選択された場合にのみ表示されます。「OK」を選択した後、NDSツリーを参照してプリントキューサブツリーを見つけてください。
まず、「NDSツリーの選択」で選択されているツリー名が表示されます。ここから検索を開始して、プリントキューサブツリーのルートオブジェクトを見つけてください。必要な場合は画面をスクロールして、ツリーの下位レベルのオブジェクト一覧および「..」記号を見つけてください。「..」記号は上位層を選ぶときに使用します。

後続の参照画面には、現在のオブジェクトと、下記の情報が表示されます。

- 現在のオブジェクトの下位層のオブジェクトの一覧
- 上位層移行用の「..」記号
- 表示されているオブジェクトを選ぶための「.」記号

オブジェクト選択後、「OK」を選択すると下位層の表示に移り、「..」選択後「OK」を選択すると、上位層に移ります。「OK」を選択した後の画面では、そのオブジェクトとその下位層のオブジェクトの一覧または「..」が表示されます。
プリントキューサブツリーのルートオブジェクトが見つかるまでこの参照作業を続けてください。ルートオブジェクトが表示されたところで「OK」を選択し、次の画面で「.」を選んで「OK」を選択します。
選択されたルートオブジェクト名が表示されます。「OK」を選択すると「PServer 設定」メニューに戻ります。
次に「バインダリ設定」または「ポーリング間隔」(37ページ参照)に進むか、「PServer設定終了」を選んで「サービス設定」メニューに戻ってください。

バインダリ設定

バインダリ設定を行う前に、MLPro9800PSがネットワークに接続されていること、およびMLPro9800PS用のプリントサーバとプリントキューを備えたNetWare 6バインダリエミュレーションモードのファイルサーバが1つ以上構築されていることを確認してください。この設定を行うためには Novell サーバは稼働中でなければなりません。また、ログイン名が必要です。ファイルサーバへのアクセスが限定されている場合は、ログイン用パスワードも必要です。

「Novell サーバ」あるいは「IPXファイルサーバ」という言葉はどちらも、「Novellネットワークソフトウェアが稼働しているIPXネットワーク上のサーバ」を意味する用語です。

複数の Novellサーバが MLPro9800PS印刷ジョブを処理できるように追加メニューが用意されています。

- ファイルサーバ追加　MLPro9800PSのサーバ接続を追加新設します。最高8台までのファイルサーバ接続が可能です。新サーバ追加後、「バインダリ設定」メニューに戻って別のファイルサーバを追加できます。
- サーバ表示　MLPro9800PSに接続済みのファイルサーバ一覧を表示します。
- 接続の変更　MLPro9800PS印刷用Novellプリントサーバを変更するときに使用します。
- ファイルサーバ解除　ファイルサーバとMLPro9800PSとの接続を解除します。MLPro9800PSに接続されているファイルサーバの台数を減らしたいとき、あるいは別のNovellファイルサーバへ接続を変更するときに使用します。
- バインダリ設定終了　ファイルサーバの一覧を表示したり、ファイルサーバの追加または解除後、「バインダリ設定」を終了するときに選択します。

バインダリ設定中に、「バインダリ設定」メインメニューに戻る必要が生じた場合は、メニューボタンを押してください。ネットワーク設定での変更をすべて取り消したい場合は「ネット設定終了」を選択し、「変更の保存」で「いいえ」を選択してください。

ファイルサーバ追加

Novellファイルサーバ追加の方法は2種類用意されています。

ファイルサーバ選択
一覧から / 名前で検索

ファイルサーバを一覧から選択するか、名前で検索するかを指定します。ネットワーク上のファイルサーバ数が多くないときには「一覧から」を選択します。ネットワーク上のファイルサーバ数が多く一覧するのに時間がかかる場合は「名前で検索」を選んでください。

サーバ追加
[全ファイルサーバ一覧]

このオプションは、「ファイルサーバ選択」で「一覧から」を選択すると表示されます。MLPro9800PSはIPXネットワークに照会してNovellファイルサーバの一覧情報を得ます。上下ボタンを使用して一覧から Novellファイルサーバを選びます。MLPro9800PS用プリントサーバとプリントキューを構築済みのファイルサーバを選んでください。

最初の文字を入力

このオプションは、「ファイルサーバ選択」で「名前で検索」を選択すると表示されます。サーバ名の最初の文字(または最初の数文字)を入力し「OK」を選びます。

サーバ追加
[検索文字に対応したサーバ一覧]

このオプションは、「サーバ名の最初の文字を入力してください。」でサーバ検索文字を入力後表示されます。一覧から該当するサーバを選んでください。
ファイルサーバが選択されると、MLPro9800PSはすぐにそのサーバに「guest」としてパスワードなしでログインしようとします。これでログインできると「ファイルサーバログイン」オプションを省略して「NetWareプリントサーバ」オプションに進みます。
ファイルサーバを追加しようとしても、MLPro9800PSのサーバ接続数がすでに許容限度に達していると、接続を解除するように促すメッセージが表示されます(36ページの「ファイルサーバ解除」参照)。

ファイルサーバログイン
superviser / admin / ログイン名入力 [supervisor]

このオプションはログインパスワードが必要な場合、またはゲストアカウントがない・使用できない場合にのみ表示されます。supervisorあるいはadministrator特権を持っているときは「supervisor」または「admin」を選択します。利用者のログイン名とパスワードを入力する、または「guest」としてログインする場合は「ログイン名の入力」を選択します。

ログイン名入力
[guest]

このオプションは「ファイルサーバログイン」で「ログイン名入力」を選択した場合に限り表示されます。利用者のログイン名を入力するか、「guest」を選択してください。

ファイルサーバパスワード

このオプションは「ファイルサーバログイン」で「ログイン名入力」を選択した場合に限り表示されます。Novellファイルサーバへログインするためのパスワードを入力します。パスワードが不正確な場合、再入力を促されます。

NetWare プリントサーバ
[選択されたファイルサーバ上のプリントサーバ一覧]

選択された Novellファイルサーバ上にプリントサーバが複数設定されている場合のみこのオプションが表示されます。プリントサーバはNovellユーティリティPCONSOLEで前もって設定されています。このプリントサーバ一覧から、MLPro9800PS用プリントサーバ名を選択してください。これはIPXネットワーク上のコンピュータからMLPro9800PSに印刷ジョブを送信するためのプリントサーバです。

プリントサーバパスワード

パスワードを使ってNovellプリントサーバにログインする必要がある場合にのみこのオプションが表示されます。プリントサーバパスワードを入力してください。

接続の変更

接続中の各Novellファイルサーバには、MLPro9800PS印刷ジョブを扱うためのプリントサーバが指定されています。この MLPro9800PS用プリントサーバを変更するときにこのオプションを使用します。

変更の対象
[ファイルサーバ名]

接続中のファイルサーバの一覧から、変更したいプリントサーバに対応するファイルサーバを選びます。

NetWare プリントサーバ
[選択されたファイルサーバ上のプリントサーバ一覧]

変更したい プリントサーバ名を選択します。このプリントサーバを経由してIPXネットワーク上のコンピュータが MLPro9800PSに印刷ジョブを送ります。

プリントサーバパスワード

パスワードを使ってNovellプリントサーバにログインする必要がある場合にのみこのオプションが表示されます。プリントサーバパスワードを入力してください。
この後、「バインダリ設定」メニューが再び現れます。MLPro9800PS用に構築したすべての Novell ファイルサーバを接続し終えるまで、「ファイルサーバ追加」を繰り返し選んでください。MLPro9800PS用のファイルサーバをすべて追加し終えたら、「バインダリ設定終了」を選びます。

サーバ表示

接続されているサーバをすべて一覧したい場合は、このオプションを選択します。

サポートされているサーバ

「バインダリ設定」でMLPro9800PSに接続したファイルサーバの一覧を表示します。接続されているサーバがないときはその旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択すると「バインダリ設定」メニュー画面に戻ります。

ファイルサーバ解除

接続されているファイルサーバを解除したい場合は、このオプションを選択します。

サポート解除の対象
[ファイルサーバ名]

接続中ファイルサーバの一覧からNovellファイルサーバを選択すると、そのサーバへの接続が解除されます。「バインダリ設定」メニュー画面に戻ります。途中で接続解除を中止したいときは、メニューボタンを押してください。
この後、(ファイルサーバ追加など)他の「バインダリ設定」オプションを選ぶこともできますし、「バインダリ設定終了」を選んでポーリング間隔の設定に進むこともできます。

バインダリ設定終了

バインダリ設定終了

IPXファイルサーバー一覧の表示や、ファイルサーバの接続解除、MLPro9800PS用に構築された全Novellファイルサーバの接続など、「バインダリ設定」がすべて終了したら「バインダリ設定終了」を選んでください。「PServer設定」メニュー画面に戻ります。

ポーリング間隔

NDSまたはバインダリサービスのいずれを使用する場合でも、「PServer 設定」メニューで「ポーリング間隔」を選択できます。ポーリング間隔の指定がない場合は、デフォルト値が適用されます。

IPX ポーリング間隔
1-3600 ［15］

MLPro9800PSが印刷待機ジョブの有無を確認するためにNovellサーバと交信するときのポーリング間隔を秒単位で指定します。

Windows設定

Windows 印刷使用
はい / いいえ ［はい］

このオプションで「はい」を選択すると、SMBが使用可能になります。SMBは、Windows対応コンピュータ上でファイルやプリンタを共有可能にするWindows内蔵プロトコルです。SMBを使用すると、Windows対応コンピュータ上で MLPro9800PSをジョブの送信先として表示することが可能となり、他のソフトウェアを使用することなしにWindows対応コンピュータからMLPro9800PSのプリント接続（印刷キュー、待機キュー、直接接続）に印刷ジョブを送信できます。

自動設定使用
はい / いいえ ［はい］

このオプションは、MLPro9800PSのIPアドレス自動割当用プロトコルに「DHCP」または「BOOTP」が選択されている場合に表示されます。ネームサーバのIP アドレスを自動取得する場合は「はい」を選択し、「サーバ名」に進みます。「いいえ」を選択すると「WINSネームサーバ使用」に進みます。「WINSネームサーバ使用」で「はい」を選択後、IPアドレスを入力します。

WINS ネームサーバ使用
はい / いいえ ［いいえ］

SMBネットワーク上でルーターを越えてブロードキャストを行うには、WINSネームサーバが必要です。本書には、WINSネームサーバ設定に関する説明は含まれていません。ネットワーク上でのネームサーバ構築状況に関しては、ネットワーク管理者に連絡してください。

WINS サーバ IP アドレス
[127.0.0.1]

このオプションは、「WINSネームサーバ使用」で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。WINSネームサーバの正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはネットワーク管理者から取得してください。

サーバ名
[デフォルトサーバ名]

[デフォルトサーバ名]には、「サーバ設定」で指定した名前が表示されます。SMBネットワーク上でMLPro9800PSをアクセスするには、このサーバ名を指定します(22ページ参照)。

サーバコメント

サーバコメントには、プリンタに関する情報などを最大15文字まで入力できます。

ドメイン名設定
一覧から選択 / ドメイン名を入力 [一覧から選択]

ドメインまたはワークグループの指定方法を選択します。「一覧から選択」を選択すると、MLPro9800PSは使用可能なドメインまたはワークグループ名を検索します。「ドメイン名を入力」を選択した場合は、使用するドメインまたはワークグループ名を入力します。

ドメイン名選択

このオプションは、「ドメイン名設定」で「一覧から選択」を選択した場合に表示されます。検索結果の中から、ドメインまたはワークグループ名を指定します。

ワークグループ / ドメイン

このオプションは、「ドメイン設定」で「ドメイン名を入力」を選択した場合に表示されます。MLPro9800PSのワークグループまたはドメイン名を入力します。

ドメインを選択/入力した場合には、WindowsNT4.0/2000サーバのサーバーマネージャを使用してMLPro9800PSをドメインに追加する必要があります。

Webサービス設定

Web サービス使用
はい / いいえ [はい]

TCP/IPが MLPro9800PSおよびユーザワークステーションで使用可能で、ユーザにFiery WebToolsを開放したい場合は、「はい」を選びます。Fiery WebTools には次のツールが含まれます。

- 状況
- WebLink
- WebDownloader
- WebSetup

これらのツールを使用するには、ユーザワークステーション側ではJava対応WebブラウザとIPアドレスが必要です。

IPP設定

IPP を使用する
はい / いいえ ［いいえ］

IPP（Internet Printing Protocol）印刷を使用する場合は、「はい」を選択します。このオプションを設定するには、「Webサービス設定」の「Webサービスを使用する」で「はい」を選択する必要があります。

ポート9100設定

ポート 9100 使用
はい / いいえ ［はい］

Windows2000/XPから標準TCP/IPを使用してMLPro9800PSに印刷する場合、ストレージデバイスマネージャ, プリントジョブアカウンティングをネットワークで使用する場合、このオプションで「はい」を選択します。なお、工場出荷状態ではいくつかの印刷オプションを使用することができません。通常はLPRプロトコルを使用して印刷してください。

ポート 9100 キュー
直接キュー / 印刷キュー / 待機キュー ［直接キュー］

ポート9100を使用する場合のFiery接続を指定します。プリンタ設定で有効にしたキューのみが使用できます。
ストレージデバイスマネージャ, プリントジョブアカウンティングをネットワークで使用する場合、直接キューを選択します。

ポート9101は直接キュー, ポート9102は印刷キュー, ポート9103は待機キューに接続されており、ポート番号の変更はできません。

メール設定

Eメール機能を使用可能にすると、Eメールで送信したジョブをMLPro9800PSで印刷できるようになります。

メールサービス使用
はい / いいえ ［はい］

「はい」を選択すると、MLPro9800PSが提供するE メールサービスが使用可能になります。同時に、「ページの印刷」機能メニューから「メールログ」を印刷して、サービスの使用状況も確認することができます。
以下のメニューは、「メールサービスを使用する」で、「はい」を選択した場合にだけ表示されます。「いいえ」を選択した場合、「サービス設定」画面に戻ります。

メール印刷使用
はい / いいえ ［はい］

「はい」を選択すると、Eメールを使用したジョブの印刷が使用可能になります。デフォルトは、「はい」です。

送信サーバ

ネットワーク内のインターネットメール送信サーバのIPアドレスまたはDNS名を入力します。

受信サーバ

ネットワーク内のインターネットメール受信サーバのIPアドレスまたはDNS名を入力します。

サーバタイプ
POP3/IMAP ［POP3］

受信メールサーバのサーバタイプを入力します。

Fiery メールアドレス

MLPro9800PSが使用するメールアドレスを入力します。メールサービスを使用するユーザおよび管理者は、ここで指定するアドレスにメールを送信します。

アカウント名

メールサーバで設定されているアカウント名を入力します。これは、ネットワークで使用される内部名であり、ユーザ名と同じである必要はありません。

パスワード

メールサーバで設定されているアカウントに対するパスワードを入力します。

管理者メールアドレス

MLPro9800PS Eメールサービスを管理する管理者Eメールアカウントのメールアドレスを入力します。ここで登録されたEメールアドレスからは、アドレス帳の管理や、Eメールを使用したジョブの管理が行なえます。

タイムアウト（秒）
30-300 ［30］

MLPro9800PSがEメールサーバと接続する際のタイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。

ポーリング間隔（秒）
1-3600 ［300］

MLPro9800PSが自動的にEメールサーバに新規Eメールサービスメッセージを取得に行く間隔を秒単位で指定できます。

FTP設定

FTPサービスを使用可能にすると、MLPro9800PSがFTPでデータを受信することができます。
受信可能なジョブのサイズは、MLPro9800PS-X/-Sでは10MBまで、MLPro9800PS-Eでは1MBまでです。

FTP 受信可能
はい / いいえ ［いいえ］

「はい」を選択すると、MLPro9800PSがFTPでデータを受信することができます。

タイムアウト（秒）
1-300 ［300］

タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。

ランデブー設定

ランデブーはMac OS X 10.4からBonjourと名前が変更になっていますが、本書ではランデブーとして説明しています。

ランデブー設定
はい / いいえ ［はい］

「はい」を選択すると、Mac OS Xからランデブーで MLPro9800PSを見つけることができます。

SNMP設定

SNMP 使用
はい / いいえ ［はい］

「はい」を選択すると、TCP/IPおよびIPX接続でSNMPサービスが使用可能になります。「いいえ」を選択すると、Command WorkStationおよびFiery WebSetupからのリモートFiery「設定」が使用できなくなります。
Network Extension, PrintSuperVisionを使用する場合は、「はい」を選択します。

読み取りコミュニティ名
[public]

このオプションは、「SNMPを使用する」で「はい」を選択した場合に限り表示されます。このオプションでは、SNMPコミュニティ名「public」を変更することで、MLPro9800PSのセキュリティを高めることができます。32バイトまでの英数字とスペースをコミュニティ名として入力します。ここでコミュニティ名を変更した場合、リモートからのFiery「設定」で設定内容を表示する際に変更されたコミュニティ名が必要となります。

書き込みコミュニティ名
[public]

このオプションは、「SNMPを使用する」で「はい」を選択した場合に限り表示されます。このオプションでは、SNMPコミュニティ名「public」を変更することで、MLPro9800PSのセキュリティを高めることができます。32バイトまでの英数字とスペースをコミュニティ名として入力します。ここでコミュニティ名を変更した場合、リモートからのFiery「設定」で設定内容を変更する際に変更されたコミュニティ名が必要となります。

上記二つのオプションでは、コミュニティ名として名前の最初と最後にスペースを入力した場合、そのスペースは自動的に削除されます。SNMPコミュニティ名として使用できない文字が入力された場合、または何も入力されなかった場合、デフォルトの「public」がSNMPコミュニティ名として使用されます。

サービス設定終了

「サービス設定」画面で「閉じる」を選択すると「ネットワーク設定」に戻ります。

変更の保存
はい / いいえ ［はい］

「ネットワーク設定」で行った変更を保存する場合は「はい」を選択します。保存しない場合は、「いいえ」を選択するとメイン「設定」メニューに戻ります。

パラレル設定

パラレルポート印刷を行うには、「パラレルポート使用」で「はい」を選択し、後続のオプションを設定してください。

パラレルポート使用
いいえ / はい ［はい］

パラレルポートを介して印刷する場合は、「はい」を選択します。MLPro9800PSのパラレルポートには、IBM PC/AT 互換機を 1 台のみ接続できます。

パラレルポートを使用可能にしても、 MLPro9800PSとのイーサネット通信に支障はありません。

EOF キャラクタの無視
はい / いいえ ［いいえ］

このオプションは「パラレルポート使用」が「はい」の設定になっている場合にのみ表示されます。このオプションで、ファイルの end-of-file(EOF)を無効にするかどうか指定します。PostScriptファイルがバイナリ(ASCIIではない)のとき、および、PCLドライバを使用するときは必ず「はい」を選択する必要があります。
このオプションが「はい」になっていると、MLPro9800PSはEOFを判断するのにポートのタイムアウト値を使用します。タイムアウト値が長く設定されている場合、印刷が完了してもLCDパネルに処理中の表示がしばらく続く場合があります。
PostScriptのみ使用し、PostScriptファイルがバイナリでないことがわかっている場合は、「いいえ」を選択することで印刷完了とともに処理中の表示を終了させることができます。

パラレル接続
直接キュー / 印刷キュー / 待機キュー ［印刷キュー］

パラレルポートから受信したジョブの行き先を指定します。このオプションは、「パラレルポート使用」で、パラレルポートが有効になっている場合にだけ表示されます。
なお、直接キューを選択するといくつかの印刷オプションが使用できません。通常は印刷キューを使用して印刷してください。

変更の保存
はい / いいえ ［はい］

「パラレル設定」の変更を有効にするときは「はい」を選択します。変更を反映させずにメイン「設定」メニューに戻るときは「いいえ」を選択してください。

USB設定

USBポート印刷を行うには、「USBポート使用」で「はい」を選択し、後続のオプションを設定してください。

USB ポート使用
いいえ / はい ［はい］

USBポート経由で印刷する場合は、「はい」を選択します。

EOF キャラクタの無視
はい / いいえ ［はい］

このオプションは「USBポート使用」が「はい」の設定になっている場合にのみ表示されます。
通常の使用では、「いいえ」を選択してください。
このオプションで、ファイルのend-of-file（EOF）を無効にするかどうか指定します。PostScriptファイルがバイナリ（ASCIIではない）のとき、および、PCL ドライバを使用するときは必ず「はい」を選択する必要があります。
このオプションが「はい」になっていると、MLPro9800PSはEOFを判断するのにポートのタイムアウト値を使用します。タイムアウト値が長く設定されている場合、印刷が完了してもLCDパネルに処理中の表示がしばらく続く場合があります。
PostScriptのみ使用し、PostScriptファイルがバイナリでないことがわかっている場合、「いいえ」を選択することで印刷完了とともに処理中の表示を終了させることができます。

USB 接続
直接キュー / 印刷キュー / 待機キュー ［印刷キュー］

USBポートから受信したジョブの行き先を指定します。このオプションは、「USBポート使用」で、USBポートが有効になっている場合にだけ表示されます。
ストレージデバイスマネージャ、プリントジョブアカウンティング、MicrolinePS UtilityをUSB接続で使用する場合、「直接キュー」を選択します。
なお、直接キューを選択するといくつかの印刷オプションを使用できません。通常は印刷キューを使用して印刷してください。

シリアル番号
はい / いいえ ［はい］

USBシリアル番号の有効/無効を指定します。

変更の保存
はい / いいえ ［はい］

「USB設定」の変更を有効にするときは「はい」を選択します。変更を反映させずにメイン「設定」メニューに戻るときは「いいえ」を選択してください。

プリント接続

MLPro9800PS「プリンタ設定」では、ネットワーク上のユーザに開放するプリント接続方式を指定します。プリント接続方式を指定することにより、MLPro9800PSが印刷ジョブを管理する方法を決めることができます。MLPro9800PSは、開放されているプリント接続すべてを常にチェックし、印刷ジョブの有無を確認します。ユーザに使用させたくない接続方式は開放しないでください。
MLPro9800PSは直接接続とキュー接続(印刷キューと待機キュー)の2種類の接続方式を提供しています。ユーザは開放されているプリント接続のみで印刷可能です。

直接接続

印刷ジョブは、MLPro9800PSが「使用可能」状態の時のみ MLPro9800PSの直接接続へ送られます。MLPro9800PSが「使用可能」でない場合は、「使用可能」になるまでジョブは送信元のワークステーションに留まり、先行ジョブの処理が終わり次第、キュー内のジョブより先に処理されます。
直接接続のジョブはMLPro9800PSのハードディスクには格納されません。Command WorkStation/Command WorkStation LE、Fiery Spoolerには現行ジョブとして表示されますが、再印刷、移動、削除などの操作を行うために選択することはできません。このため重要なファイルを保護するのに適しています。MLPro9800PSにフォントをダウンロードする場合、ストレージデバイスマネージャ, プリントジョブアカウンティングを使用する場合は、直接接続にする必要があります。
なお、直接接続を選択するといくつかの印刷オプションが使用できません。通常は印刷キューを使用して印刷してください。

キュー

キューは、MLPro9800PSのハードディスク上で印刷ジョブを格納しておく場所です。MLPro9800PSに多数のジョブが送信された時などにキューは便利です。キューに送られたジョブは、MLPro9800PSのハードディスクに格納されるので、ユーザのワークステーションのハードディスク領域は即刻解放されます。
システム管理者やオペレータは、Command WorkStation/Command WorkStation LE、Fiery Spoolerを使用して、キューに送信されたジョブの印刷順変更、削除、キュー間でのジョブの移動・コピーを行い印刷ジョブを操作・管理することができます。
MLPro9800PSのハードディスクは3種類のキュー(印刷、待機、印刷済み)をサポートします。ユーザはこのうち2種類(印刷、待機)を指定して印刷が可能です。

- 印刷キュー　標準の MLPro9800PSキューです。MLPro9800PSは印刷キュー内のジョブを到着順に印刷します。 Fieryユーティリティを使用する場合は、印刷キューを開放しておく必要があります。
- 待機キュー　待機キューは、後で印刷するジョブや繰り返し印刷するジョブを格納しておくためのキューです。
  待機キュー内のジョブを管理・印刷するには、システム管理者やオペレータの介入が必要です。待機キューに送信されたジョブを印刷するためには、Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerを使用してジョブを待機キューから印刷キューに移動・コピーする必要があります。
  Fieryユーティリティを使用するには、待機キューを開放する必要があります。
- 印刷済みキュー　印刷済みキューはMLPro9800PSディスク上に作成されます。このキューには印刷キューから印刷されたジョブが入ります。このキューがあると、印刷したジョブを再印刷する場合に便利です。「サーバ設定」オプションでこのキューを使用可能にしたり、このキューに格納可能なジョブの最大数を指定します(23ページ参照)。このキュー内のジョブを再印刷するためにはCommand WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerが必要です。

プリンタ設定

「プリンタ設定」ではプリント接続方式や使用するプリントデバイスの特性を設定します。
メイン「設定」メニュー画面で「プリンタ設定」を選択します。
「プリンタ設定」では次の設定を行います。設定後、変更を保存します。

- 直接接続、印刷キュー(必要な場合)、および待機キューの開放

以下の説明で、[ ]内はデフォルト値です。

パラレルポート経由で印刷する場合でも、いずれかのキュー、または直接接続を開放する必要があります。

直接接続
はい / いいえ [はい]

直接接続を開放すると、ユーザはMLPro9800PSのキューを迂回して直接MLPro9800PSへジョブを印刷(またはダウンロード)できるようになります。直接接続で印刷されたジョブは印刷済みキューには格納されません。
MLPro9800PSにフォントをダウンロードする場合、ストレージデバイスマネージャ, プリントジョブアカウンティング, MicrolinePS Utilityを使用する場合は、「直接接続」で「はい」を選択しておく必要があります。直接接続による印刷をユーザに行わせたくない場合は「いいえ」を選択してください。

印刷キュー
はい / いいえ [はい]

印刷キューを開放すると、ユーザはMLPro9800PSの印刷キューにジョブを送信(またはダウンロード)できるようになります。印刷キューに送られたジョブはMLPro9800PSのハードディスク上に到着順にスプールされます。このオプションで「はい」を選択した場合にのみ、ユーザは印刷キューを使用することができます。

待機キュー
はい / いいえ [はい]

待機キューを開放すると、ユーザは MLPro9800PSの待機キューにジョブを送信(またはダウンロード)できるようになります。待機キュー内のジョブを印刷するには、Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerで、ジョブを待機キューから印刷キューに移動・コピーする必要があります。

パーソナリティ
自動 / PCL /PostScript [自動]

パーソナリティの設定を選択します。デフォルトは[自動]です。

部数
1-99 [1]

印刷部数の設定を行ないます。

両面印刷
オフ / オン [オフ]

両面印刷機能を有効にするかどうかを指定します。複数ページのデータを両面印刷で印刷する場合は、本設定で「オン」を選択して下さい。「オフ」を選択した場合は、片面のみの印刷となります。
本設定は、両面印刷ユニットがプリンタ本体に装着されていない場合はメニュー上に表示されません。

MLPro9800PS-S/-Eでは、B4を超える用紙に両面印刷する場合、オプションのメモリを追加し合計512MBが必要です。ただし、600×600dpiで印刷する場合は、オプションの増設メモリは必要ありません。

綴じ方
横綴じ / 縦綴じ ［横綴じ］

両面印刷を行なう際に、用紙の長辺を綴じる印刷する場合は「横綴じ」、短辺を綴じるイメージで印刷する場合は「縦綴じ」を指定して下さい。
本設定は、両面印刷ユニットがプリンタ本体に装着されており、「両面印刷」設定が「オン」に設定されている場合にのみメニュー上に表示されます。

出力ビン
フェイスダウン / フェイスアップ ［フェイスダウン］
フェイスダウン / フィニッシャ ［フェイスダウン］＊（フィニッシャ装着時）

用紙の排出先を指定します。「フェイスアップ」を指定した場合は、プリンタ本体背面のフェイスアップスタッカを必ず開いて下さい。フィニッシャを装着している場合は、出力ビンで「フィニッシャ」が指定できる様になります。

ステープル
オフ / オン ［オフ］

ホチキス機能を使用する場合は「オン」を指定します。ホチキスを留める位置は、ステープル位置設定で選択します。
本設定は、フィニッシャおよびインバータがプリンタ本体に装着されていない場合はメニュー上に表示されません。
本設定は、「用紙チェック」設定が「はい」に設定されている場合に利用できます。

ステープル位置
手前側 / 奥側 / 中央 ［手前側］

ホチキスを留める位置を指定します。フィニッシャの用紙排出位置からプリンタ本体側に向かって、「手前側」、「奥側」および「中央」のいずれかを選択します。
本設定は、ステープル設定が「オフ」の場合はメニュー上に表示されません。

パンチ
オフ / オン ［オフ］

パンチ機能を使用する場合は「オン」を指定します。パンチ穴の数は、パンチ穴設定で行ないます。
本設定は、パンチ機構を有したフィニッシャがプリンタ本体に装着されていない場合はメニュー上に表示されません。
本設定は、「用紙チェック」設定が「はい」に設定されている場合に利用できます。

パンチ穴
2 / 3 ［3］

パンチ穴の数を指定します。
本設定は、パンチ機能が「オン」の場合はメニュー上に表示されません。

中綴じ
オフ / オン ［オフ］

中綴じ印刷機能を行なう場合は「オン」を指定します。
本設定は、フィニッシャがプリンタ本体に装着されていない場合はメニュー上に表示されません。
本設定は、「用紙チェック」設定が「はい」に設定されている場合に利用できます。

インバータ
オフ / オン ［オン］

フィニッシャから用紙を排出するときにインバータ内部で用紙を裏表反転させる機能を設定します。本設定で「オフ」を指定すると、フィニッシャへの排出結果はフェイスアップとなります。中綴じ印刷などフィニッシャのフェイスダウンを指定する必要がある場合は「オン」を指定します。
本設定は、フィニッシャおよびインバータが本体に装着されていない場合はメニュー上に表示されません。

ジョブオフセット
オフ / オン［オン］

ジョブオフセットの機能を有効にするかどうかを指定します。ジョブオフセットの機能を無効にする場合は「オフ」を選択してください。

解像度
600dpi / 1200 × 600dpi / 1200 × 1200dpi［1200 × 600dpi］

印刷する解像度を指定します。デフォルトは「1200X600dpi」が選択されています。

用紙チェック
はい / いいえ［はい］

印刷データで指定されている用紙サイズ、用紙タイプ、用紙厚などがプリンタメニューで指定されている設定と同じかをチェックするかどうかを指定します。用紙チェックを「いいえ」にした場合は、印刷データとメニュー上の設定が一致しなくても警告メッセージを表示せずに印刷します。通常は「はい」を選択してください。

OHP 検出
自動 / いいえ［自動］

OHPシートに印刷する場合に、用紙種類がOHPシートかを自動的に検出するかどうかを指定します。通常は「自動」を選択してください。

トナーセーブモード
オフ / オン［オフ］

印刷時のトナー消費量を抑えたい場合は「オン」にします。ただしトナーセーブモードを「オン」にした場合は印刷結果が多少薄くなります。

モノクロ印刷速度
自動 / カラー印刷速度 / 普通印刷速度［自動］

モノクロ印刷時の印刷速度の切り替えを指定します。通常は「自動」を選択してください。

ピーク電力制御
ノーマル / ロー［ノーマル］

ピーク電力時の制御方法を指定します。通常は「ノーマル」で使用してください。

パワーセーブ
いいえ / はい［はい］

プリンタのパワーセーブ機能を有効にするかどうかを指定します。パワーセーブ機能を使用すると、プリンタが一定時間データを受信しない場合に、電力の消費を抑えることができます。

ニアライフ時の LED
いいえ / はい［はい］

トナー、イメージドラムおよび定着器の寿命が近づいた場合に、プリンタのLEDランプを点灯させるかどうかを設定します。

変更の保存
はい / いいえ［はい］

「プリンタ設定」での変更を有効にするときは「はい」を選択します。変更を反映させずにメイン「設定」メニューに戻るときは「いいえ」を選択してください。

PS設定

「PS 設定」では、MLPro9800PSとプリンタ両方のPostScriptプリントオプションのデフォルト値を設定します。アプリケーションでプリンタのオプションを指定・変更できないシステムを使用している場合は、ここでデフォルト値を指定できます(たとえば、UNIX、DOS コマンド行、PostScript レベル 1プリンタドライバを使用するシステム、など)。詳細は、『PS印刷ガイド』を参照してください。
PS設定を実行するには、「設定」メニューをスクロールして「PS 設定」を選びます。
下記のオプションを設定し、最後に変更を保存します。

マスター印刷
いいえ / はい [いいえ]

FreeFormでのマスター作成時、マスターを自動印刷するかを指定します。「はい」を選択すると、FreeFormでのマスター作成時にマスターは自動的に印刷処理され、待機キューに保持された後、参照用に印刷されます。「いいえ」を選択すると、マスターは待機キューに保持されますが、印刷はされません。

デフォルト用紙サイズ
アメリカ式 / 日本式 [日本式]

デフォルト設定の用紙サイズを日本式(例:A4、B4、A3)にするか、アメリカ式(例:レター、リーガル、タブロイド)にするかを指定します。PostScript ファイルで用紙サイズが指定されていないと、「日本式」が選択されている場合にはA4サイズが、「アメリカ式」の場合にはレターサイズが適用されます。

用紙変更
いいえ　レター / 11 × 17 -> A4/A3　A4/A3 -> レター / 11 × 17 [いいえ]

用紙サイズをデフォルト設定の用紙サイズに自動的に変更するかどうかを指定します。たとえば、「A4/A3 -> レター/ 11×17」を選択した場合、A4の書類はレターサイズの用紙に自動的に印刷されます。
「いいえ」を選択すると、指定したサイズの用紙がセットされている場合にのみ印刷が行われます。

PS エラー発生まで印刷
いいえ / はい [いいえ]

印刷ジョブRIP中にPostScriptエラーが発生した際、RIP中のページとエラーの内容を印刷するかどうかを指定します。「はい」を選択すると、エラー発生以前にRIP処理された分とエラーの内容が印刷されます。印刷時に問題が発生したときには、このオプションを「はい」に設定して印刷してください。
「いいえ」を選択すると、RIP中のページとエラーの内容は印刷されませんが、RIP済みのページは印刷されます。

プリンタフォントのダウンロード(インストール)時には、必ず「いいえ」に設定してください。

中ゴシック BBB に置換
はい / いいえ [はい]

指定フォントが利用可能でない場合に、印刷可能なフォントで代替するかを指定します。アプリケーションによっては「いいえ」が選択されると、MLPro9800PSハードディスクまたはジョブを送ったワークステーション上で使用可能ではないフォントを使用しているジョブは PostScript エラーとなり、印刷されません。確実にプリンタにあるフォントを使用しなければならない場合以外は、「はい」を指定してください。

- PDFファイルを印刷する場合、フォントの置換は自動的に行われます。
- MLPro9800PS-X/-Sで利用できます。

平成角ゴシックに置換
はい / いいえ　[はい]

指定フォントが利用可能でない場合に、印刷可能なフォントで代替するかを指定します。アプリケーションによっては「いいえ」が選択されると、MLPro9800PSまたはジョブを送ったワークステーション上で使用可能ではないフォントを使用しているジョブは PostScript エラーとなり、印刷されません。

MLPro9800PS-Eのモデルで利用できます。

カバーページ印刷
いいえ / はい［いいえ］

各印刷ジョブの終了時にカバーページ（ジョブの概要）を印刷するかどうかを指定します。「はい」を選択すると、各印刷ジョブに続いて1枚の追加ページが印刷され、ジョブを送った利用者名、書類名、MLPro9800PS名、ジョブの印刷日時、ページ数、印刷結果、用紙サイズが印字されます。PostScriptエラーが発生した場合は、「PSエラー発生まで印刷」オプションが「はい」に設定されていれば「結果」欄にエラーメッセージが表示されます。

ハーフトーンスクリーン
ユーザ定義スクリーン１ / ユーザ定義スクリーン２ / ユーザ定義スクリーン３［ユーザ定義スクリーン１］

プリンタ内蔵のハーフトーンスクリーンを使用せず、ユーザ自身でハーフトーンスクリーンを3つまで定義することができます。新規定義するスクリーンを1から3のどの番号に定義するかを指定します。ユーザ定義スクリーンはPSドライバから指定することができます。

MLPro9800PS-Xで利用できます。

ハーフトーン線数
60～300［75］

ユーザ定義ハーフトーンスクリーンの線数を指定します。

MLPro9800PS-Xで利用できます。
200を超える線数を指定すると、きれいな印字を得られない場合があります。

シアンハーフトーン角度
0～360［15］

ユーザ定義ハーフトーンスクリーンのシアンのスクリーン角度を指定します。

MLPro9800PS-Xで利用できます。
他の色のスクリーンとの組み合わせによってはモアレが発生する場合があります。

マゼンタハーフトーン角度
0～360［75］

ユーザ定義ハーフトーンスクリーンのマゼンタのスクリーン角度を指定します。

MLPro9800PS-Xで利用できます。
他の色のスクリーンとの組み合わせによってはモアレが発生する場合があります。

イエローハーフトーン角度
0～360［0］

ユーザ定義ハーフトーンスクリーンのイエローのスクリーン角度を指定します。

MLPro9800PS-Xで利用できます。
他の色のスクリーンとの組み合わせによってはモアレが発生する場合があります。

ブラックハーフトーン角度
0～360［45］

ユーザ定義ハーフトーンスクリーンのブラックのスクリーン角度を指定します。

MLPro9800PS-Xで利用できます。
他の色のスクリーンとの組み合わせによってはモアレが発生する場合があります。

網点形状
ライン／楕円／ドット／四角／デフォルト ［ドット］

ユーザ定義ハーフトーンスクリーンの網点形状を指定します。

MLPro9800PS-Xで利用できます。

用紙サイズに合わせる
オン / オフ［オフ］

印刷したいジョブのサイズが用紙サイズと異なる場合、このオプションを選択することで用紙サイズに合わせてジョブのサイズを自動的に変更して印刷できるようになります。

変更の保存
はい / いいえ［はい］

「PS設定」での変更を有効にするときは「はい」を選択します。変更を反映させずにメイン「設定」メニューに戻るときは「いいえ」を選択してください。

PCL設定

「PCL設定」では、MLPro9800PSのPCLプリントオプションのデフォルト値を設定します。アプリケーションでプリンタのオプションを指定・変更できないシステムを使用している場合は、ここでデフォルト値を指定できます(たとえば、UNIX、DOS コマンド行を使用するシステム、など)。
PCL設定を実行するには、「設定」メニューをスクロールして「PCL 設定」を選びます。
下記のオプションを設定し、最後に変更を保存します。

用紙サイズ
レター / A4 / タブロイド / A3 [A4]

印刷ジョブで用紙サイズが指定されなかった場合のデフォルト用紙サイズを指定します。

デフォルト方向
縦 / 横 [縦]

デフォルトの用紙の向きを指定します。

1 ページ行数
5 - 64 - 128 [64]

1 ページに印刷する行数を指定します。

フォントサイズ
4.00 - 12.00 - 999.75 [12.00]

フォントサイズを指定します。

フォントピッチ
0.44 - 10.00 - 99.99 [10.00]

フォントの文字ピッチを指定します。

記号セット
- PC_8 - [PC_8]

使用するシンボルセットを指定します。

フォントソース
内蔵 / ソフトフォント [内蔵]

内蔵フォントとソフトフォントのどちらを優先して使用するかを指定します。

フォント番号
0 / 999 [0]

PCLフォント番号を設定します。

システムページサイズ
アメリカ式 / 日本式 [日本式]

システムページサイズを設定します。

A4 印字幅
78 / 80 [78]

A4用紙サイズに印刷可能な桁数を指定します。

白紙ページ除外
オン ／オフ［オフ］

印刷データの中に含まれる白紙ページの印刷をする/しないを指定します。

エラーレポート
はい / いいえ［いいえ］

エラーレポート機能の有効/無効を指定します。

CR 動作
CR のみ / CR+LF［CR のみ］

CRコードの認識方法を指定します。

LF 動作
LF のみ / LF+CR［LF のみ］

LFコードの認識方法を指定します。

変更の保存
はい / いいえ［はい］

「PCL設定」での変更を有効にするときは「はい」を選択します。変更を反映させずにメイン「設定」メニューに戻るときは「いいえ」を選択してください。

カラー設定

「カラー設定」ではカラー管理用オプションのデフォルト値を設定します。MacOSやWindows からユーザソフトウェアCD提供のプリンタドライバを使用して印刷する場合にはジョブごとにオプションを変更できます。アプリケーションでプリンタのオプションを指定・変更できないシステムを使用している場合は、ここでデフォルト値を指定します（たとえば、UNIX、DOSコマンド行、PostScriptレベル1プリンタドライバを使用するシステム、など)。詳細は、『PS印刷ガイド』および『カラーガイド』を参照してください。
カラー設定を実行するには、「設定」メニューをスクロールして「カラー設定」を選びます。

以下のオプションを設定し、最後に変更を保存します。

RGB ソースプロファイル
EFIRGB / sRGB（PC）/ Apple 標準 / なし［EFIRGB］

RGBソースは、RGBデータをプリントエンジンで出力可能な色の範囲に納まるよう変換する際に使用される色空間です。「EFIRGB」は MLPro9800PS印刷に最適なRGBソース空間です。「sRGB（PC）」は一般のWindows対応コンピュータモニタ用です。「Apple標準」は、AppleのColorSync用の標準色空間です。デフォルトソース空間を指定しない場合は、「なし」を選択します。

カラーの表現
連続調 / ビジネスグラフィック / 絶対カラーメトリック / 相対カラーメトリック［ビジネスグラフィック］

デフォルトCRD（カラーの表現）を設定します。CRDは、RGBデータをプリントエンジンで出力可能な色の範囲に納まるよう変換する際に使用します。「連続調」は 、カラー画像の全体的な調和感を維持するように相対的にカラー値を定めます。「ビジネスグラフィック」は、ビジネスプレゼンテーションなどで使用される明度および彩度の高いカラー出力用で、カラー画像を「連続調」と同様の方法で処理します。「絶対カラーメトリック」では、RGBデータを最も近いCMYKカラーで出力します。その際、モニターと紙の色の差異を考慮します。彩度の低い画像を正確に表現したいときに有効です。「相対カラーメトリック」は同様にRGBカラーを最も近いCMYKカラーで出力しますが、モニターと紙の色の差異は考慮しません。

CMYK シミュプロファイル
DIC（EFI）/SWOP-Coated（EFI）/ EuroScale（EFI）/ JMPA ver.2（EFI）/ Japan Color 2001 type1 / TOYO Offset Coated 2.0 /なし［DIC（EFI）］

MLPro9800PSでオフセット印刷の校正を行う際のデフォルトシミュレーションターゲットを指定します。たとえば、「DIC（EFI）」を選択すると CMYKカラーが DIC標準用に調整されます。デフォルトシミュレーションターゲットを指定しない場合は「なし」を選択します。
「EuroScale（EFI）」はヨーロッパで、「SWOP-Coated（EFI）」は米国で印刷標準として使用されています。「JMPA ver.2（EFI）」を選択すると、CMYKカラーが雑誌広告基準カラー用に調整されます。「Japan Color 2001 type1」を選択すると、CMYKカラーがJapan Color用に調整されます。「TOYO Offset Coated 2.0」を選択すると、CMYKカラーが東洋インキ標準色コート紙用に調整されます。
Fiery ColorWise Pro Toolsを使用して作成し、MLPro9800PSに読み込まれたカスタムシミュレーションがある場合は、この画面にオプションとして表示されます。カスタムシミュレーションは、デフォルトとして選択可能です。カスタムシミュレーションに関する詳細は『カラーガイド』を参照してください。

なるべく正確なシミュレーション結果を得るための詳細に関しては『カラーガイド』を参照してください。

CMYK シミュ方法
クイック / フル (ソース GCR)/ フル (出力 GCR) [フル (出力 GCR)]

「クイック」シミュレーションでは、1種類のトランスファー曲線が適用され、出力濃度のみが調整されます。「フル(ソースGCR)」または「フル(出力GCR)」シミュレーションでは、出力濃度に加えて色合いも調整する4 種類のトランスファー曲線が適用されるので、より正確なシミュレーションが行えます。「フル(ソースGCR)シミュレーションの場合には、CMYとKの比率が元のまま保持されます。「フル(出力GCR)」シミュレーションの場合には、KがいったんCMY版に組み込まれた後、出力プロファイルによりCMYKに分版されますので、CMYとKの比率は元のままに保持されません。ColorSyncなど、ICCプロファイルを用いた一般的なカラーマッチングとの互換性が高くなります。

RGB 色分解
出力 / シミュレーション [出力]

MLPro9800PSでのRGBデータ取り扱いを指定します。プリンタ用CMYK色空間で色分解する場合は「出力」を、オフセット印刷用CMYK色空間で色分解する場合は「シミュレーション」を選択します。

用紙定義プロファイル
オン / オフ [オン]

このオプションを「オン」に設定すると、メディアタイプに「光沢紙」を選択した場合に自動的に光沢紙に対応した出力プロファイルを選択して使用します。「オフ」に設定すると、デフォルトのプロファイルを使用します。

出力プロファイル

デフォルトの出力プロファイル、またはFiery ColorWise Pro Toolsを使用して作成しMLPro9800PSに読み込まれた出力プロファイルから選択できます。出力プロファイルに関する詳細は『カラーガイド』を参照してください。

純ブラックテキスト
オン / オフ [オン]

このオプションを「オン」に設定すると、黒のテキストやラインアートの印刷にブラックトナーのみが使用されます。「オフ」に設定すると、黒のテキストやラインアートの印刷にCMYK4色のトナーが使用されます。
ブラックトナーのみで出力した黒は、CMYK4色を混合して出力した黒よりも純度が高くなります。また、ブラックトナーのみを使用することにより、他のカラートナーを節約できます。詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

ブラックオーバープリント
テキスト / ﾃｷｽﾄ/ｸﾞﾗﾌｨｯｸ / オフ [ﾃｷｽﾄ/ｸﾞﾗﾌｨｯｸ]

このオプションを「テキスト」または「ﾃｷｽﾄ/ｸﾞﾗﾌｨｯｸ」に設定すると、カラーの背景と黒のテキストやグラフィックの間に隙間や版ずれが生じないよう、テキストまたはグラフィックを背景上にオーバープリントします。「オフ」に設定すると、黒のテキストとカラーの背景の間に隙間や版ずれが生じる場合があります。通常はこのオプションは、「テキスト」または「ﾃｷｽﾄ/ｸﾞﾗﾌｨｯｸ」に設定してください。詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

スポットカラーマッチング
オン / オフ［オン］

このオプションを「オン」に設定すると、MLPro9800PSは内蔵のカラー表を基に、出力色に最も近いスポットカラーを使用して印刷を行います。「オフ」に設定すると、MLPro9800PSは、ファイル作成元のアプリケーションで設定されたCMYK値を使用して印刷を行います。詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

CMY100％濃度
オン ／オフ［オフ］

CMYKカラーの100%を印刷する際、ハーフトーンのかからないベタな印字をするかを設定します。
このオプションを「オン」に設定すると、ハーフトーンスクリーンがかかりません。文字などをハーフトーンスクリーンをかけずに印字したい場合に有効ですが、CMYを100%ずつ混合させて混合ブラックを印刷するような場合には向きません。
1 bit TIFFファイルやソフトRIPを使用する場合など、プリンタの外でスクリーニングをしたファイルを印刷する場合、必ず「オン」に設定してください。
「オフ」に設定すると、プリンタの最適な濃度に調整され、ハーフトーンスクリーンがかかる場合があります。

変更の保存
はい / いいえ［はい］

「カラー設定」での変更を有効にするときは「はい」を選択します。変更を反映させずにメイン「設定」メニューに戻るときは「いいえ」を選択してください。

設定終了

設定変更を終了したときにメイン「設定」メニューから「設定終了」を選びます。MLPro9800PSは再起動し、設定中に保存したすべての変更が有効となります。

「設定」メニュー内の管理機能

下記の管理機能は、印刷ジョブやカラー出力を管理するためのもので、印刷に不可欠というわけではありません。

- ジョブログ設定　印刷済みジョブのログを、自動的に印刷または消去するかどうかを指定します。詳細は次ページを参照してください。
- パスワード変更　MLPro9800PSのシステム管理者用パスワードを設定できます。このパスワードにより一般ユーザによる MLPro9800PS「設定」へのアクセスを制限できます。また、Command WorkStation/Command WorkStation LEおよびFiery Spoolerの一般ユーザ使用を制限できます。パスワードの設定方法については、「パスワードの設定」(94ページ)を参照してください。
- 言語　MLPro9800PSの操作パネルに表示する言語を設定します。
- サーバの初期化　MLPro9800PSの印刷キュー、待機キュー、および印刷済みキュー内の印刷ジョブをすべて消去します。また、ジョブログ、MLPro9800PSのハードディスクにアーカイブされたすべてのジョブ、アーカイブジョブのインデックス、FreeFormマスター、FreeFormマスターのインデックスも同時に消去されます。サーバの初期化について詳細は、「サーバの初期化」(96ページ)を参照してください。
- 出荷時のデフォルト　MLPro9800PSのキュー内の印刷ジョブをすべて消去します。また、MLPro9800PS「設定」も出荷時の初期値に復帰します。出荷のデフォルトについて詳細は、「出荷時のデフォルト」(97ページ)を参照してください。

ジョブログ設定

MLPro9800PSのジョブログは、すべての処理済み・印刷済みジョブの記録です。
この記録には MLPro9800PSで処理または印刷されたすべてのジョブが含まれます。その出所がユーザのワークステーション、ネットワークサーバ、MLPro9800PSのどこであろうと同様に記録されます。
ジョブログは必要な時にいつでもMLPro9800PS、Command WorkStation/Command WorkStation LE、またはFiery Spoolerから印刷できます。また、ジョブログ情報は、Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerを使用してエクスポートできます。ジョブログのエクスポートに関する詳細は、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。
ジョブログには各ジョブの利用者名、 書類名、印刷日時、および印刷枚数などの課金情報が一覧表示されます。WindowsおよびMacOS対応のAdobe PostScriptプリンタドライバを使用して印刷すると、ジョブ注釈をジョブログに追加することもできます。詳細は『PS印刷ガイド』を参照してください。
デフォルトでは、ジョブログは自動的に印刷・消去されません。「ジョブログ設定」でデフォルト値を変更してください。ジョブログの消去は Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerからも行うことができます。
ジョブログ設定を実行するには、「設定」メニューをスクロールして「ジョブログ設定」を選びます。
以下のオプションを設定し、最後に変更を保存します。

MLPro9800PS-Eでは、電源を切ったり再起動すると、それ以前のログは保存されません。

[ ] 内はデフォルト値です。

ジョブログ自動印刷
はい / いいえ [いいえ]

55ジョブごとに MLPro9800PSでジョブログの自動印刷をするかどうかを指定します。印刷費用の経理処理を行ったり、印刷量の管理が必要な場合は「はい」を選択します。

ジョブログ自動消去
はい / いいえ [いいえ]

55ジョブごとに MLPro9800PSでジョブログの自動消去をするかどうかを指定します。このオプションを「いいえ」に設定し、Command WorkStationやFiery Spoolerからもジョブログを消去しないでいると、ジョブログの保存数は増え続けます。「55 ジョブごとにジョブログ自動印刷」オプションで「はい」を選択している場合にのみこのオプションは有効です。
ジョブログを消去するには、操作パネルの「設定」メニューで「サーバの初期化」を選択することもできます(この場合は、MLPro9800PSキュー内のジョブもすべて消去されます)。また、MLPro9800PSシステムソフトウェアをアップグレードしたりインストールし直したりする場合も、ジョブログは消去されます。

「ジョブログ自動印刷」で「いいえ」を選択した場合、「ジョブログ自動消去」で「はい」を選択してもジョブログは自動消去されません。

ジョブログページサイズ
A3 / タブロイド　A4 / レター　[A3 / タブロイド]

ジョブログ印刷時の用紙サイズを指定します。ページサイズに拘らず55ジョブが1ページに一覧表示されます。用紙サイズは「PS設定」の「デフォルト用紙サイズ」での設定が適用されます。この設定で「日本式」が選択されている場合は、ジョブログはA3またはA4サイズに印刷されます。デフォルトはA3です。

変更の保存
はい / いいえ [はい]

「ジョブログ設定」での変更を有効にする場合は「はい」を選択します。変更せずにメイン「設定」メニューに戻る場合は「いいえ」を選択します。

設定終了

設定変更を終了したときにメイン「設定」メニューから「設定終了」を選びます。
MLPro9800PSは再起動し、設定中に保存したすべての変更が有効となります。

3 リモートコンピュータからのMLPro9800PS「設定」

MLPro9800PS操作パネルで行った設定(サーバ設定、ネットワーク設定、プリンタ設定)は、Command WorkStation/Fiery WebSetupで変更することができます。
Command WorkStationソフトウェアは、TCP/IPを介してMLPro9800PSに接続されたWindowsワークステーションで稼働します。Fiery WebSetupは、Webブラウザが使用可能なWindowsワークステーションから使用可能です。

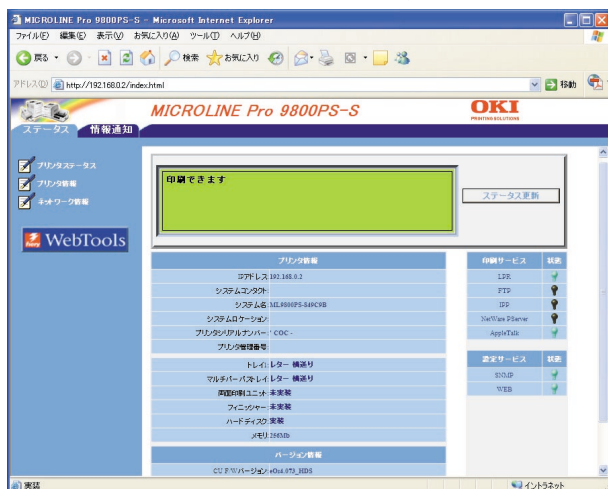
Fiery WebSetup へのアクセス 60
Command WorkStation(Windows)での設定作業 63
サーバ設定 64
ネットワーク設定 67
設定情報ページの印刷 88

Fiery WebSetupへのアクセス

Fiery WebSetupでのMLPro9800PS「設定」内容を有効にするには、設定終了後MLPro9800PSを再起動する必要があります。

Fiery WebSetup にアクセスするには：

❶ インターネットブラウザを起動し、アドレスにプリンタのIPアドレスまたはDNS名を入力します。

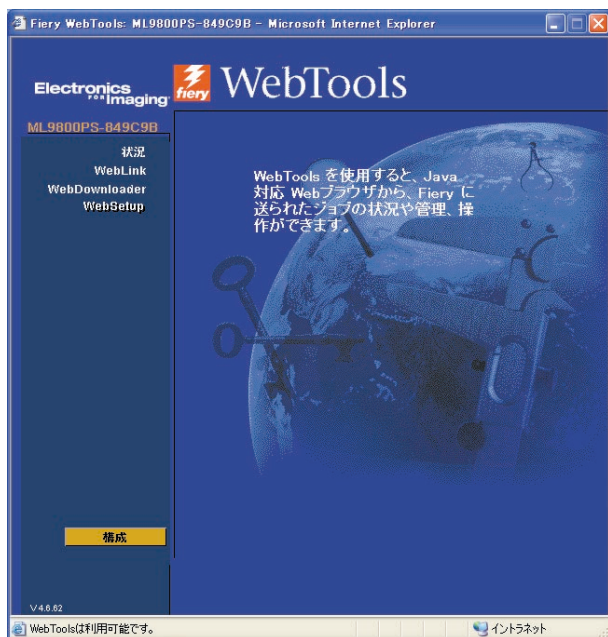
MLPro9800PS のホームページが表示されます。

❷ 画面左下の、［WebTools］をクリックします。

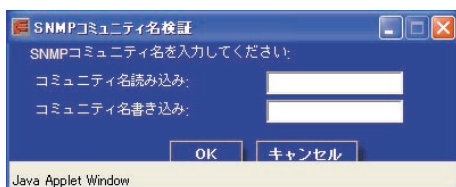
❸ Fiery WebTools のホームページが表示されます

・ログイン画面は、「システム管理者」パスワードを設定している場合にのみ表示されます。ログイン画面が表示されたら「システム管理者」としてログインし、パスワード入力後［OK］をクリックします。

・Mac OS XのSafari、Internet Explorerでは使用できません。プリンタの操作パネルで設定してください。

3

リモートコンピュータからのMLPro9800PS「設定」

❹ Fiery WebTools のホームページで［WebSetup］をクリックします。

「SNMP 設定」の「SNMP を使用する」で「いいえ」が設定されている場合、Fiery 設定画面にアクセスできません。この場合、「SNMP を使用する」を「はい」に設定する必要があります。
「SNMP コミュニティ名読み込み」または「SNMP コミュニティ名書き込み」が「public」以外に設定してある場合、次の画面が表示されてコミュニティ名の入力を促されます。正しいコミュニティ名を入力してください。SNMP コミュニティ名の設定方法については、「SNMP 設定」（41 ページ）を参照してください。

❺ ［サーバ］、［ネットワーク］、または［プリンタ］のいずれかをクリックします。

Command WorkStation(Windows)での設定作業

Command WorkStationでのMLPro9800PS「設定」内容を有効にするには、設定終了後MLPro9800PSを再起動する必要があります。

Command WorkStation の動作環境やインストールの方法については『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

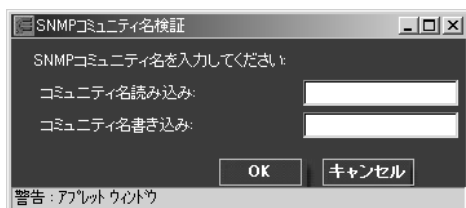
Command WorkStationで「設定」作業を行うには：

❶ Command WorkStation を起動します。

❷ ［スタート］-［プログラム］または［すべてのプログラム］-［Fiery］-［Command Work Station 4］を選択します。「システム管理者」としてログインします。

システム管理者用パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

❸ 「サーバ」メニューで［設定］を選択してください。

「SNMP 設定」の「SNMP を使用する」で「いいえ」が設定されている場合、Fiery 設定画面にアクセスできません。この場合、「SNMP を使用する」を「はい」に設定する必要があります。
「SNMP コミュニティ名読み込み」または「SNMP コミュニティ名書き込み」が「public」以外に設定してある場合、次の画面が表示されてコミュニティ名の入力を促されます。正しいコミュニティ名を入力してください。SNMP コミュニティ名の設定方法については、41 ページの「SNMP 設定」を参照してください。

❹ ［サーバ］、［ネットワーク］、または［プリンタ］のいずれかをクリックします。

各設定オプションに関しては、次項以降を参照してください。
各設定終了時には、［保存］をクリックしてください。

サーバ設定

この画面からは、「サーバ」、「パスワード」、「ジョブログ設定」、「サポート」を選択できます。選択するには、各タブをクリックしてください。

パスワード設定については、第5章を参照してください。

サーバ

「サーバ」画面では、下記の設定作業を行うことができます。

サーバ名

ネットワーク上でMLPro9800PSに名前を付けるときに設定します。
この名前はAppleTalk名、DNSのホスト名、ランデブー名、SMBのサーバ名に使用されます。

スタートページ印刷

MLPro9800PS起動時に、スタートページを印刷するか否かを指定します。スタートページにはサーバ名、印刷時の日付と時刻、プリンタモード、MLPro9800PSのメモリ量、キャリブレーション実施日、使用可能なネットワークプロトコルとプリント接続状況などの MLPro9800PS情報が表示されます。

印刷済みキューを使用する

印刷済みキューを使用する場合は、このオプションを選択してください。このオプションを選択すると、印刷されたジョブを格納するための印刷済みキューがMLPro9800PSのディスク上に作成されます。システム管理者特権やオペレータは、このキューに格納されたジョブを、MLPro9800PSに再送信せずに再印刷することができます。印刷済みキューが使用可能になっていない場合は、ジョブは印刷後すぐに消去されます。

印刷済みキューに保存するジョブ数

印刷済みキューに保存するジョブ数（1〜99）を指定します。保存するジョブ数を多く指定すると、それだけ MLPro9800PSのハードドライブの空き容量が少なくなりますので注意してください。

時間

システムの時間を入力します。24時間表示に従って、時：分の順で入力します。

日付

システムの日付を入力します。日付は年/月/日の順で入力します。

「時間」および「日付」欄で不適切な数字を入力すると（たとえば「月」の欄に「17」など）、設定を保存する時に適切な数字を入力するように促されます。

使用キャラクタセット

Command WorkStationおよび操作パネル上でのファイル名の表示に使用するキャラクタセットを「DOS」、「Macintosh」、「Windows」の中から選択します。この指定はファイル名にアクセント記号（é, ü）が付いていたり、合成文字（æ）が含まれている場合に重要です。
複数プラットフォームが混在するネットワークでは、大多数クライアントに対応するキャラクタセットを指定してください。

プレビューを使用する

ジョブ処理中に、Command WorkStationの「アクティビティ」モニタの処理状況欄にプレビューを表示するかどうかを指定します。

印刷グループを使用する

このオプションを選択すると、特定の部門以外からのMLPro9800PSへの印刷を制限することができます。グループ名およびパスワードはCommand WorkStationで設定できます。設定方法の詳細については、「印刷グループ」（83ページ）を参照してください。
MLPro9800PSにフォントをダウンロードする場合には、このオプションを使用不可に設定してください。
プリントジョブアカウンティングを使用している場合には、このオプションを使用に設定してください。

サポート

「サポート」オプションは、画面では表示されますが本製品では対応しておりません。このためここでは設定方法を記載していません。

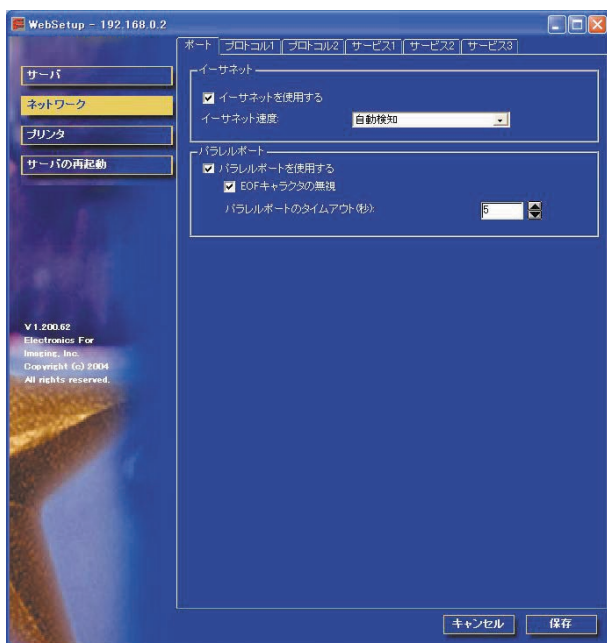
ネットワーク設定

「ネットワーク」設定では、ネットワーク経由でMLPro9800PSに印刷ジョブを転送できるようにMLPro9800PSを構築します。
2種類以上のプロトコルが使用できるようMLPro9800PSが設定されている場合は、MLPro9800PSは印刷ジョブ受取り時点で該当するプロトコルを自動的に識別します。パラレルポートと ネットワークポートが同時に使用可能になっている場合、どのポートも他のポートに影響されることなく印刷ジョブを受信できます。
「ネットワーク」設定からは次のオプションが設定できます。

- ポート ー イーサネットおよびパラレルポートを使用可能/使用不可に設定します。また、それぞれに関連したオプションを設定できます。
- プロトコル ー「プロトコル1」タブではTCP/IPプロトコルを、「プロトコル2」タブではAppleTalk、IPX/SPXプロトコルを設定できます。また、DNS設定も「プロトコル2」タブから実行できます。
- サービス ー「サービス1」タブからはNetWare印刷サービス、「サービス2」タブからはWindows(SMB)印刷、LPD 印刷、ポート9100、FTPサービス、HTTPサポート(Webサービス)、IPP印刷をそれぞれ設定できます。「サービス3」タブからはEメール印刷サービスを設定できます。

ポート

「ポート」設定を行うには:

- 「ネットワーク」画面で、[ポート]タブをクリックします。

「ポート」設定では、下記の設定作業を行うことができます。

イーサネット

イーサネットを使用する

MLPro9800PSをイーサネットに接続する場合は、このオプションを選択してください。

イーサネット速度

ネットワーク上のコンピュータと MLPro9800PS間のイーサネット通信速度を指定します。ネットワークに100 Mbpsと10 Mbpsが混在している場合またはネットワーク速度がわからない場合は「自動検知」を指定します。自動検知が正しく行われなかった場合またはネットワーク速度がわかっている場合は、100BASE-TXには「100 Mbps」を、10BASE-Tには「10 Mbps」を選びます。デフォルトは、「自動検知」です。

パラレルポート設定

パラレルポートを使用する

パラレルポートを介して印刷する場合に選択します。IBM PC/AT互換機を1台のみMLPro9800PSパラレルポートに接続して、直接 MLPro9800PSに印刷できます。

パラレルポートを使用可能にしても、 MLPro9800PSとのイーサネット通信に支障はありません。

EOF キャラクタの無視

このオプションを選択すると、ファイルの end-of-file(EOF)が無効になります。PostScriptファイルをバイナリ(ASCIIではない)で印刷したい場合は、必ずこのオプションを選択する必要がありますが、それ以外の通常の使用には選択しないでください。このオプションを選択してあると、MLPro9800PSはEOF を判断するのにポートのタイムアウト値を使用します。

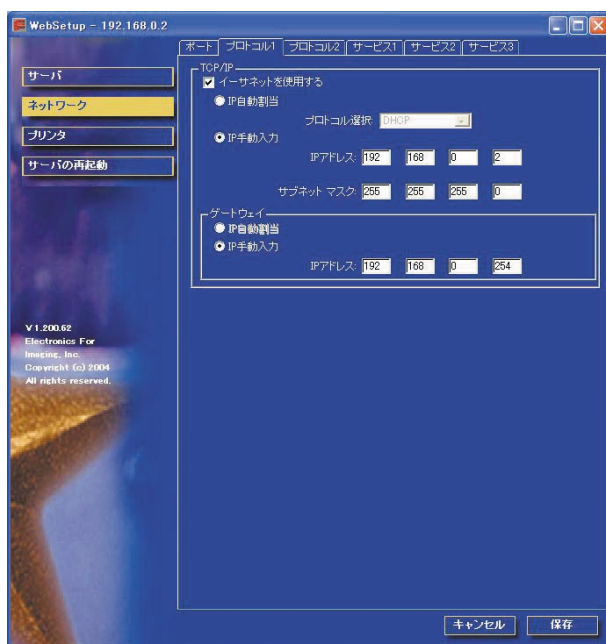
パラレルポートのタイムアウト(秒)

パラレルポートを使用する場合、ジョブのデータが一定時間以内に MLPro9800PSに送られてこなければ、そのジョブの MLPro9800PSへの送付が終了したとみなすことがあります。ジョブの送付終了を判断するこの時間間隔(タイムアウト)をこのオプションで指定します。タイムアウトまでは、MLPro9800PSはパラレルポートからの新規のジョブは受け付けられませんが、ネットワーク経由の印刷ジョブは引き続き受け付けます。デフォルトは、「5」秒です。

プロトコル

「プロトコル」設定を行うには：

- 「ネットワーク」画面で、「プロトコル1」および「プロトコル2」タブをクリックします。TCP/IP（イーサネット）、AppleTalk、および IPX/SPX 通信は同時に使用可能です。MLPro9800PSを各プロトコル用に構築するには、使用するプロトコルを選択し各プロトコルごとに設定を行ってください。ネットワークでゲートウェイが使用されている場合は、ゲートウェイアドレスを入力してください。

TCP/IP

イーサネットを使用する

MLPro9800PSにイーサネットケーブルを接続する場合は、このオプションを選択します。
イーサネット上でFiery WebToolsを使用するには、このオプションを選択する必要があります。また、このオプションを選択することによって、クライアントコンピュータからTCP/IPプロトコルを介してのFieryユーティリティ使用が可能になります。

IP 自動割当

イーサネット用IPアドレスをMLPro9800PSに自動的に割り当てる場合選択します。
自動取得した IPアドレスは、後で自動的に変更される場合があります。 IPアドレスを一定に保持したい場合は、「IP手動入力」を選択し、「IPアドレス」にアドレスを入力してください。

プロトコル選択

MLPro9800PSがIPアドレスを取得する際に使用するプロトコルを指定します。DHCPおよびBOOTPを選択した場合、MLPro9800PSはIPアドレスと同時にサブネットマスク、および、ゲートウェイアドレスも取得できます。
DHCPを選択すると、MLPro9800PSを再起動をしなくてもIPアドレスが変更される場合があります。

IP 手動入力

MLPro9800PSのイーサネット用IPアドレスを一定に保持したい場合、このオプションを選択します。次の「IPアドレス」、「サブネットマスク」の入力が必要です。

IP アドレス

MLPro9800PSのイーサネット用 IPアドレスを入力します。TCP/IPで印刷を行う場合は、 MLPro9800PSに割り当てられた IPアドレスをまず付与する必要があります。TCP/IPで印刷する場合の設定については第2章を参照してください。

サブネットマスク

サブネットマスクを設定する必要がある場合は、下記の数値のいずれかを入力してください。

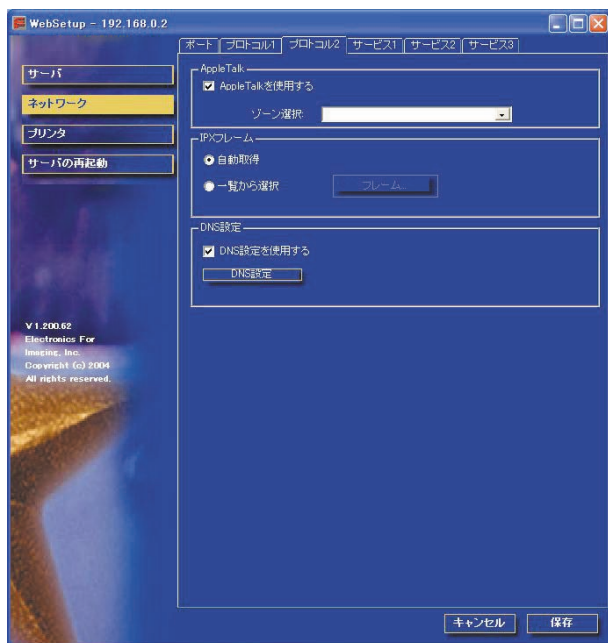
- 255.0.0.0　　IPアドレスが128より小さな数字で始まるとき
- 255.255.0.0　　IPアドレスが128から191の間で始まるとき
- 255.255.255.0　　IPアドレスが191より大きい数字で始まるとき

サブネットマスクの設定に関しては、ネットワーク管理者に前もって確認してください。上記とは異なる数値の入力を必要とする場合があります。

ゲートウェイ

TCP/IPのネットワークにゲートウェイがあり、ゲートウェイ外のユーザがTCP/IPを使用してMLPro9800PSで印刷する場合、ゲートウェイアドレスを入力する必要があります。手動入力する場合は、ネットワーク管理者から正しいゲートウェイアドレスを入手してください。

使用しているネットワークにゲートウェイが存在しない場合には、「127.0.0.1」を入力してください。

AppleTalk

AppleTalk を使用する

MLPro9800PSをAppleTalkネットワークに接続する場合に、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、AppleTalkネットワーク上でMLPro9800PSが使用可能になります。

ゾーン選択

MLPro9800PSはネットワークをサーチして AppleTalk ゾーン情報を得ます。ゾーンの一覧をスクロールしてMLPro9800PSが所属するAppleTalkゾーンを選択してください。ゾーンが1つしかない場合は、MLPro9800PSはそのゾーンに割り当てられます。

IPXフレーム

自動取得

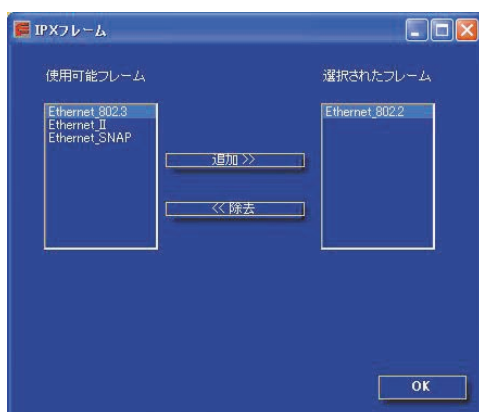
このオプションを選択すると、最初に検出されたフレームタイプが使用可能になります。特定のフレームタイプを使用したい場合には、「一覧から選択」から選択してください。
「IPX/SPXフレーム」設定が有効になっている場合、同じネットワーク上にダイヤルアップルータの接続があると、定期的に電話回線の接続が発生することがあります。ダイヤルアップルータが接続された時点で通信料、利用料金が課金されます。課金が発生しないようにするには、IPX/SPXプロトコルを使用しないダイヤルアップルータを利用するか、「IPX/SPXフレーム設定」でIPX/SPXプロトコルの設定を無効に設定変更してください。

一覧から選択

Novellを使用するための、IPXフレームを選択してください。フレームタイプ選択に関しては、ネットワーク管理者に確認してください。

「フレーム」をクリックすると、下記の画面が表示されますので、該当するフレームタイプを指定してください。

3

リモートコンピュータからのMLPro9800PS「設定」

DNS 設定

DNS設定ではMLPro9800PSとネットワーク内のDNSサーバの接続/設定を変更できます。DNSサーバの設定により、FieryユーティリティやFiery WebToolsを使用してリモートワークステーションからMLPro9800PSに接続する際に、IPアドレスを使用しなくてもDNS名を使用して接続ができるようになります。

Command WorkStation/Fiery WebSetupからDNS設定を実行するには、「プロトコル2」タブをクリックし「DNS設定を使用する」チェックボックスを選択してください。「DNS設定」ボタンをクリックすると次の「DNS設定」画面が表示されます。

DNS アドレスを自動取得

このオプションを選択すると、MLPro9800PSが自動的にDNSサーバのIPアドレスを取得します。選択しない場合、次の「プライマリDNSサーバアドレス」および「セカンダリDNSサーバアドレス」で、使用するDNSサーバのアドレスを手動で入力します。

DNS を使用する

このオプションは設定できません。常に「イーサネット」が表示されます。

プライマリ DNS サーバ

MLPro9800PSの名前解決に使用するプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力できます。

セカンダリ DNS サーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバを使用しない場合は、「127.0.0.1」を入力してください。

ドメイン名

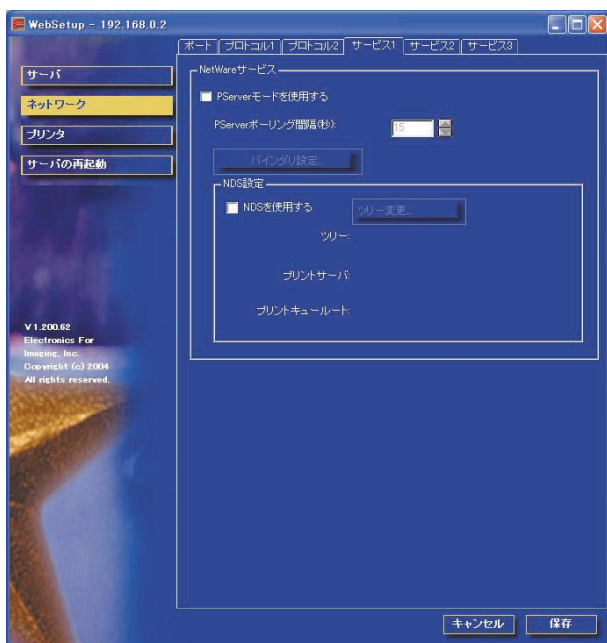
DNSドメイン名を入力します。

ホスト名

MLPro9800PSのDNSホスト名を入力します。デフォルトでは、ホスト名はMLPro9800PSのサーバ名に設定されています。

NetWareサービス

「NetWareサービス」設定を行うには：

- 「ネットワーク」画面で、「サービス1」タブをクリックします。

NetWareのバインダリ設定およびNDS設定は、Command WorkStationからも可能です。 ネットワークが NetWare 6ネイティブモード使用の場合は「NDSを使用する」を、NetWare 6以降バインダリエミュレーションモード使用の場合は、「バインダリ設定」を選択します。
ネットワークが NDS とバインダリの両方を使用している場合は、「NDS設定」を最初に行ってください。「バインダリ設定」後に「NDS設定」を行うと、「バインダリ設定」が上書きされてしまいます。

ネットワークがNDSとバインダリの両方を使用し、バインダリエミュレーションモードのNetWare 6サーバを使用し、かつ同一NDSツリー上にNDSとバインダリエミュレーションサーバがある場合、MLPro9800PSはNDSまたはバインダリエミュレーションサーバのいずれかしか取り扱うことができません。

NetWareサービス

MLPro9800PSがNovellサーバに接続されている場合は、「PServerモードを使用する」を選択してください。「PServerポーリング間隔（秒）」は、変更可能です。この2項目を設定後、「バインダリ設定」および「NDS設定」を行ってください。

PServer モードを使用する

MLPro9800PSがNovellネットワークに接続されている場合に、このオプションを選択します。

PServer サーバポーリング間隔（秒）

MLPro9800PSが印刷待ちジョブの有無を確認するために、Novellサーバと交信するときのポーリング間隔を秒単位で指定します。デフォルトは、「15」秒です。

ポーリング間隔を短く設定すると、ネットワークの通信負荷が増えます。このためネットワーク上の他のジョブのスピードが落ちるおそれがあります。

NDS設定

NDS設定を行う前に、MLPro9800PSがネットワークに接続され、NDSディレクトリツリーにMLPro9800PSジョブ用のプリンタオブジェクト、プリントサーバオブジェクト、および1つ以上のプリントキューオブジェクトが構築済みであることを確認してください。Command WorkStationからも、操作パネルからと同様のNDS設定作業を行うことができます。NDS設定を行うには、NDSツリーを参照する許可が必要です。プリントサーバへのアクセスが制限されている場合は、ログイン用パスワードが必要になります。

NDS を使用する

NDSを使用する場合はこのオプションを選択します。 NDSを使用しない場合は、選択を解除してください。

ツリー変更 ...

このオプションをクリックすると、「NDS設定」画面が表示されます。このオプションは「NDSを使用する」を選択すると表示されます。

NDS 設定

NDSツリーは、1度に1個のみ選択可能です。

❶ 「選択されたツリー」欄に現行のNDSツリーが表示されている場合は、そのツリーを選択し［除去］をクリックします。

新規NDSツリーを選択するとバインダリ設定が削除されますという警告が表示されます。NDS設定を続行する場合は、［はい］を選択します。
バインダリ設定は、NDS 設定後やり直すことができます。

❷ 新規NDSツリーを選択し［追加］をクリックします。

「ログインユーザ選択」画面が表示されます。
前回選択されていたツリーは新しいツリーに置き換えられます。「NDS設定」を終了するには、「キャンセル」を選択します。

ログインユーザ選択

❶ 「ログインユーザ選択」画面で、ユーザログインオブジェクトを選択します。

❷ パスワードが必要な場合は、パスワードを入力します。

❸ ［次へ］をクリックします。

「プリントサーバ選択」画面が表示されます。

プリントサーバ選択

❶ 「プリントサーバ選択」画面で、プリントサーバを選択します。

❷ パスワードが必要な場合は、パスワードを入力します。

❸ ［次へ］をクリックします。

「プリントキュールート選択」画面が表示されます。

プリントキューールート選択

❶ 「プリントキューールート選択」画面で、プリントキューールートを選択します。

❷ パスワードが必要な場合は、パスワードを入力します。

❸ ［終了］をクリックします。

「NDS 設定：NDS ツリー追加」画面に戻ります。「NDS 設定」には、新規設定が表示されます。

❹ ［OK］をクリックします。

「PServer 設定」に戻ります。

バインダリ設定

バインダリサーバ(バインダリエミュレーションモードのNetWare 6が稼働するファイルサーバ)が1つ以上構築されている場合は、「バインダリ設定」を行ってください。バインダリ設定を行う前に、MLPro9800PSがネットワークに接続されていることと、 Novellサーバは稼働中であることを確認してください。バインダリ設定には、ログイン名が必要です。ファイルサーバへのアクセスが限定されている場合は、ログイン用パスワードも必要です。
MLPro9800PS印刷ジョブを処理するNovellサーバは、複数設定できます。下記のオプションで、Novellサーバの追加接続、解除、接続サーバ表示などを行うことができます。

Novell 設定

「バインダリ設定...」をクリックします。「Novell設定」画面が表示されます。サーバを追加する場合、次の手順に従ってください。

❶ 追加したいサーバをクリックします。

❷ ［追加］をクリックします。

❸ 「サーバ追加」画面でユーザ名とパスワードを入力します。

❹ ［次へ］をクリックします。

「サーバ追加」画面に、追加可能なプリントサーバ一覧が表示されます。

❺ 一覧からプリントサーバを選択して、パスワードを入力します。

❻ ［終了］をクリックします。

新しい設定を表示した「Novell 設定：接続追加」画面に戻ります。
複数ファイルサーバ（MLPro9800PS 印刷用に構築した）を接続するには、手順「1」から作業を繰り返してください。

❼ ［OK］をクリックします。

「PServer 設定」に戻ります。

サービス設定

サービス設定を行うには：

- 「ネットワーク」画面で、「サービス2」タブをクリックします。

「サービス2」では、下記の作業を行うことができます。

- 「Windows印刷サービス」では、MicrosoftのSMB（Server Message Block）プロトコルを使用可能にできます。SMBプロトコルは、ピアツーピア印刷（Windows印刷またはSMB印刷）をサポートします。
- 「LPD印刷サービスを使用する」では、TCP/IPネットワーク用にlpd印刷を使用可能にできます。
- 「ポート9100を使用する」では、Windows2000/XP/Server2003からMLPro9800PSのポート 9100経由でプリントジョブを送信できるようになります。
- 「FTPサービスを使用する」では、FTPでMLPro9800PSにデータを送信することが可能になります。
- 「Webサービスを使用する」で httpプロトコルを使用可能にします。これにより、Fiery WebToolsが使用可能になります。
- 「IPPを使用可能にする」では、Windows98/MeおよびWindows2000/XP/Server2003からのIPP印刷を使用可能にできます。

Windows印刷サービス

「Windows印刷サービス」設定では、データ入力に次の文字が使用可能です。

- 英大文字、数字、ハイフン(-)、下線(_)、ピリオド(.)、スペース、˜ ! @ # $ % ^ & ( ) { } ¥ ',"

Windows 印刷サービスを使用する

このオプションを選択すると、SMBが使用可能になります。SMBは、Windows対応コンピュータ上でファイルやプリンタを共有可能にするWindows内蔵プロトコルです。SMBを使用すると、Windows対応コンピュータ上で MLPro9800PSをジョブの送信先として表示することが可能となり、他のソフトウェアを使用することなしにWindows対応コンピュータからMLPro9800PSのプリント接続(印刷キュー、待機キュー、直接接続)に印刷ジョブを送信できます。

SMB印刷はTCP/IPを介して行われるので、SMB印刷に使用するすべてのワークステーション並びにMLPro9800PS上でTCP/IPを構築してください。

サーバ名

「サーバ名」は、ネットワーク上でMLPro9800PS名として表示される名前です。

コメント

ここには、プリンタに関する情報などを入力できます。最大で半角15文字まで入力できます。入力したコメントは、MLPro9800PSのプロパティに表示されます。

ドメインワークグループ

MLPro9800PSのワークグループまたはドメイン名を入力します。

Auto IP

ネームサーバのIPアドレスを自動取得する場合はこのオプションを選択します。選択しない場合は、「IPアドレス」にWINSネームサーバが使用するIPアドレスを入力します。

WINS サーバ使用

WINSネームサーバを固定のIPアドレスで使用する場合は、このオプションを選択します。SMBネットワーク上でブロードキャストを行うには、WINSネームサーバが必要です。本書には、WINSネームサーバ設定に関する説明はありません。ネットワーク上でのネームサーバ構築状況に関しては、ネットワーク管理者に連絡してください。

サービスを使用する（LPD・ポート9100・Webサービス・IPP設定）

LPD 印刷サービスを使用する

OKI LPRユーティリティからの印刷やlpd印刷を行う場合は、このオプションを選択してください。

ポート 9100 を使用する

Windows2000/XP/Server2003で標準TCP/IPを使用して印刷する場合、ストレージデバイスマネージャ、プリントジョブアカウンティングをネットワークで使用する場合、このオプションを有効にします。

ポート 9100 キュー

ポート9100を使用する場合のFiery接続を指定します。プリンタ設定で有効にしたキューのみが使用できます。
ストレージデバイスマネージャ、プリントジョブアカウンティングをネットワークで使用する場合、直接接続を選択します。

FTP サービスを使用する

FTPサービスを使用可能にすると、MLPro9800PSにFTPでデータを送信することができるようになります。

Web サービスを使用する

TCP/IPがMLPro9800PSおよびユーザワークステーションで使用可能で、ユーザに Fiery WebToolsを開放したい場合は、このオプションを選択します。Fiery WebToolsは状況、WebLink、Web Downloader、Web Setupの機能を提供します。これらの機能を使用するには、ユーザワークステーション側ではJava対応Webブラウザと IPアドレスが必要です。

IPP を使用可能にする

IPP（Internet Printing Protocol）印刷を使用する場合にこのオプションを有効にします。このオプションは、「Webサービスを使用する」オプションが有効な場合にのみ設定できます。

IPP印刷は、Windows98/MeおよびWindows2000/XP/Server2003から使用できます。

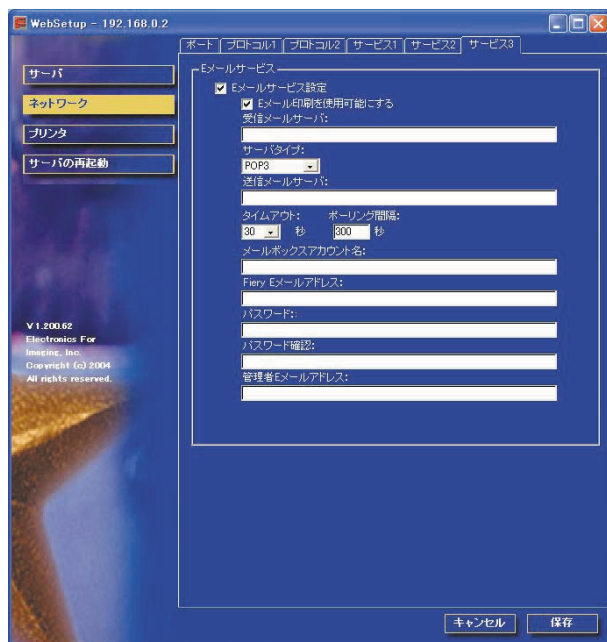
3

リモートコンピュータからのMLPro9800PS「設定」

Eメールサービス設定

Eメール機能を使用可能にすると、Eメールで送信したジョブをMLPro9800PSで印刷できるようになります。MLPro9800PS-Eでは、オプションのハードディスクが必要です。

Eメールサービス設定を行うには：

- 「ネットワーク」画面で、「サービス3」タブをクリックします。

Eメールサービス設定

このオプションを選択すると、MLPro9800PSが提供するEメールサービスが使用可能になります。同時に、「ページの印刷」機能メニューから「Eメールログ」を印刷して、サービスの使用状況も確認することができます。

Eメール印刷を使用可能にする

このオプションを選択すると、MLPro9800PSが提供するEメールサービスが使用可能になります。

受信メールサーバ

使用しているネットワーク内の、インターネットメール受信サーバのIPアドレスを入力します。

サーバタイプ

受信メールサーバのタイプを入力します。POP3またはIMAPから選択できます。

送信メールサーバ

使用しているネットワーク内の、インターネットメール送信サーバのIPアドレスを入力します。

受信サーバおよび送信サーバオプションは、かならず両方共指定してください。指定しなかった場合、MLPro9800PSはメールの送受信に同一サーバを使用するものと見なして動作します。

タイムアウト

MLPro9800PSがEメールサーバと接続する際のタイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。

ポーリング間隔（秒）

MLPro9800PSが自動的にEメールサーバに新規メッセージを取得に行くまでの間隔を秒単位で指定できます。

メールボックスアカウント名

メールサーバで指定されているメールボックスアカウント名を、半角14文字以内で入力します。この名前により、クライアントメールサービスはメール中どれがMLPro9800PSのEメールサービス宛のEメールであるかを判断します。

ここで指定するアカウント名は、管理者によってメールサーバに指定したものでなければなりません。

Fiery E メールアドレス

MLPro9800PSが使用するメールアドレスを入力します。メールサービスを使用するユーザおよび管理者は、ここで指定するアドレスにメールを送信します。

パスワード

Eメールアカウントのパスワードを、半角16文字以内で入力します。

パスワード確認

確認のため、パスワードを再入力してください。

管理者 E メールアドレス

MLPro9800PS設定で入力したユーザ名を入力します。最大で、半角39文字まで入力できます。
管理者は、特定のEメールアドレスに対してMLPro9800PS Eメールサービスを Eメールを使用してリモートから管理する権限を与えることができます。管理者はそのEメール アドレスから、管理者権限を持ったEメールアドレスを追加できます。

プリンタ設定

この画面からは、「プリンタ」と「用紙設定」を選択できます。

「プリンタ」設定を行うには:

- 「プリンタ」タブをクリックします。

直接接続開放

このオプションを選択すると、一般ユーザがMLPro9800PSのキューを迂回して直接MLPro9800PSへジョブを印刷(またはダウンロード)できるようになります。また、直接接続の開放により、一般ユーザがMLPro9800PSへプリンタフォントを ダウンロードまたはMLPro9800PSから削除できるようになります。直接接続で印刷されたジョブは印刷済みキューには格納されません。

MLPro9800PSシステムにフォントをダウンロードする場合、ストレージデバイスマネージャ, プリントジョブアカウンティング, MicrolinePS Utilityを使用する場合には、このオプションを選択しておく必要があります。

待機キュー開放

待機キューを開放すると、ユーザはMLPro9800PSの待機キューにジョブを送信(またはダウンロード)できるようになります。待機キュー内のジョブを印刷するには、Command WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery Spoolerで、ジョブを待機キューから印刷キューに移動・コピーする必要があります。
Fieryユーティリティを使用するには、待機キューを開放する必要があります。

印刷キュー開放

このオプションを選択すると、一般ユーザがMLPro9800PSの印刷キューを使用してジョブを印刷できるようになります。印刷キューに送られたジョブは MLPro9800PSのハードディスク上に格納されます。「Webサービスを使用する」を選択した場合は、印刷キューを使用可能にする必要があります。

MLPro9800PS-Eでは、オプションの内蔵ハードディスクが必要です。

パラレル接続

パラレルポートから受信したジョブの行き先を指定します。このオプションは、「ポート設定」で、パラレルポートが有効になっている場合にだけ表示されます。

MLPro9800PS-Eでは、オプションの内蔵ハードディスクが必要です。

PS設定

「PS設定」を行うには:

- 「PS設定」タブをクリックします。

用紙変更

用紙サイズをデフォルト用紙サイズに自動的に変更するかどうかを指定します。たとえば、「A4/A3 -> レター/ 11×17」を選択した場合、A4の書類はレターサイズの用紙に自動的に印刷されます。「いいえ」を選択すると、指定したサイズの用紙がセットされている場合にのみ印刷が行われます。

スタートページ、ジョブログページ、テストページおよびインターネットファクスで受信したEメールと画像が印刷される場合にも、このオプションで指定した用紙サイズが適用されます。

デフォルト用紙サイズ

デフォルト用紙サイズを日本式(例:A4、B4、A3)にするか、アメリカ式(例:レター、リーガル、タブロイド)にするかを指定します。PostScriptファイルで用紙サイズが指定されていないと、「日本式」が選択されている場合にはA4サイズが、「アメリカ式」の場合にはレターサイズが適用されます。デフォルトは、「日本式」です。

マスター印刷

FreeFormでのマスター作成時、マスターを自動印刷するかを指定します。「はい」を選択すると、FreeFormでのマスター作成時にマスターは自動的に印刷処理され、待機キューに保持された後、参照用に印刷されます。「いいえ」を選択すると、マスターは待機キューに保持されますが、印刷はされません。

カバーページを印刷

各ジョブの印刷終了時にカバーページ(ジョブの概要)を印刷するかどうかを指定します。「はい」を選択すると、各印刷ジョブに続いて1枚の追加ページが印刷され、ジョブを送った利用者名、書類名、MLPro9800PS名、ジョブの印刷日時、ページ数、印刷結果、用紙サイズが印字されます。PostScriptエラーが発生した場合は、「PSエラー発生まで印刷」オプションが「はい」に設定されていれば「結果」欄にエラーメッセージが表示されます。

PS エラー発生まで印刷

ジョブ処理中にPostScriptエラーが発生した場合に、エラー発生時点で処理済みの画像と、エラー内容を印刷するかを指定します。

中ゴシック BBB に置換 / 平成角ゴシックに置換

使用可能でないフォントを、「中ゴシックBBB」もしくは「平成角ゴシック」フォントで代替して印刷するかを指定します。
アプリケーションによっては「いいえ」を選択すると、MLPro9800PSハードディスクまたはジョブを送ったワークステーション上では使用できないフォントが含まれているジョブはPostScriptエラーとなり、印刷されません。

PDFファイルを印刷する場合、フォントの代替は自動的に行われます。

自動拡大縮小

印刷したいジョブのサイズが用紙サイズと異なる場合、このオプションを選択することで用紙サイズに合わせてジョブのサイズを自動的に合わせて変更できるようになります。

サーバの再起動

Command WorkStationで設定を変更した後は、変更を有効にするためMLPro9800PSを再起動する必要があります。Command WorkStationのメインメニューで「サーバの再起動」をクリックすると、再起動確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

印刷グループ

印刷グループ機能を使用すると、MLPro9800PSへの印刷を特定の部門からのみに制限できます。ここではシステム管理者がCommand WorkStationを使用して印刷グループを作成する方法を説明します。ワークステーションからパスワードを入力して印刷する方法については『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

- 印刷グループ機能を有効にするには、MLPro9800PS「設定」の「サーバ設定」で「グループプリント使用」を「はい」に設定する必要があります。
- MLPro9800PSにフォントをダウンロードする場合には、「グループプリント使用」で「いいえ」を選択してください。
- プリンタドライバで入力した「グループ名」および「グループ暗証番号」は、Command WorkStationからのみ変更できます。Fiery Spoolerからは変更できません。

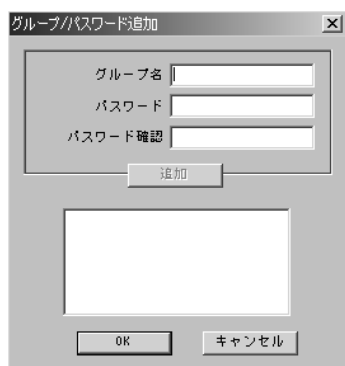
印刷グループを設定するには：

❶ Command WorkStation を起動し、「システム管理者」または「オペレータ」としてログインします。

システム管理者用パスワードまたはオペレータ用パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

❷「サーバ」メニューから［印刷グループ］を選択します。

❸「印刷グループ設定」画面が現れたら、［作成］をクリックします。

❹「グループ / パスワード追加」画面に必要な情報を入力します。

グループ名

MLPro9800PSを使用するグループの名前を入力します。この名前には次の7文字および全角文字は使用できません。

[　]　_　"　'　<スペース>　<Tab>

グループ名では、大文字と小文字を区別して入力してください。例えば、「Sales」と、「sales」はMLPro9800PSでは別のグループとして扱われます。

パスワード

MLPro9800PSへの印刷時に使用するグループパスワードを入力します。「パスワード」には英字と数字のどのような組み合わせでも使用できます。

パスワード確認

「パスワード」に入力したと同じパスワードを入力します。

❺ 必要な情報をすべて入力後、[追加] をクリックします。

作成したグループ名が表示されます。

❻ [OK] をクリックします。

❼ 「サーバ」メニューから [再起動] を選択しMLPro9800PSを再起動します。

これで印刷グループ用パスワードが設定されました。ワークステーションでパスワードを入力して印刷する方法については、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

印刷グループパスワードを変更するには：

❶ Command WorkStation を起動し、「システム管理者」または「オペレータ」としてログインします。

システム管理者用パスワードまたはオペレータ用パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

❷ 「サーバ」メニューから［印刷グループ］を選択します。

❸ 「印刷グループ設定」画面で、設定を変更したい印刷グループを選択し、［変更］をクリックします。

❹ 「グループ/パスワード変更」画面の［パスワード］に新パスワードを入力し、［パスワード確認］に同じパスワードを入力します。

❺ ［OK］をクリックします。

印刷グループパスワードを除去するには：

❶ Command WorkStation を起動し、「システム管理者」または「オペレータ」としてログインします。

システム管理者用パスワードまたはオペレータ用パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

❷ 「サーバ」メニューから［印刷グループ］を選択します。

❸ 「印刷グループ設定」画面で、除去したい印刷グループを選択し、［除去］をクリックします。

❹ 「サーバ」メニューから［再起動］を選択し MLPro9800PS を再起動します。

設定情報ページの印刷

設定情報ページには、操作パネルやCommand WorkStationで行った現状の設定内容が印刷されます。MLPro9800PSの設定作業を行った後は、設定情報ページを印刷して、設定内容を確認してください。設定情報ページは、操作パネル からも印刷できます。(5章参照)
MLPro9800PS「設定」が終了し「設定終了」を選択すると、MLPro9800PSが再起動します。これにより、MLPro9800PSは新しい設定を認識し「設定情報ページ」に反映されます。「設定情報ページ」はMLPro9800PSが再起動し「使用可能」状態になった後に印刷してください。「ネットワーク」設定で「IPアドレス自動取得」を選択した場合には必ず再起動が必要です。
設定情報ページには、プリンタのデフォルト設定などユーザの参考となる情報が印刷されますので、ユーザの目につきやすい場所に掲載しておくと便利です。
操作パネルおよびCommand WorkStationからは、設定情報ページの他にテストページ、ジョブログ、カラー表、フォント一覧、デモページおよびEメールログが印刷可能です。これらのページに関する詳細は、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

設定情報ページを印刷するには：

❶ Command WorkStation を起動し、「サーバ」メニューから［ページの印刷］を選択します。

❷ ［ページ選択］から［設定情報ページ］を選択して［印刷］をクリックします。

設定情報ページには､プリンタのデフォルト設定などユーザの参考になる情報が印刷されますので､目につきやすい場所に掲載しておくと便利です

4 Fiery WebTools設定

Fiery WebToolsを使用すると、インターネットまたは社内イントラネットを介して、MLPro9800PSの各種機能へのアクセスやリモート管理が可能となります。

Fiery WebToolsを設定する 90

Fiery WebToolsを設定する

Fiery WebTools設定を行うには:

❶ ［ネットワーク設定］で TCP/IP を使用可能にします。

❷ MLPro9800PS用の有効なIPアドレスを入力し、サブネットマスクを入力します。必要な場合は、ゲートウェイアドレスを入力します。

❸ Web サービスを使用可能にします。

ワークステーションでFiery WebTools設定を行うには:

❶ TCP/IP ネットワークを使用可能にします。

❷ ワークステーション用の有効IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス（必要な場合）があることを確認してください。

❸ Java対応のインターネットブラウザがインストールされ、Javaが有効になっていることを確認してください。

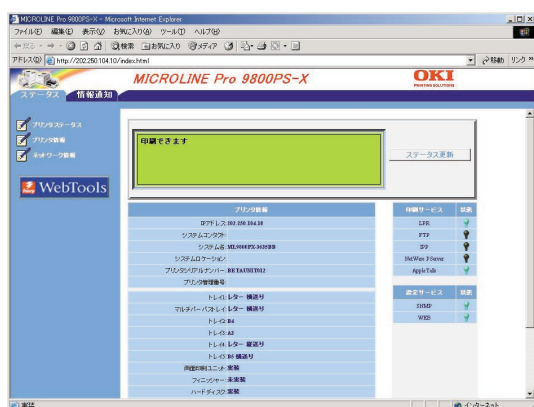
Mac/Windows の Netscape および Mac OS X の Safari/Internet Explorer では Web Page からリンクされる WebTools は使用できません。

ワークステーションから Fiery WebToolsにアクセスするには:

❶ インターネットブラウザを起動し、アドレスにMLPro9800PS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します。

MLPro9800PS のホームページが表示されます。

❷ 画面左下の、［WebTools］をクリックします。

4

Fiery WebTools設定

❸ Fiery WebTools のホームページが表示されます。

ログイン画面は、「システム管理者」または「オペレータ」のパスワードを設定している場合にのみ表示されます。

ログイン画面が表示されたら、パスワード入力後［OK］をクリックします。

WebSetup 以外のツールを使用する場合には、「ゲスト」としてログインします。パスワードは必要ありません。

❹ ［構成］をクリックすると、各Fiery WebToolsを一般ユーザ（オペレータ）対象に使用可能にするかどうか設定できます。

5 MLPro9800PSの管理

本章ではMLPro9800PS印刷の管理とトラブルシューティングに関して説明します。

MLPro9800PS の管理機能 94
パスワードの設定 96
サーバの初期化 98
出荷時のデフォルト 99
E メールサービスアドレス帳の管理 100
設定情報ページの印刷 102
フォントのバックアップと復帰方法 103
MLPro9800PS の最適性能の維持 105
MLPro9800PS サーバの再起動 106
MLPro9800PS システムの再起動 107

MLPro9800PSの管理機能

MLPro9800PSの管理機能にはプリンタソフトウェア/ユーティリティCD-ROMに含まれているものと、MLPro9800PSに組み込まれているものとがあります。これらの機能に関する記述箇所を以下に記載します。Fiery WebToolsを使用すると、インターネットまたは社内イントラネットを介して、MLPro9800PSの各種機能へのアクセスやリモート管理が可能となります。

作業	作業内容	参照先
MLPro9800PSの接続と設定	MLPro9800PS接続と操作パネルおよびCommand WorkStationでのMLPro9800PS「設定」	本書
	Fiery WebToolsを一般ユーザが使用できるようにするためのMLPro9800PS設定	本書 『ジョブ管理ガイド』
印刷環境の設定	プリンタモード、カラーモード、用紙サイズ、エラー処理方法などプリンタデフォルト設定およびオプションの設定	『プリンタ機能編』 『カラーガイド』 『PS印刷ガイド』

作業	作業内容	参照先
ジョブ環境の設定	直接接続、印刷キュー、待機キューを多様なプラットフォーム上のユーザに開放	「プリンタ設定」(45ページ)
印刷ジョブやMLPro9800PS設定のセキュリティ管理	システム管理者用パスワードの設定	「パスワードの設定」(96ページ)
新規ユーザ用設定	PostScriptプリンタドライバのインストールやMLPro9800PS用プリンタ記述ファイルのインストールなどの印刷設定 プリンタソフトウェア/ユーティリティのインストール(必要な場合のみ) Fiery WebToolsアクセス準備	『セットアップ編』 「Fiery WebToolsを設定する」(90ページ)
印刷	MLPro9800PSへの印刷 印刷ジョブに特有なオプションの設定 Fieryユーティリティの実行	『PS印刷ガイド』 『ジョブ管理ガイド』
ジョブフローの管理	Command WorkStation、Fieryユーティリティを使用したジョブの優先順位管理、トラッキング、キャンセル、待機キュー内のジョブの印刷、印刷済みキューや待機キューからの再印刷	『PS印刷ガイド』 『ジョブ管理ガイド』
印刷ジョブの課金管理	ジョブログや注釈の表示、印刷、エクスポート ジョブログの自動印刷と自動消去設定	『ジョブ管理ガイド』
キャリブレーションとカラー管理	CMYKシミュレーションの実行、およびMLPro9800PSのキャリブレーション カラー表の印刷、Photoshop用色分解テーブル、およびモニタ設定ファイルのインストール	『カラーガイド』 本書、『カラーガイド』
MLPro9800PSの最適性能の維持	必要事項 ジョブの削除やキューの消去	105ページ 『ジョブ管理ガイド』
トラブルシューティング	MLPro9800PS「設定」に関するトラブルシューティング 印刷、プリンタ、プリンタソフトウェア/ユーティリティに関するトラブルシューティング	付録A(109ページ) 『PS印刷ガイド』 『ジョブ管理ガイド』

パスワードの設定

MLPro9800PSのシステム管理者用パスワードを設定できます。このパスワードにより一般ユーザによる MLPro9800PS「設定」へのアクセスを制限できます。また、Command WorkStation/Command WorkStation LE、Fiery SpoolerおよびFiery WebSetupの 一般ユーザ使用を制限できます。
デフォルトでは、パスワード設定はありません。パスワードが設定されていないと、MLPro9800PS「設定」(パスワードの設定を含む)などの重要なシステム管理機能や、ジョブ管理ツールに誰でもアクセスできます。MLPro9800PSの設定を保護するために、少なくともシステム管理者用パスワードを設定することを推奨します。パスワードを設定すると、メイン「設定」メニューにはいる直前に、「パスワード入力」画面が表示されます。パスワードは、上下ボタンを押し、選択ボタンを押して文字を決定してください。

操作パネルからのパスワード変更

MLPro9800PSシステム管理者については、「コントロールレベル概要」(15ページ)を参照してください。ジョブ管理ツールを使用したジョブ管理については、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

オペレータ用パスワードは、Command WorkStationまたはFiery WebSetupでのみ設定/変更できます。

操作パネルからのパスワード変更

❶ メイン「設定」メニューをスクロールし、[パスワード変更] を選択します。

❷ 以下の説明に従ってパスワードを入力します。

新規パスワード

文字の入力には上下ボタンを、文字の決定には選択ボタンを使用してください。パスワードには 19 字までの英字と数字のどのような組み合わせでも使用できます。パスワード入力後、「はい」を指定します。

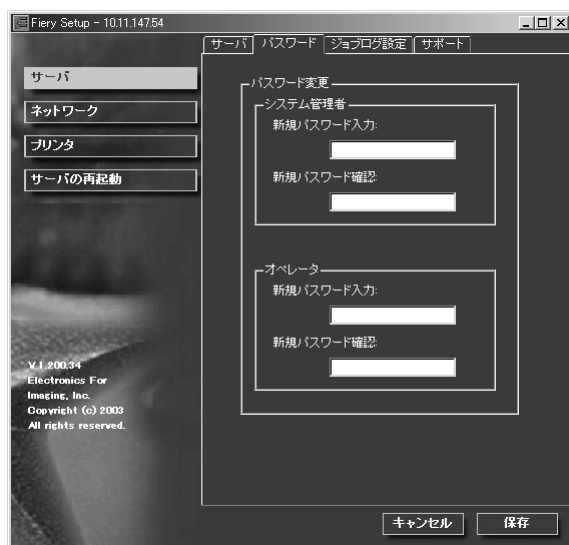
⚠警告

入力したパスワードは、書き留めるなどして絶対に忘れないようにしてください。
パスワードを忘れると、リセットするために MLPro9800PSシステムソフトウェアを再インストールしなければならなくなります。

新規パスワードの確認

入力が正しく行われたかどうかを確認するため、新規パスワードを再び入力します。「新規パスワード」で入力したものと全く同一のものを入力しなければなりません。誤って入力すると、パスワードを再入力するように促されます。新規パスワードは、変更を保存しMLPro9800PSを再起動した後有効になります。

Command WorkStationからのパスワード変更

Command WorkStationからパスワードを変更するには、MLPro9800PS「設定」画面の「サーバ」をクリックし、「パスワード」タブをクリックします。

パスワードがすでに設定されている場合は、画面の「新規パスワード入力」、および「新規パスワード確認」の両方に「＊」印が表示されます。パスワードが設定されていない場合は、これらには何も表示されません。

パスワードを設定または削除するには：

❶ **パスワードを新規設定するには、「新規パスワード入力」にパスワードを入力します。**

パスワードには19字までの英字と数字のどのような組み合わせでも使用できます。設定方法は、システム管理者用もオペレータ用も同じです。

❷ **「新規パスワード確認」にパスワードを入力するよう催促されたら、手順1で入力したと同じパスワードを「新規パスワード確認」に入力します。**

パスワードがすでに存在していた場合は、新しいパスワードに変更されます。
パスワードを消去するには、「＊」を消去します。

システム管理者用パスワードは、MLPro9800PS操作パネルでも設定・変更できますが、オペレータパスワードは操作パネルでは設定・変更できません。

デフォルトでは、MLPro9800PSのパスワード設定はありません。パスワードが設定されていないと、MLPro9800PS「設定」（パスワードの設定を含む）やサーバの初期化などの重要なシステム管理機能に誰でもアクセスできます。MLPro9800PSの設定を保護するために、少なくともシステム管理者用パスワードを設定することを推奨します。

パスワードを忘れた場合は、担当サービスに連絡して MLPro9800PS システムソフトウェアを再インストールしてください。システムソフトウェアの再インストールにより、システム管理者用パスワードが消去され、新規パスワードを設定できます。

サーバの初期化

「サーバの初期化」を実行すると、MLPro9800PSの印刷キュー、待機キュー、および印刷済みキュー内のすべての印刷ジョブが消去されます。また、MLPro9800PSのハードディスク内にアーカイブされたジョブ、インデックス、FreeFromマスターおよびそのインデックスも消去されます。

MLPro9800PSのシステムの初期化を行うには：

❶ 操作パネルの表示ウインドウに「印刷できます」と表示されていることを確認します。

MLPro9800PSが印刷中またはRIP中の場合は、処理が終了し表示ウインドウに「印刷できます」と表示されるまで待ってください。

❷ メニューボタンを押して、「機能」メニューを表示します。

❸ 画面をスクロールし、［管理者用メニュー］を選択します。

❹ 「設定を続行しますか？」と表示されるので、［はい］を選択します。

注 システム管理者パスワードが設定されている場合、「パスワード入力」画面が表示され、パスワードの入力が求められます。

❺ 「全キューとジョブを削除しますか？」画面で、［はい］を選択し、設定ボタンを押します。

「サーバの初期化中」メッセージが表示され、初期化が開始されます。

❻ 初期化が終了すると、「印刷できます」画面が表示されます。

出荷時のデフォルト

「設定」メニュー内の「出荷時のデフォルト」を実行するとMLPro9800PS「設定」はすべて出荷時のデフォルト値に復帰します。また、MLPro9800PSの印刷キュー、待機キュー、および印刷済みキュー内のすべての印刷ジョブが消去されます。また、ジョブログも消去されます。
プリンタにダウンロードしたフォントやICCプロファイルも消去されますので、フォントのバックアップを完了していない場合は、バックアップを先に行ってください。
フォントバックアップについては本マニュアルの「フォントのバックアップと復帰方法」を参照ください。

MLPro9800PSを出荷時のデフォルト設定状態にするには：

❶ 操作パネルの表示ウインドウに「印刷できます」と表示されていることを確認します。
❷ メニューボタンを押して「機能」メニューを表示します。
❸ 画面をスクロールして［管理者用メニュー］を選択します。
❹「設定を続行しますか？」画面で、［はい］を選択します。

注 システム管理者パスワードが設定されている場合、「パスワード入力」画面が表示され、パスワードの入力が求められます。

❺ しばらくすると「設定」メニューが表示されます。　画面をスクロールして［出荷時のデフォルト管理者用メニュー］を選択します。
❻「デフォルト値にリセット？」画面で［はい］を選択します。
❼「シャットダウン完了　電源を切るかまたはリスタートボタンで再起動します」が表示されるので、リスタートボタンを押します。
❽ 再起動後に、「印刷できます」画面が表示されます。

Eメールサービスアドレス帳の管理

Eメールサービスでは、管理者がEメールアドレスリストをMLPro9800PSのアドレス帳にインポートすることもできます。インポート作業は、MLPro9800PSにEメールメッセージを送信するだけです。

Eメールメッセージの送信は、MLPro9800PS「設定」の「Eメールサービス:管理者Eメールアドレス」で設定したアドレスからのみ可能です。

MLPro9800PSには、次のアドレス帳機能があります：

- **ユーザリスト** ー アドレス帳名は、「user」です。主にスキャン画像をユーザにEメールで送信するためのリストで、このリスト中のアドレスにスキャン画像を添付したEメールを送信できます。

  MLPro9800PSではスキャン機能がないのでユーザリストは使用できません。

- **システム管理者リスト** ー アドレス帳名は、「Admin」です。管理者権限をもったユーザを含むリストです。管理者権限がある場合、アドレス帳を変更することができます。また、MLPro9800PSから最新のアドレス帳を取り込んだり、Eメールを使用してのプリントジョブのキャンセルやジョブの状況確認もできます。
- **印刷用ユーザリスト** ー アドレス帳名は、「Print」です。印刷する権限のあるユーザを含むリストです。このアドレス帳にEメールアドレスが登録されたユーザは、EメールでジョブをMLPro9800PSに送信し印刷できます。登録されていないユーザがジョブをE メールで送信した場合、MLPro9800PSはそのユーザにエラーメッセージをEメールで返信します。

管理者権限がある場合、アドレス帳の上書き/新規作成/削除、新規アドレスの追加が行えます。
ジョブがEメールで送信された場合、MLPro9800PSは印刷用ユーザリストアドレス帳で受信したメールのアドレスを検索します。Eメールアドレスが印刷用ユーザリストアドレス帳にない場合、ジョブは印刷されません。ユーザには、Eメールでジョブが受け付けられなかったことを示すメッセージが送信されます。
デフォルトでは、印刷用ユーザリストアドレス帳には、「@」が入力されおり、すべてのユーザからのEメールジョブを受け付け印刷します。
管理者がEメールを使用してアドレス帳を管理する場合、メッセージタイトルとメッセージの本文には次の表に示す内容を記載する必要があります。これらのコマンドを受信した場合、MLPro9800PSはEメールで管理者に応答します。

	送信メールのタイトルに入力するコマンド	メール本文に入力するコマンド	MLPro9800PSからの応答メッセージのタイトル	MLPro9800PSからの応答メッセージの本文
MLPro9800PS内のアドレス帳を取得するには？	#GetAddressBook <アドレス帳名> 例： #GetAddressBook Admin		アドレス帳 <アドレス帳名> 例： アドレス帳　Admin	指定されたアドレス帳内のアドレスリスト
アドレス帳にEメールアドレスを追加するには？	#AddAddressTo <アドレス帳名 > 例： #AddAddressTo Print	追加したいアドレス名 例： Pat@test.com	アドレス帳に追加しました　<アドレス帳名> 例： アドレス帳に追加しました Print	アドレス帳に追加されたアドレス名が記載されます。 また、なんらかの理由で追加できなかったアドレスがある場合、その理由も記載されます。
アドレス帳内のアドレスをすべて消去するには？	#ClearAddressBook <アドレス帳名> 例 #ClearAddressBook Print		アドレス帳　<アドレス帳> が初期化されました または アドレス帳　<アドレス帳名>の初期化に失敗しました 例： アドレス帳Printが初期化されました	アドレス帳の消去に失敗した場合、その理由も記載されます。
アドレス帳内の特定のアドレスを削除するには？	#DeleteAddressFrom <アドレス帳名> 例： #DeleteAddressFrom Admin	削除したいアドレス名 例： Pat @test.com	アドレス帳　<アドレス帳名>から消去されました 例： アドレス帳Adminから消去されました	アドレス帳から削除されたアドレス名が記載されます。 また、なんらかの理由で削除できなかったアドレスがあった場合、その理由も記載されます。
Eメールサービスの使用方法を知るには?	#Help		RE: Help	Eメールサービスのコマンドが記載いされます。

設定情報ページの印刷

現状の設定内容が印刷されます。MLPro9800PSの設定作業を行った後は、設定情報ページを印刷して、設定内容を確認してください。設定情報ページはCommand WorkStationからも印刷できます。
MLPro9800PS「設定」が終了し「設定終了」を選択すると、MLPro9800PSが再起動します。これにより、MLPro9800PSは新しい設定を認識し「設定情報ページ」に反映されます。「設定情報ページ」はMLPro9800PSが再起動し「使用可能」状態になった後に印刷してください。「ネットワーク」設定で「IPアドレス自動取得」を選択した場合には必ず再起動が必要です。
設定情報ページには、プリンタのデフォルト設定などユーザの参考となる情報が印刷されますので、ユーザの目につきやすい場所に掲載しておくと便利です。
操作パネルまたはCommand WorkStationからは、この他テストページ、ジョブログ、カラー表、フォント一覧、Eメールログを印刷することができます。

Eメールログは、それぞれのサービスが使用可能に設定されている場合にのみ印刷されます。

設定情報ページを印刷するには：

❶ 操作パネルの表示ウインドウに「印刷できます」と表示されていることを確認します。
❷ メニューボタンを押して「機能」メニューを表示します。
❸ 画面をスクロールして［ページの印刷］を選択します。
❹ ［設定情報］を選択し、設定ボタンを押します。

フォントのバックアップと復帰方法

MLPro9800PSではFiery Downloaderを使用してお使いのコンピュータにフォントをバックアップすることができます。この機能は、同一MLPro9800PSシステムバージョンにおいてのみ有効です。システムのバージョンアップ後にMLPro9800PS内蔵ハードディスクにフォントを復帰させることはできません。
この機能の誤使用を避けるために、必ずシステム管理者用パスワードを設定しておいてください。システム管理者用パスワードを設定しておくと、この機能を選択したときに、パスワードの入力を促されます。

重要事項

フォントバックアップと復帰機能は、お客様が正規に入手したフォントを特定の1台のMLPro9800PS上でガードする為、1台のコンピュータのハードディスクにフォントをバックアップすることを目的としています。弊社はこの目的の遵守を要件としてフォントバックアップ、復帰機能を提供します。
万が一上記目的を逸脱した用途ならびに複数のハードディスクへのバックアップは、お客様の法的な責任及び費用負担によって処理されるものとします。
また、弊社はお客様が本機能を使用することによって生じる商業的利益の逸失、商業の支障、その他のいかなる損害についても、また損害が生じる可能性がある旨通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

フォントバックアップ

MLPro9800PSのフォントをバックアップするには次の手順で行ってください。システム管理者用パスワードが設定されているものとして説明します。

フォントのバックアップを行うには：

1. MLPro9800PS が「使用可能」状態で、データの送受信もないことを確認します。
2. ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP の場合は［すべてのプログラム］）-［Fiery］を選択し、Fiery Downloader を起動します。
3. 「ファイル」メニューから［フォント保存］を選択します。
4. システム管理者用パスワードを入力します。
5. 保存先のフォルダを指定し、［開く］をクリックし、［このフォルダを選択］をクリックします。

   Fiery Downloader がフォントのバックアップ処理を始め、進行状況バーが表示されます。バックアップ処理が終了すると、メッセージが表示されます。
6. ［OK］をクリックします。

フォント復帰

フォントをMLPro9800PSのハードディスクに戻すには次の手順で行ってください。ここではシステム管理者用パスワードが設定されているものとして説明します。

フォントの復帰を行うには：

1. MLPro9800PSが「印刷できます」と表示され、データの送受信もないことを確認します。
2. ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPの場合は［すべてのプログラム］）-［Fiery］を選択し、Fiery Downloaderを起動します。
3. 「ファイル」メニューから［フォント復帰］を選択後、システム管理者用パスワードを入力します。
4. 保存先のフォルダを指定し、［開く］をクリックし、［このフォルダを選択］をクリックします。

   復帰処理確認のメッセージが表示されます。
5. ［OK］をクリックします。

   Fiery Downloaderがフォントの復帰処理を始め、進行状況バーが表示されます。復帰処理が終了すると、MLPro9800PSを再起動するようにというメッセージが表示されます。
6. ［OK］をクリックします。
7. MLPro9800PSを再起動します。（再起動の方法については、82ページを参照してください。）

   MLPro9800PS再起動後にフォント一覧を印刷して（『ジョブ管理ガイド』参照）、フォントが正しく戻されたことを確認してください。

MLPro9800PSの最適性能の維持

プリントシステムでは、通常はプリンタ用の定期点検や保守あるいは消耗品の再注文などを行う必要があります。これ以外に、システムの性能を維持するために次の事項を実行することをおすすめします。

- ネットワーク接続を最大限に活用していることを確認
  必要なプリント接続のみをユーザに開放してください。MLPro9800PSは開放されている接続を定期的にチェックしますので、接続が非アクティブな場合無駄が生じます。また、Novellのポーリング間隔やキューの数や接続数などは適切に決めてください。
  設定情報ページを印刷して開放されているプリント接続を点検し、実際に使われていない接続を解除してください。プリント接続の再開放は簡単に行えます。
- 急ぎでない印刷ジョブを、ネットワークやプリンタ使用量が少ない時に処理
  反復印刷ジョブや急ぎでないジョブには待機キューの使用をおすすめします。プリンタの使用量が少ないときに、システム管理者やオペレータが、Command WorkStation/Command WorkStation LEやFiery Spoolerを使用して待機キュー内の全印刷ジョブを印刷キューに移して印刷するようにすると、プリンタの利便性が上がります。
- 不必要な双方向通信の削減
  多数のリモートユーザがFieryユーティリティを使用している場合、特に頻繁に更新を行うと、MLPro9800PSの処理速度が低下します。
- MLPro9800PSハードディスクの空き容量管理
  待機キューや印刷済みキュー内のジョブ数を定期的に点検してください。
  印刷済みキューや待機キュー内のジョブの印刷や削除が可能なので、不必要なジョブを印刷してしまうか、外すことを考慮してください。MLPro9800PSの空きディスク容量が頻繁に少なくなる場合は、印刷済みキューを使用しないよう「サーバ設定」で、または待機キューを開放しないように「プリンタ設　定」で設定できます。
  キュー内のジョブを移動または削除するにはCommand WorkStation/Command WorkStation LEまたはFiery WebSpoolerを使います。不要なジョブを削除してディスクの空き容量を増やすと、ジョブのスプールや印刷の速度が上がります。

MLPro9800PSサーバの再起動

MLPro9800PSは、Linuxシステムソフトウェアとその上で動作しているMLPro9800PS「サーバ」ソフトウェアから構成されています。ここでは、Linuxシステムソフトウェアは終了せず、サーバソフトウェアのみを一旦終了し再起動する手順を説明します。

MLPro9800PSを再起動するには：

❶ 操作パネルの表示ウインドウに「印刷できます」と表示されていることを確認します。

❷ メニューボタンを押して「機能」メニューを表示します。

❸ 画面をスクロールして［終了］を選択します。

❹ ［サーバの再起動］を選択します。

❺ 再起動が完了すると、「印刷できます」画面が表示されます。

MLPro9800PSシステムの再起動

MLPro9800PSは、Linuxシステムソフトウェアとその上で動作しているMLPro9800PS「サーバ」ソフトウェアから構成されています。ここでは、MLPro9800PSサーバだけでなく、Linuxシステムソフトウェアも終了させ再起動する手順を説明します。

MLPro9800PSを再起動するには：

1. 操作パネルの表示ウインドウに「印刷できます」と表示されていることを確認します。
2. メニューボタンを押して「機能」メニューを表示します。
3. 画面をスクロールして［終了］を選択します。
4. ［システムのリブート］を選択します。
5. 再起動が完了すると、「印刷できます」画面が表示されます。

付録 A：トラブルシューティング

MLPro9800PS操作パネルの起動時にエラーメッセージが表示されたり、MLPro9800PSが「使用可能」状態にならない場合は担当サービス店にお問い合わせください。

操作パネル設定時のトラブルシューティング 110

操作パネル設定時のトラブルシューティング

MLPro9800PS設定時に起こる可能性のあるエラーや警告メッセージに関して、注意を要するものを次に説明します。

「ネットワーク設定」メッセージ

発生時	メッセージ	対策
プロトコル設定:「AppleTalk設定」の「AppleTalk使用」で「はい」	ゾーンが見つかりません	MLPro9800PSのコネクタにイーサネット用ネットワークケーブルが接続されていない、またはネットワークケーブルがハブもしくはネットワークに接続されていません。 AppleTalkネットワークにゾーンがあり、MLPro9800PS用にゾーンを指定したい場合は、AppleTalk設定を行う前にMLPro9800PSにネットワークケーブルを接続しておく必要があります。 AppleTalkネットワークに実際にゾーンが存在しない場合にも、このメッセージが表示されます。ゾーンがない場合、MLPro9800PSで印刷するには「OK」を押して、処理を続けます。
「プロトコル設定」と「サービス設定」	ネットワークポートを使用可能に設定要	「プロトコル設定」または「サービス設定」を行う前に少なくとも1ネットワークポートを使用可能にしておく必要があります。
「プロトコル設定：IPX/SPX設定」の「フレームタイプ選択」	IPXネットワーク番号が0です	ネットワーク上にIPXマシンがないか、ネットワークハブがネットワークに接続されていないため、MLPro9800PSをバインドできません。この場合、ネットワーク番号が0になります。
「サービス設定：PServer設定：NDS設定」の「NDS使用」	NDSツリーが見つかりません。	Novellネットワーク上にNDSツリーが見つかりません。MLPro9800PS設定で、正しいフレームタイプが選択されていることを確認してください。
「サービス設定：PServer設定：NDS設定」の「NDSツリーの選択」	新ツリー選択によりバインダリ設定削除	MLPro9800PSは、すでに別のNDSツリーに接続されています。MLPro9800PSは一つのNDSツリー接続しかサポートしません。既存のツリー接続との不具合を避けるために(たとえば、バインダリエミュレーションモードのNetWare 6を介して接続が設定されている場合)、すべてのバインダリ設定は削除されます。 ここで「OK」を選択し、次の画面「バインダリを削除？」で「はい」を選択すると、バインダリ設定が削除され、「バインダリ設定」での再入力が必要になります。 バインダリ設定を削除しない場合は、メニューボタンを押すか、「OK」を選択して次の画面「バインダリ設定を削除後処理を続けますか？」で「いいえ」を選びます。 NDSツリーを変更せずに「NDS設定」を繰り返すか、NDS設定を終了して「バインダリ設定」で現在のバインダリ設定をチェックします。

発生時	メッセージ	対策
「サービス設定：PServer設定：NDS設定」の「オブジェクト検索」	______がありません。	選択したコンテナに、探索中のサブコンテナまたはオブジェクトが含まれていません。
「サービス設定：PServer設定」の「バインダリ設定」	バインダリ設定前にNDS設定要	現在NDS設定が行われていません。NDSとバインダリサーバ両方をネットワークに持つ場合は、「バインダリ設定」の前に「NDS設定」を行う必要があります。
「サービス設定：PServer設定：バインダリ設定」の「ファイルサーバ選択」で「一覧から」	NDSサーバへの接続失敗	NDS設定で、このファイルサーバを選択してください。または「NDSを使用する」で「いいえ」を選択した後、バインダリ設定でこのファイルサーバを選択してください。
	NetWareファイルサーバが見つかりません。	ネットワーク上にNovellファイルサーバが見つからなかったためにサーバ名を表示できません。 ケーブル接続を点検しNovellサーバが立ち上がっていることを確認してください。
「サービス設定：PServer設定：バインダリ設定」の「最初の文字を入力」	Fサーバなし。やり直し？	検索文字に該当するファイルサーバがネットワーク上にありません。Novellファイルサーバ名を確認後、そのサーバのケーブル接続を点検し、サーバが立ち上がっていることを確認してください。
「サービス設定：PServer設定：バインダリ設定」の「サーバ表示」、「接続の変更」	ファイルサーバ未選択	「バインダリ設定」で追加されたファイルサーバはありません。
「サービス設定：PServer設定：バインダリ設定」の「ファイルサーバ追加」	全接続は使用中です。サーバを解除しますか？	バインダリサーバは、許容台数分（8台）すでに接続済みです。サーバを追加するには、いずれかの接続を解除してください。

発生時	メッセージ	対策
「サービス設定：PServer設定：バインダリ設定」の「ファイルサーバ追加」、「ファイルサーバログイン」、「ファイルサーバパスワード」	Novellプリントサーバが見つかりません。	ユーザが選択したファイルサーバにプリントサーバが見つかりませんでした。 MLPro9800PS用印刷ジョブを取扱うファイルサーバにはすべてプリントサーバとプリントキューを設定しておく必要があります。
すべてのバインダリ設定用画面	NetWareエラーコードとメッセージ	Novellのエラーです。 最も一般的なエラー（112ページのテーブルに表示）が表示されるので、サーバ追加などの処理を再試行してください。再試行が可能でないときは、Novellネットワーク管理者に問い合わせるようにというメッセージが表示されます。 Novellエラーコードの詳細に関してはNovell管理説明書（「システムメッセージ」）を参照してください。

付録

トラブルシューティング

「ネットワーク設定」でIPX(Novell)接続を設定中に、MLPro9800PSはNovellファイルサーバやツリーについてネットワークに照会し、それらに一時的に接続します。「guest」ログインが可能ならば、MLPro9800PSは「guest」でログインします。「guest」ログインが不可能な場合は、ユーザがCommand WorkStationからログインするように促されます。
選択されたNovellファイルサーバまたはツリーに「guest」アカウントがないか期限切れの場合、またはNovell管理者がこのアカウントを使用できないようにしている場合は、IPX(Novell)管理者に問い合わせるようにというメッセージが表示されます。この場合、次のいずれかの処置をしてください。

- 設定のためNovellサーバまたはツリーの「guest」アカウントを使用可能にする。
- 他のアカウントにログインする。

  「ログイン名を入力してください」画面でデフォルト名「guest」を「supervisor」または他の有効なログイン名に変えます。パスワードの入力を促された場合は、入力したアカウントの正確なパスワードを入力します。

Novellエラーが生じたときは、下記を確認してください。

- IPX(Novell)ネットワークがMLPro9800PSに接続されている。
- アクセスしようとするNovellサーバが起動している。
- 少なくとも1つのMLPro9800PSとプリントキューがNovellネットワークに設定されている。
- 適切なアクセス権、およびユーザ名やパスワード(必要な場合)などのログイン情報を入手している。
- MLPro9800PSの「ネットワーク設定:IPX/SPX設定」で指定したフレームタイプを各Novellサーバが使用している。

Novellエラー画面

Novellエラー	原因	対策
220 guestアカウントを使用できません。	初期ログインに使用する「guest」アカウントが期限切れまたはNovell管理者により使用不可能になっています。	Novellサーバ上で「guest」アカウントを使用可能にしてください。または、別のアカウントにログインしてください。 「ログイン名を入力してください」画面でデフォルト名「guest」を「supervisor」または他の有効なログイン名に変えます。 パスワードの入力を促された場合は、入力したアカウントのパスワードを入力します。
222 ファイルサーバへのログインができませんでした。 ログインのパスワードが無効です。	MLPro9800PSはファイルサーバに接続されていますが、ログイン用パスワードまたはプリントサーバ用パスワードの有効期限が切れているためファイルサーバまたはプリントサーバにログインできません。	別のログイン名かプリントサーバを選んでください。 エラー画面の後、ファイルサーバログイン画面（ファイルサーバへのログインができなかった場合）または、Novellプリントサーバ画面（プリントサーバへのログインができなかった場合）が現れます。 「PServer設定」画面に戻るにはメニューボタンを押します。
252 ファイルサーバログイン不可	MLPro9800PSはファイルサーバに接続されていますが、ファイルサーバに指定されたログイン名が存在しないためログインできません。	別のログイン名を指定します。 エラー画面後、ファイルサーバログイン画面が現れます。 「PServer設定」画面に戻るにはメニューボタンを押します。
255 ファイルサーバに接続できません。 ファイルサーバはダウン中または接続されていません。	Novellのファイルサーバが起動していないか、または接続されていません。 MLPro9800PSが指定されたファイルサーバに接続試行中にこのエラーが生じました。	別のファイルサーバを選びます（または接続中のファイルサーバをどれかログオフします）。 「PServer設定」画面に戻るにはメニューボタンを押します。
nnn IPX（Novell）の管理者に知らせてください。	MLPro9800PSがすでにファイルサーバに接続されているときに、上記以外のネットワークエラーが起こったことを示します。予期できないことが起こり、ネットワーク管理者の介入なしでは解決できない状況です。 197：NetWareファイルサーバのこのアカウントへのログイン許可数を超えました。 220 ：「guest」アカウントを使用できません。 255：通常はハードウェアエラーが起きたことを示します。	IPX（Novell）管理者に番号とメッセージを通知してください。 エラー画面後、「PServer設定」画面が現れます。

付録

トラブルシューティング

実行時のエラーメッセージ

PostScriptエラーに関しては、PostScriptレベル2またはPostScript3ドライバ使用のMac OSアプリケーションのプリントオプションで、エラー内容を印刷するかどうか選択できます。また「PS設定」の「PSエラーまで印刷」でも選択可能です。

「プリンタが見つかりません」

ネットワーク上でプリンタが見つからない最も一般的な理由としては、プリンタまたはサーバの名前やアドレス設定が正しくないかまたは条件に反することなどが挙げられます。入力場所によっては定められた名称を使用する必要があります。指定名称には次のものがあります。

- TCP/IPホスト名(DNS名)
  通常、ネットワーク管理者(部門)がこの名前を定義します。長さは15文字未満でなければなりません。
- システム指定の内部名(リモートプリンタ名)
  print
  hold

LPRのプリント用プロトコルが物理デバイス識別用にこの名前を使用します。

・ネットワーク上にUNIXサーバが存在する場合は、リモートプリンタ名にハイフン(-)やスラッシュ(/)を使用しないでください。
・MLPro9800PS用のTCP/IPホスト名またはDNS名を変更したときは、必ず各ワークステーションでFieryユーティリティ用の接続を再構成してください。

適切な名前の使用に関しては次の表を参照してください。

使用場所	入力場所	IPX/SPX ネットワーク	TCP/IP ネットワーク
MLPro9800PS操作パネルでの「サーバ設定」	「サーバ名」オプション	任意の名前	任意の名前
Windows NT hostsファイ	ホスト名	-	DNS名または TCP/IPホスト名
WindowsNTでのTCP/IP設定	lpdでのホスト名	-	DNS名または TCP/IPホスト名
	lpdホスト機のプリンタ名	-	print hold
UNIX/etc/printcapファイル（BSD）	rp行	-	print hold
Solaris	lpadminでのキュー名	-	print hold
Novell管理ユーティリティ	プリントキュー名（アルファベット小文字を使用）	_direct _print _hold	
Fieryユーティリティ用接続構成時の「新サーバ追加」画面	新デバイス	Fieryユーティリティ はIPXネットワークではサポートされません	3640A3
	サーバ名		DNS名または TCP/IPホスト名
IPP	プリンタドライバインストール時		IPアドレス

FieryユーティリティからMLPro9800PSに接続できない

MLPro9800PSに接続できない場合は次の点を確認してください。

- MLPro9800PS「設定」：適切なネットワークプロトコルを使用可能にし、正しいパラメータを入力する必要があります。たとえば、TCP/IPではIPアドレス設定です。また待機キューを開放しておく必要があります。
  設定情報ページを印刷するとこれらの情報が簡単に確認できます。
- クライアントワークステーション：適切なネットワークプロトコルがロードされ、Windowsフォルダに構成済みの「Efinl.ini」ファイルが含まれていることを確認してください。

Command WorkStationからMLPro9800PSに接続できない

MLPro9800PSに接続できない理由としては次が考えられます。

- MLPro9800PSが設定されていない。
- MLPro9800PSが再起動中。
- サーバのIPアドレスなどが変更された。

この場合、次を実行してみてください。

- 他のワークステーションからFieryユーティリティまたはFiery WebToolsでMLPro9800PSに接続している場合、ワークステーションからの接続を切断する。
- Command WorkStationを再起動する。
- Command WorkStationの接続構成を確認し、必要であれば設定を変更する。
- MLPro9800PSを再起動する。

索　引

索引

[数字]

1200 × 1200dpi 47
1200 × 600dpi 47
137-139（NETBIOS） 29
161-162（SNMP） 29
20-21（FTP） 29
515（LPD / Utils） 29
600dpi 47
631（IPP） 30
80（HTTP） 29
9100-03（ポート9100） 30

[A]

Apple標準 53
AppleTalk 24, 71
AppleTalkを使用する 71
AppleTalk使用 26
AppleTalk設定 26
Auto IP 78

[C]

CMY100% 濃度 55
CMYKシミュ 54
CMYKシミュレーションプロファイル 53
Command WorkStation 63
Command WorkStationからの
　パスワード変更 97
Command WorkStationで設定作業を行う ... 63

[D]

DIC（EFI） 53
DNSアドレス自動取得 27, 73
DNSサーバ（セカンダリ） 28
DNSサーバ（プライマリ） 28
DNSを使用する 73
DNS使用 27
DNS設定 27, 73

[E]

Eメールサービス設定 80
Eメール印刷を使用可能にする 80
EFI ポート 30
EFIRGB 53
EOFキャラクタの無視 42, 43, 68
EuroScale（EFI） 53
Eメールアドレスを追加する 101
Eメールサービスアドレス帳の管理 100
Eメールサービスの使用方法 101
Eメールサービス設定 80

[F]

Fiery E メールアドレス 81
Fiery WebSetup 60
Fiery WebSetup にアクセスする 60
Fiery WebTools 14
Fiery WebToolsにアクセスする 90
Fiery WebToolsを設定する 90
Fieryメールアドレス 40
FTPサービスを使用する 79
FTP受信可能 40
FTP設定 40

[I]

IPアドレス 27, 70
IPアドレス自動割当 26
IPフィルタリング 28
IPフィルタ使用する 28
IPポート設定 28, 29
IP自動割当 69
IP手動入力 70
IPPを使用する 39
IPPを使用可能にする 79
IPP設定 39, 79
IPXポーリング間隔 37
IPX/SPX 24
IPX/SPX設定 30
IPXフレーム 72

[J]

Japan Color 2001 type1 53
JMPA ver.2 (EFI) 53

[L]

Linux OS 17
Linux OSソフトウェア 17
LPD 79
LPD 印刷サービスを使用する 79
LPD 使用 31
LPD設定 31

[M]

MLPro9800PSシステムソフトウェア 17

[N]

NDS ツリーの選択 32
NDS ツリー名 32
NDS を使用する 75
NDS 使用 32
NDS設定 32, 75
NetWare プリントサーバ 36
NetWareサービス 74
NetWareサービス設定を行う 74
Novell 設定 76
Novellエラー画面 114
Novellサーバ 18

[O]

OHP検出 47
OKI ポート 30

[P]

PCL設定 20
PSエラー発生まで印刷 49, 84
PServerサーバポーリング間隔 74
PServerモードを使用する 74
PServer使用 31
PServer設定 31
PS設定 20, 48, 83

[R]

RGBソースプロファイル 53
RGB色分解 54
RIPにプレビュー 23

[S]

SNMP使用 41
SNM設定 41
sRGB(PC) 53
SWOP-Coated(EFI) 53

[T]

TCP/IP 24, 69
TCP/IP設定 26
Toyo Offset Coated 2.0 53

[U]

USBポート使用 43
USB接続 43
USB設定 20, 43

[W]

Webサービスを使用する 79
Webサービス使用 38
WebDownloader 14
WebLink 14
WebSetup 14
Webサービス 79
Webサービス設定 38
Windows印刷サービスを使用する 78
Windows印刷使用 37
Windowsサーバ 18
Windows印刷サービス 78
Windows設定 37
WINSサーバIP アドレス 38
WINSサーバ使用 78
WINSネームサーバ使用 37

[ア]

アカウント名 40
アドレスを消去する 101
アドレス帳を取得する 101
アドレス帳機能 100
網点形状 50

[イ]

イーサネット 24, 68
イーサネットを使用する 68, 69
イーサネット使用 25
イーサネット設定 25, 26
イーサネット速度 25, 68
イエローハーフトーン角度 50
一覧から選択 72
インバータ 46
印刷 95
印刷環境の設定 94
印刷キュー 12, 44, 45
印刷キュールート参照 33
印刷キュー開放 82
印刷グループ 85

索引

印刷グループパスワードを除去する 87
印刷グループパスワードを変更する 87
印刷グループを使用する 65
印刷グループを設定する 85
印刷ジョブの課金管理 95
印刷済みキュー 44
印刷済みキューに保存するジョブ数 65
印刷済みキューを使用する 64
印刷済みキュー使用 23
印刷用ユーザリスト 100

[エ]

エラーメッセージ 110, 111, 112, 113, 114, 115

[オ]

奥側 46
オブジェクト検索 32
オペレータ用パスワード 13

[カ]

解像度 47
書き込みコミュニティ名 41
カバーページの印刷 48
カバーページを印刷 84
カラーの表現 53
カラー設定 20, 53
管理機能 56, 94
管理者E メールアドレス 81
管理者メールアドレス 40

[キ]

キャラクタセット 22
キャリブレーションとカラー管理 95
キュー 44
キューの探索範囲 33

[ク]

クイック 54
グループプリント使用 22
グループ名 86

[ケ]

警告 3
ゲートウェイ 70
ゲートウェイアドレス 27
ゲスト 13
言語 20, 56
限定権利条項 4

[コ]

コメント 78
コントロールレベル 12, 16
コントロールレベル概要 15
コントロールレベル使用例 15

[サ]

サーバ 17, 18, 64
サーバコメント 38
サーバソフトウェア 17
サーバタイプ 40, 80
サーバの再起動 17, 84, 106
サーバの初期化 20, 56, 98
サーバ設定 18, 20, 22, 64
サーバ追加 35
サーバ表示 36
サーバ名 22
サーバ名 38, 64, 78
サービスを使用する 79
サービス設定 24, 31, 77
サービス設定終了 41
最適性能の維持 95
再起動 106, 107
最初の文字を入力 35
最適性能の維持 105
サブネットマスク 27, 70
サポート解除の対象 36
サポートされているサーバ 36

[シ]

シアンハーフトーン角度 49
時間 65
システム 17
システム管理者リスト 100
システム管理者用パスワード 13
システムソフトウェア 17
システムの再起動 107
システムの時間 22
システムの初期化を行う 98
システムの日付 22

システムのリブート 17
自動拡大縮小 84
自動ゲートウェイアドレス 27
自動取得 72
自動設定使用 37
重要事項 103
受信サーバ 40
受信メールサーバ 80
出荷時のデフォルト 20, 56, 99
出力ビン 46
出力プロファイル 54
純ブラックテキスト 54
使用キャラクタセット 65
使用時の注意 20
商標 4
状況 14
ジョブオフセット 47
ジョブ環境の設定 95
ジョブフローの管理 95
ジョブログ自動印刷 57
ジョブログ自動消去 57
ジョブログ設定 20, 56, 57
ジョブログページサイズ 57
シリアル番号 43
新規パスワード 96
新規パスワードの確認 96
新規ユーザ用設定 95

[ス]

スタートページ印刷 64
スタートページの印刷 22
ステープル 46
ステープル位置 46
スポットカラーマッチング 55

[セ]

セカンダリDNS サーバ 73
セキュリティ管理 95
セキュリティ設定 28
接続できない 117
接続と設定 94
接続の変更 36
絶対カラーメトリック 53
設定 18, 20
設定作業の開始 21
設定終了 55, 58
設定情報ページの印刷 88, 102
設定の実行 21
選択されたゾーン 26

[ソ]

操作パネルからのパスワード変更 96
操作パネル使用時の注意 20
操作パネル設定時のトラブルシューティング 110
操作パネルでの設定作業 20
送信サーバ 39
送信メールサーバ 80
相対カラーメトリック 53
ゾーン選択 71
ソフトウェア使用許諾契約 5

[タ]

タイムアウト 40, 81
待機キュー 12, 44, 45
待機キュー開放 82
縦綴じ 46

[チ]

注！ 3
注意 3
中央 46
中ゴシックBBB に置換 48, 84
直接接続 12, 44, 45
直接接続開放 82

[ツ]

ツリー参照ログイン？ 32
ツリー変更 75

[テ]

テキスト 54
ﾃｷｽﾄ/ｸﾞﾗﾌｨｯｸ 54
デフォルトポリシー 28
デフォルト用紙サイズ 48, 83
手前側 46

[ト]

特定のアドレスを削除する 101
綴じ方 46

トナーセーブモード 47
ドメインワークグループ 78
ドメイン名 28, 73
ドメイン名設定 38
ドメイン名選択 38
トラブルシューティング 95, 109

[ナ]

中綴じ 46

[ニ]

ニアライフ時のLED 47

[ネ]

ネットワークサーバ 18
ネットワーク接続タイプ 24
ネットワーク設定 18, 20, 24, 67
ネットワーク設定オプション 24
ネットワーク設定メッセージ 110

[ハ]

ハーフトーンスクリーン 49
ハーフトーン線数 49
パーソナリティ 45
バインダリ設定 34, 76
バインダリ設定終了 37, 37
パスワード 13, 40, 81, 86
パスワード確認 81, 86
パスワード入力 33
パスワードの設定 96
パスワード変更 20, 56
パスワードを削除 97
パスワードを設定 97
パラレルポート使用 42
パラレルポート設定 68
パラレルポートのタイムアウト 68
パラレルポートを使用する 68
パラレル接続 42, 83
パラレル設定 20, 42
パワーセーブ 47
パンチ 46
パンチ穴 46
パンチ穴設定 46
パンチ穴の数 46

[ヒ]

ピーク電力制御 47
ビジネスグラフィック 53
日付 65
表記 3

[フ]

ファイルサーバ解除 36
ファイルサーバ選択 35
ファイルサーバ追加 35
ファイルサーバパスワード 35
ファイルサーバログイン 35
フィルタ削除 29
フィルタ追加 29
フィルタ編集 29
フェイスアップ 46
フェイスダウン 46
フォントのバックアップ 103
フォントの復帰方法 103, 104
部数 45
ブラックオーバープリント 54
ブラックハーフトーン角度 50
プライマリDNS サーバ 73
プリンタが見つかりません 115
プリンタ設定 18, 20, 45, 82
プリンタ設定を行う 82
プリントキュールート選択 76
プリントサーバパスワード 36
プリントサーバパスワード 36
プリントサーバ選択 75
プリントサー検索 33
プリント接続 44
プリント接続方法 12
フル（出力GCR） 54
フル（ソースGCR） 54
フレームタイプ自動取得 30
フレームタイプ初期化 31
フレームタイプ選択 30
プレビューを使用する 65
プロトコル 69
プロトコル設定 24, 26
プロトコル設定を行う 69
プロトコル選択 26, 69

[ヘ]
平成角ゴシックに置換 49, 84
変更の対象 36
変更の保存 23, 41, 42, 43, 47, 50, 55, 57

[ホ]
法律上の注意 4
ポート9100 79
ポート9100 キュー 39, 79
ポート9100 使用 39
ポート9100設定 39
ポート9100 を使用する 79
ポート設定 24, 25
ポート設定を行う 67
ポーリング間隔 37, 40, 81
ホスト名 28, 73
保存ジョブ数 23
ホチキス機能 46

[マ]
マスター印刷 48, 84
マゼンタハーフトーン角度 49
マニュアルの構成 3

[メ]
メール印刷使用 39
メール設定 39
メールサービス使用 39
メールボックスアカウント名 81
メモ 3

[モ]
モノクロ印刷速度 47

[ユ]
ユーザリスト 100

[ヨ]
用紙サイズに合わせる 50
用紙チェック 47
用紙定義プロファイルを使用 54
用紙変更 48, 83
横綴じ 46
読み取りコミュニティ名 41

[ラ]
ランデブー設定 41

[リ]
リモートコンピュータからの設定 59
両面印刷 45

[レ]
連続調 53

[ロ]
ログイン名入力 35
ログインユーザ選択 75
ロケーション 22

[ワ]
ワークグループ/ ドメイン 38

索引

オキカラーページプリンタ
MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E

ユーザーズマニュアル
設定管理ガイド

発行日　2006年 10月　第3版
発行者　株式会社 沖データ
43106501EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）